

平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」

報告書（概要版）

平成24年3月

株式会社三菱総合研究所

目次

1. 要旨	3
2. 調査研究の概要	18
2.1 背景・目的	18
2.2 調査対象	18
2.3 調査対象地域の選定方針	18
2.4 調査項目	18
2.5 効果測定のかえ方	19
2.6 回収状況	19
3. 単純集計結果	20
3.1 単純集計	20
3.1.1 講座型(保護者)	20
3.1.2 講座型(教員)	26
3.1.3 講座型(地域の支援者・企画者)	29
3.1.4 講座型(行政担当者)	35
3.1.5 チーム型(保護者)	39
3.1.6 チーム型(教員)	46
3.1.7 チーム型(地域の支援者・企画者)	49
3.1.8 チーム型(行政担当者)	54
3.1.9 早寝早起き朝ごはん(保護者)	59
3.1.10 早寝早起き朝ごはん(教員)	65
3.1.11 早寝早起き朝ごはん(地域の支援者・企画者)	67
3.1.12 早寝早起き朝ごはん(行政担当者)	71

1. 要旨

1 調査概要

□目的

- 様々な家庭教育支援施策の効果や役割を明らかにし、今後の施策や取組の推進に役立てる。

□方法

□ 効果測定アンケート調査

□ 全国34地域

- 「家庭教育学級」などの家庭教育に関する学習機会の提供(講座型):8地域
- 「家庭教育支援チーム」などのチーム型支援(チーム型):22地域
- 「早寝早起朝ごはん運動」:4地域

□ 対象者

- 行政(教育委員会)担当者
- 学校教員(幼稚園、小学校、中学校)
- 地域の支援者・企画者
- 保護者

□ 実践事例インタビュー調査

- 全国8地域(講座型:2地域、チーム型:4地域、早寝早起朝ごはん:2地域)

1

1 調査概要～調査項目(アンケート調査)～

■効果の種類ごとに測定指標を調査項目に設定(「子どもへの効果」、「家庭への効果」、「学校への効果」、「地域への効果」、「問題の予防・解決への効果」) ※この他に回答者属性、取組内容、課題等も収集

子どもへの効果

- 生活習慣の改善
- 学習意欲の向上
- 体力の向上
- 社会性(あいさつをする等)の向上
- 「自ら学び自ら考える力」の向上

家庭への効果

- 子育てに必要な知識・意欲の向上
- 子育てに対する悩みや不安、孤立感の軽減
- 家族で協力した子育ての実現
- 学校と協力(相談)した子育ての実現
- 地域とつながりを持った子育ての実現
- 子育てに関する必要な情報の適時入手
- 子育てに関する身近な相手への相談の実現

学校への効果

- 教職員と保護者の信頼・協力関係の確立
- 教職員と地域住民の信頼・協力関係の確立
- 教職員の支援の届きにくい困難家庭の状況理解の実現
- 教職員に過度な負担の集中

地域への効果

- 地域全体での子どもを育む意識の向上
- 地域の中での子育てに関わる知識・スキルを有する人材の増加
- 地域人材の地域の子育てに参画の増加
- 支援に関わっている地域人材の知識・スキルの向上
- 支援に関わっている地域人材のネットワークの拡大
- 支援に関わっている地域人材の生きがいの強まり

問題の予防・解決への効果

- 仕事で忙しい家庭への子育てに関する情報提供の実現
- 学校の活動に積極的に参加することのない家庭への子育てに関する情報提供の実現
- 困難を抱える家庭教育に関する課題の状況の早期発見
- 子育てに関する専門機関へのつながりの円滑化(地域・学校・福祉等のネットワークが強化された)
- 不登校など子どもに関わる課題の改善・減少
- 児童虐待の予防や早期対応など困難課題の改善・減少

2

1 調査概要～回収率等(アンケート調査)～

調査対象		発送数	有効回答数	有効回答率
講座型	教職員	1365	919	67.3%
	保護者	8400	5863	69.8%
	地域の支援者・企画者	345	211	61.2%
	行政(教育委員会)担当者	8	8	100%
チーム型	教職員	875	455	52.0%
	保護者	4600	1827	39.7%
	地域の支援者・企画者	440	162	36.8%
	行政(教育委員会)担当者	22	17	77.3%
早寝	教職員	676	425	62.9%
	保護者	4160	2551	61.3%
	地域の支援者・企画者	80	47	58.8%
	行政(教育委員会)担当者	4	4	100%

3

2 調査結果概要～各施策による効果の特徴～

講座型

- 家庭に関して、「必要な知識・意欲の向上」、「悩み・不安・孤立感の軽減」の効果が大きい
- 学校に関して、「教職員と保護者の信頼関係の強化」の効果が大きい
- 地域に関して、「地域人材(支援者)のネットワークの拡大」、「地域人材(支援者)の知識・スキル向上」、「地域全体で子どもを育てる意識の向上」の効果が大きい

チーム型

- 家庭に関して、「必要な知識・意欲の向上」、「悩み・不安・孤立感の軽減」、「必要な情報の適時入手」、「身近な相手への相談」、「家族で協力した子育て」の効果が大きい
- 学校に関して、「困難家庭の状況理解の深まり」の効果が大きい
- 地域に関して、「地域人材(支援者)の知識・スキル向上」、「地域人材(支援者)のネットワークの拡大」等、複数の効果が大きい
- 問題予防・解決に関して、「専門機関へのつなぎの円滑化」、「困難家庭の状況の早期発見」、「仕事で多忙な家庭への情報提供」の効果が大きい

早寝早起き朝ごはん

- 家庭に関して、「必要な知識・意欲の向上」の効果が大きい
- 子どもに関して、「生活習慣の改善」の効果が大きい
- 地域に関して、「地域人材(支援者)のネットワークの拡大」、「地域全体での子育て意識の向上」等、複数の効果が大きい

※効果があったかの設問に対し「そう思う」や「ややそう思う」の回答率の合計が50%以上のものを抽出

5

2 調査結果概要～各施策による効果の特徴～

分野	効果 項目	施策		
		講座型	チーム型	早寝
家庭	必要な知識・意欲の向上	◎ 74.9%	● 77.4%	● 63.5%
	悩み・不安・孤立感の軽減	● 54.4%	● 74.7%	
	家族で協力した子育て		● 54.9%	
	必要な情報の適時入手		● 62.1%	
	身近な相手への相談		● 60.0%	
子ども	生活習慣の改善			● 53.9%
学校	教職員と保護者の信頼関係の強化	● 52.4%		
	困難家庭の状況理解の深まり		● 53.1%	
地域	地域全体で子どもを育てる意識の向上	● 52.4%		● 73.4%
	地域の子育て人材の増加		● 59.4%	● 60.9%
	地域人材の子育て参画の増加		● 54.0%	● 60.8%
	地域人材(支援者)の知識・スキル向上	● 64.7%	◎ 86.9%	● 65.2%
	地域人材(支援者)のネットワークの拡大	● 72.0%	● 84.5%	◎ 82.6%
	地域人材(支援者)の生きがいの強まり			● 69.5%
予防 解決	仕事で多忙な家庭への情報提供		● 54.1%	—
	困難家庭の状況の早期発見		● 59.6%	—
	専門機関へのつなぎの円滑化		● 66.3%	—

※効果があつたかの設問に対し「そう思う」「ややそう思う」の回答率の合計が50%以上のものを抽出
 ※各効果の回答者：家庭(保護者)、子ども及び学校(教員)、地域及び予防解決(支援者・企画者)
 ※◎は各施策でもっとも高い効果となった項目
 ※— はアンケート調査項目としていない効果

2 調査結果概要～各施策による効果の特徴～

分野	効果 項目	施策		
		講座型	チーム型	早寝
家庭	必要な知識・意欲の向上	◎ 74.9%	● 77.4%	● 63.5%
	悩み・不安・孤立感の軽減	● 54.4%	● 74.7%	
	家族で協力した子育て		● 54.9%	
	必要な情報の適時入手		● 62.1%	
	身近な相手への相談		● 60.0%	
子ども	生活習慣の改善			● 53.9%
学校	教職員と保護者の信頼関係の強化	● 52.4%		
	困難家庭の状況理解の深まり		● 53.1%	
地域	地域全体で子どもを育てる意識の向上	● 52.4%		● 73.4%
	地域の子育て人材の増加		● 59.4%	● 60.9%
	地域人材の子育て参画の増加		● 54.0%	● 60.8%
	地域人材(支援者)の知識・スキル向上	● 64.7%	◎ 86.9%	● 65.2%
	地域人材(支援者)のネットワークの拡大	● 72.0%	● 84.5%	◎ 82.6%
	地域人材(支援者)の生きがいの強まり			● 69.5%
予防 解決	仕事で多忙な家庭への情報提供		● 54.1%	—
	困難家庭の状況の早期発見		● 59.6%	—
	専門機関へのつなぎの円滑化		● 66.3%	—

※効果があつたかの設問に対し「そう思う」「ややそう思う」の回答率の合計が50%以上のものを抽出
 ※各効果の回答者：家庭(保護者)、子ども及び学校(教員)、地域及び予防解決(支援者・企画者)
 ※◎は各施策でもっとも高い効果となった項目
 ※— はアンケート調査項目としていない効果

【3施策共通】
 「必要な知識・意欲の向上」
 「地域人材の知識・スキル向上」
 「地域人材のネットワークの拡大」

【チーム型】
 全体的に高い効果のみられた項目が多い
 家庭教育支援の重要課題である「悩み・不安・孤立感の軽減」で高い効果

【特定の施策のみに見られる高い効果】
 講座型のみ
 「教職員と保護者の信頼関係の強化」
 チーム型のみ
 「家族で協力した子育て」、「必要な情報の適時入手」、「身近な相手への相談」
 「困難家庭の状況理解の深まり」
 「仕事で多忙な家庭への情報提供」、「困難家庭の状況の早期発見」、「専門機関へのつなぎの円滑化」
 早寝のみ
 「生活習慣の改善」
 「地域人材の生きがいの強まり」

【早寝】
 地域に関する効果で多くの項目で高い効果

2 調査結果概要～活動の工夫による効果の特徴：チーム型支援～

効果等		学校の協力に関する活動の工夫			
分野	項目	チームへの 助言	戸別訪問の 同行	情報共有会 議	専門機関へ のつなぎ
家庭	必要な知識・意欲の向上		12.6 ▲		
	悩み・不安・孤立感の軽減	21.2 ●	16.7 ▲		20.1 ●
子ども	生活習慣の改善	20.0 ●	16.5 ▲		
	学習意欲の向上	11.4 ▲	17.7 ▲		
	体力の向上				
	社会性の向上	16.1 ▲			
	自ら学び考える力の向上				
学校	教職員と保護者の信頼関係の強化	23.4 ●	32.8 ○	19.5 ▲	
	教職員と地域住民の信頼関係の強化	26.8 ●	12.2 ▲	21.1 ●	
	困難家庭の状況理解の深まり	26.8 ●	35.5 ○	31.1 ○	24.9 ●
	教職員の負担軽減		32.2 ○	19.1 ●	23.1 ●
地域	地域全体で子どもを育てる意識の向上	20.8 ●			
	地域の子育て人材の増加	17.3 ▲			
	地域人材の子育て支援参画の増加	20.0 ●			
予防 解決	仕事で多忙な家庭への情報提供	21.6 ●	18.1 ▲		23.5 ●
	学校活動に積極参加のない家庭への情報提供		29.9 ●		
	困難家庭の状況の早期発見	45.8 ○	33.7 ○	31.9 ○	20.3 ●
	専門機関へのつなぎの円滑化	17.3 ▲	25.5 ●	28.2 ●	27.7 ●
	不登校の改善・減少	23.7 ●	46.9 ○	15.2 ▲	18.8 ▲
児童虐待等の予防・早期対応	32.3 ○	30.6 ○	20.0 ●	26.1 ●	

※数値は、工夫の実施群と未実施群別に、効果があったかの設問に対し「そう思う」「ややそう思う」の教職員の回答率を合計し、その差分を算出したもの
※記号は差分の大きさにより区分け：
○30以上 ●20以上30未満 ▲10以上20未満

□ 学校の協力が、問題の予防・解決全般に大きく寄与

□ 学校の協力が、学校に対する幅広い効果に寄与

□ 学校の協力が、教職員の負担軽減にも寄与

□ 「困難家庭の状況の早期発見」で相対的に大きく寄与

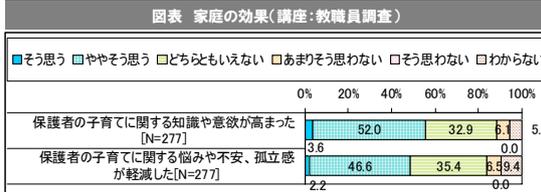
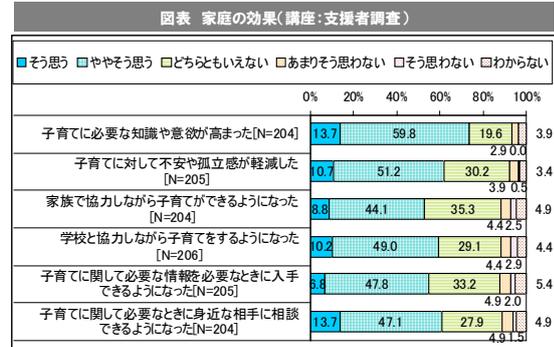
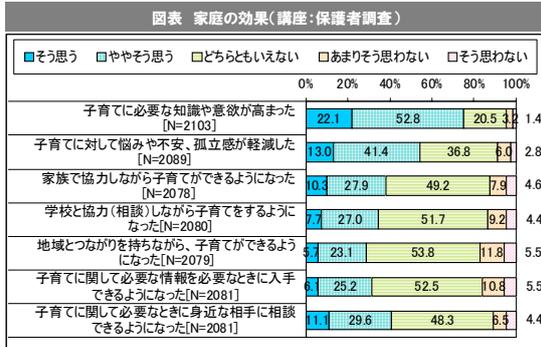
□ とくに「チームへの助言」による効果大きい

□ 「戸別訪問への同行」が、「不登校の改善・減少」に特に大きく寄与

□ 「チームへの助言」や「戸別訪問への同行」が、「児童虐待等の予防・早期対応」に大きく寄与

3 調査結果～講座型：家庭に関する効果～

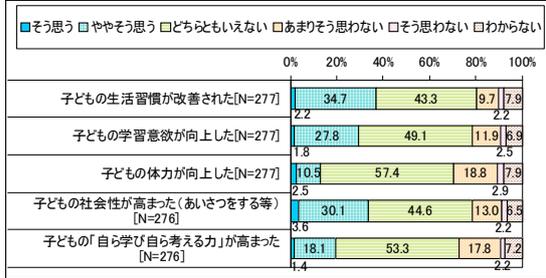
- 家庭の効果(保護者の参加効果):「必要な知識・意欲の向上(75%)」、「悩み・不安・孤立感の軽減(54%)」、「身近な相手に相談できるようになった(41%)」(保護者調査)が上位(数字は「そう思う」「ややそう思う」の回答率の合計。以下同様)
- 上位2点は、調査対象によらず共通の傾向



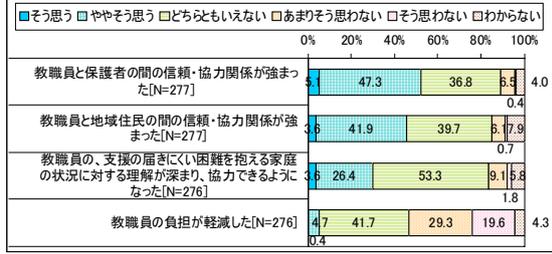
3 調査結果～講座型：子ども／学校に関する効果～

■子どもの効果:「生活習慣の改善(37%)」、「社会性の向上(34%)」、「学習意欲の向上(30%)」が上位(教職員調査)
 ■学校の効果:「教職員と保護者の信頼関係の強化(52%)」、「教職員と地域住民の信頼関係の強化(46%)」が上位。「教職員の負担軽減」は、「そう思わない」が49%(いずれも教職員調査)

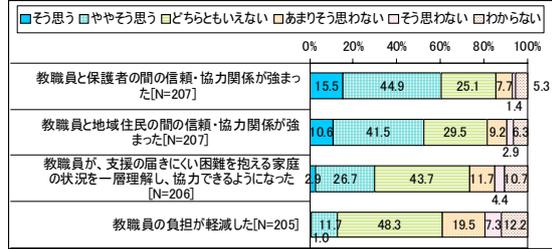
図表 子どもの効果(講座:教職員調査)



図表 学校の効果(講座:教職員調査)



図表 学校の効果(講座:支援者調査)

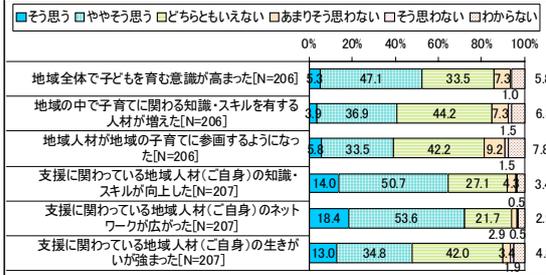


10

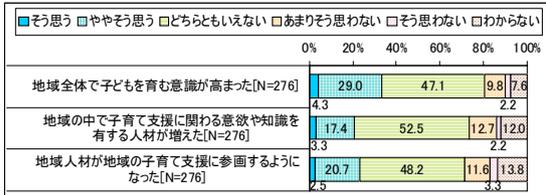
3 調査結果～講座型：地域／問題の予防・解決に関する効果～

■地域の効果:「地域人材(支援者)のネットワークの拡大(72%)」、「地域人材(支援者)の知識・スキル向上(65%)」と支援者自身の効果が上位となり、次いで「地域全体で子どもを育てる意識の向上(52%)」(支援者調査)
 ■問題の予防・解決への効果:「専門機関へのつなぎの円滑化(35%)」、「忙しい家庭への情報提供の実現(32%)」が上位(支援者調査)

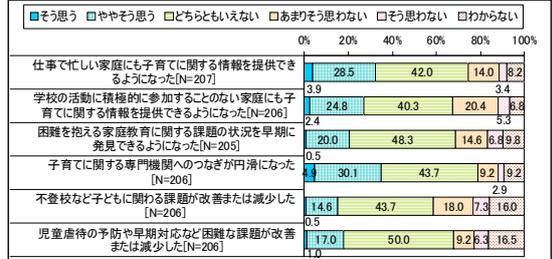
図表 地域の効果(講座:支援者調査)



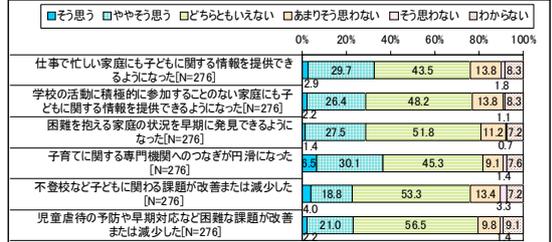
図表 地域の効果(講座:教職員調査)



図表 問題の予防・解決への効果(講座:支援者調査)



図表 問題の予防・解決への効果(講座:教職員調査)

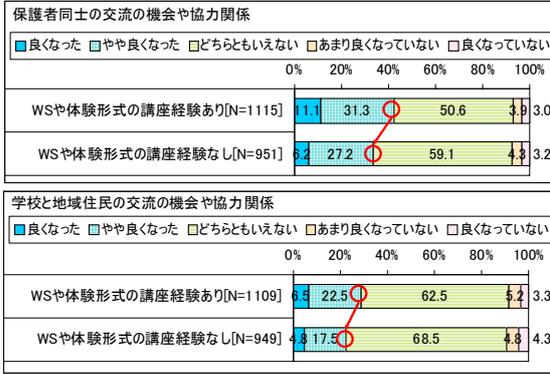


11

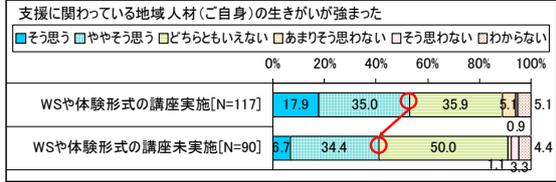
3 調査結果～講座型:WS・体験形式の効果～

- 「ワークショップ(WS)や体験形式など保護者が主体的に参加できる」内容の講座は、そうでない講座に比べ以下の傾向がある。
 - 家庭の効果:「保護者同士の交流機会や協力関係」、「学校と地域住民の交流機会や協力関係」、「必要な情報の適時入手」、「支援人材の生きがいの強まり」などで、効果が相対的に大きい(保護者調査)(※1)
 - 地域の効果:「地域人材(支援者)の生きがいの向上」で、効果が相対的に大きい(支援者調査)(※2)

図表 WSや体験形式の講座経験別効果(保護者調査)



図表 WSや体験形式の講座実施別効果(支援者調査)

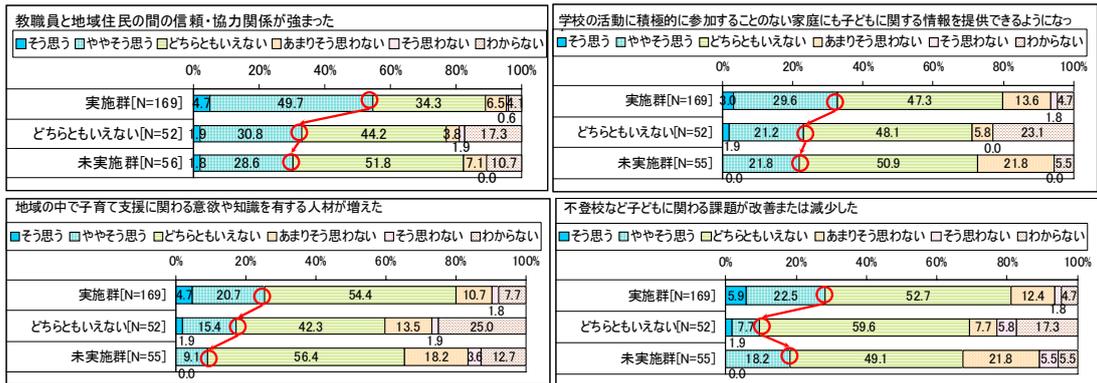


備考 ※1:一方、「悩み・不安・孤立感の軽減」で相対的に効果が小さい(教職員調査(▲8pt))
 ※2:一方、「地域人材の地域の子育てへの参画」で相対的に効果が小さい(支援者調査(▲15pt))

3 調査結果～講座型:地域支援人材との意見交換の効果～

- 「企画・実施時に地域の支援人材と定期的に意見交換を行っている」講座は、そうでない講座に比べ以下の傾向がある。
 - 学校の効果:「教職員と地域住民の信頼関係の強化」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)
 - 地域の効果:「地域で子育て支援に係る意欲・知識を有する人材の増加」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)
 - 問題の予防・解決への効果:「学校の活動に積極的に参加しない家庭への情報提供」、「不登校等の改善・減少」などで、効果が相対的に大きい(教職員調査)(※1)

図表 地域支援人材との意見交換に基づく講座実施別効果(教職員調査)

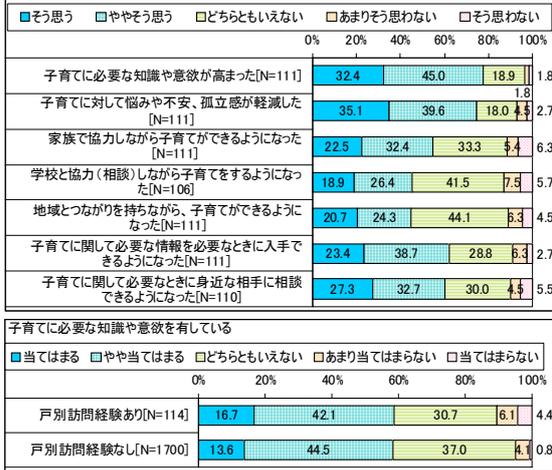


備考 ※1:このほか、「忙しい家庭への情報提供の実現」、「困難家庭の状況の早期発見」、「専門機関へのつなぎの円滑化」、「児童虐待の予防・早期対応」で効果がみられた

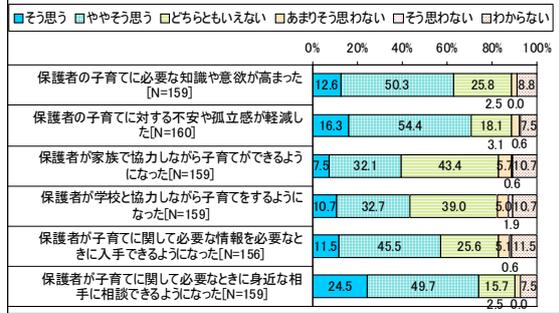
3 調査結果～チーム型:家庭に関する効果～

- 家庭の効果:「必要な知識・意欲の向上(77%)」、「悩み・不安・孤立感の軽減(75%)」、「必要な情報の適時入手(62%)」(保護者調査)が上位
- 支援者調査では、「必要な知識・意欲向上」よりも「身近な相手に相談できるようになった」、「悩み・不安・孤立感の軽減」の方が上位
- 戸別訪問の受入経験のある保護者は、ない保護者に比べ、「必要な知識・意欲」、「学校と協力した子育て」で、効果が相対的に大きく、「専門家等による訪問等の定期的サポート」、「地域住民の子育てへの協力」などで、満足度が相対的に高い(保護者調査)(※1)

図表 家庭の効果(チーム型:保護者調査)



図表 家庭の効果(チーム型:支援者調査)

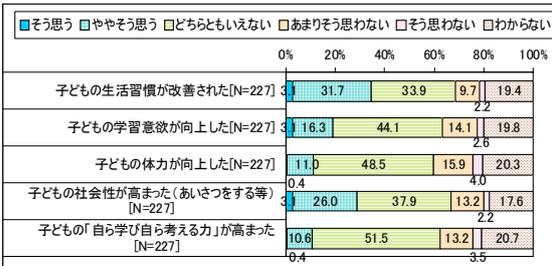


備考 ※1:このほか、「教員との情報共有」、「子育てに関する情報提供」、「他の保護者との交流機会」、「子育てに関する電話相談・相談機関」などでも、満足度が相対的に高い(保護者調査)

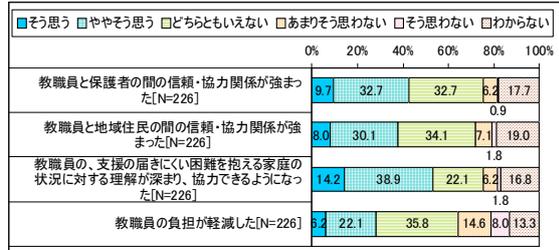
3 調査結果～チーム型:子ども/学校に関する効果～

- 子どもの効果:「生活習慣の改善(35%)」、「社会性の向上(28%)」、「学習意欲の向上(19.4%)」が上位
- 学校の効果:「困難家庭の状況理解の深まり(53%)」、「教職員と保護者の信頼関係の強化(42%)」が上位 (いずれも教職員調査)

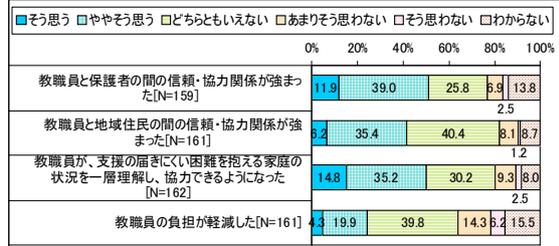
図表 子どもの効果(チーム型:教職員調査)



図表 学校の効果(チーム型:教職員調査)



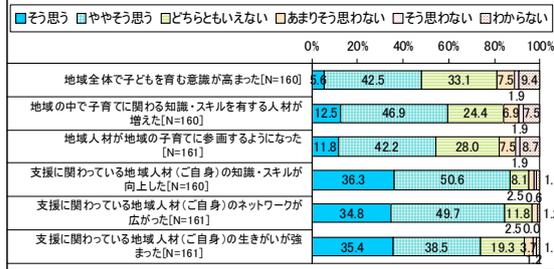
図表 学校の効果(チーム型:支援者調査)



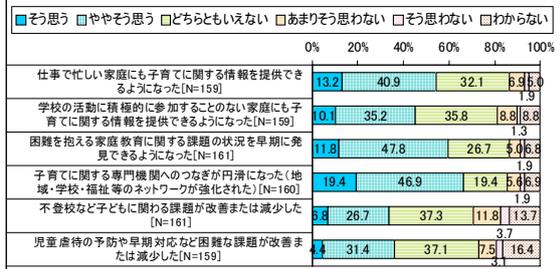
3 調査結果～チーム型：地域／問題の予防・解決に関する効果～

- 地域の効果**：「**地域人材(支援者)の知識・スキル向上(87%)**」、「**地域人材(支援者)のネットワークの拡大(85%)**」と支援者自身の効果が上位(支援者調査)
- 問題の予防・解決への効果**：「**専門機関へのつながりの円滑化(66%)**」、「**困難家庭の状況の早期発見(60%)**」が上位(支援者調査)

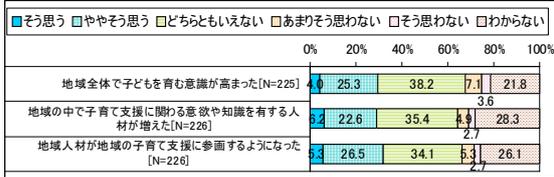
図表 地域の効果(チーム型：支援者調査)



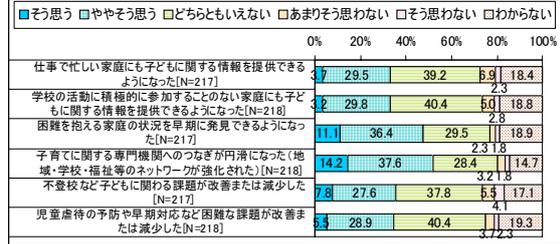
図表 問題の予防・解決への効果(チーム型：支援者調査)



図表 地域の効果(チーム型：教職員調査)



図表 問題の予防・解決への効果(チーム型：教職員調査)

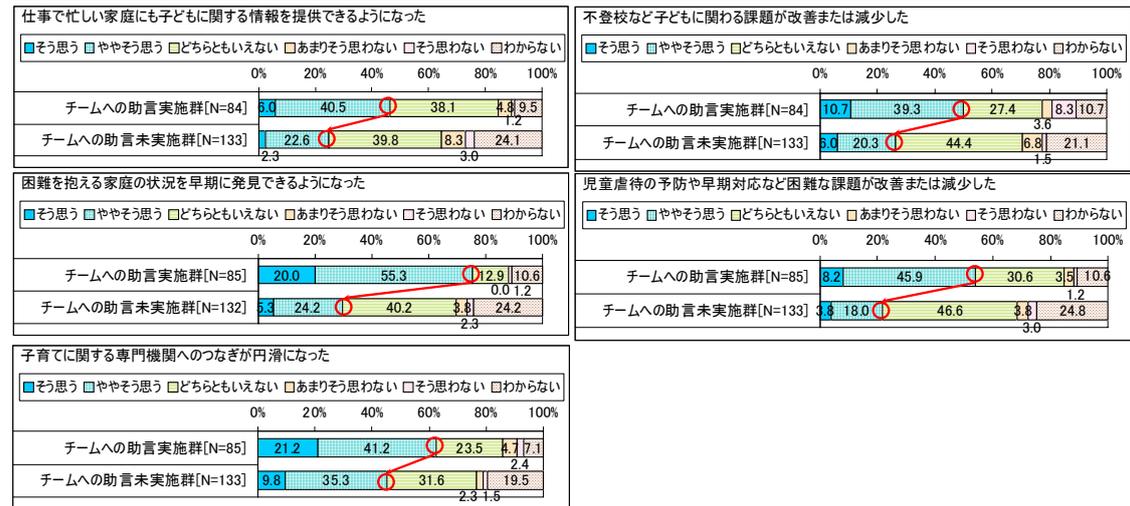


16

3 調査結果～チーム型：学校のチームへの助言の効果①～

- 「**学校(教職員)の家庭教育支援チームへの助言**」を行っている取組は、**そうでない取組に比べ以下の傾向がある。**
- 問題の予防・解決への効果**：「**忙しい家庭への情報提供の実現**」、「**困難家庭の状況の早期発見**」、「**専門機関へのつながりの円滑化**」、「**不登校等の改善・減少**」、「**児童虐待の予防・早期対応**」で、**効果が相対的に大きい(教職員調査)**

図表 学校のチームへの助言の効果(チーム型：教職員調査)

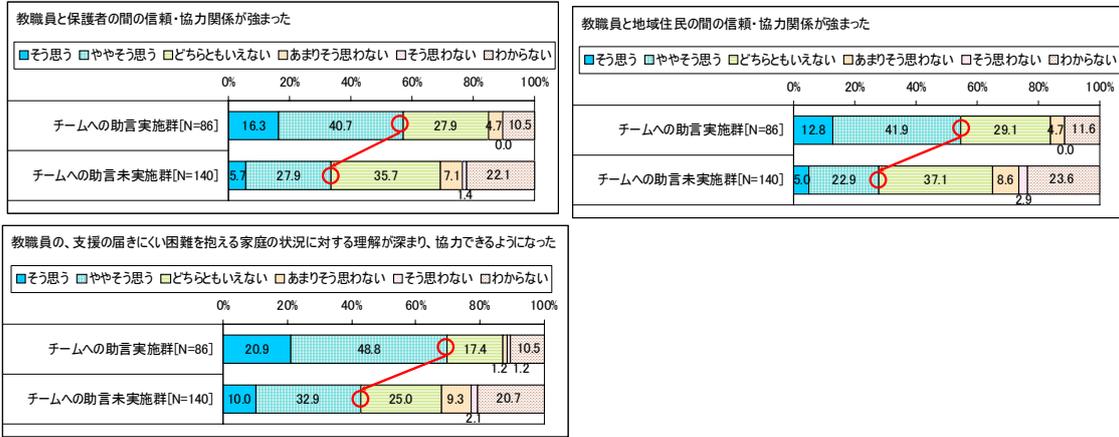


17

3 調査結果～チーム型：学校のチームへの助言の効果②～

■「学校(教職員)の家庭教育支援チームへの助言」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。
 ■学校の効果：「教職員と保護者の信頼関係の強化」、「教職員と地域住民の信頼関係の強化」、「困難家庭の状況理解の深まり」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

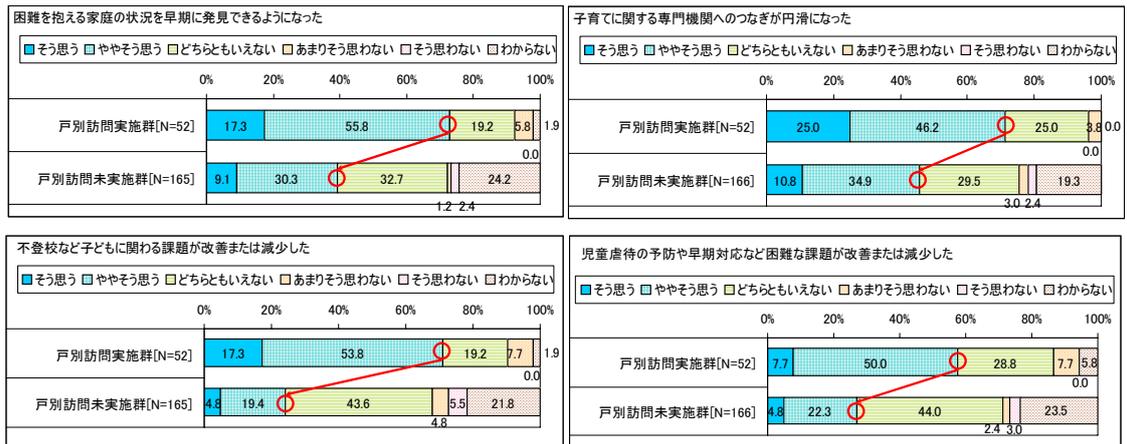
図表 学校のチームへの助言の効果(チーム型:教職員調査)



3 調査結果～チーム型：学校の戸別訪問同行の効果①～

■「学校(教職員)の戸別訪問への同行」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。
 ■問題の予防・解決への効果：「忙しい家庭への情報提供の実現」、「学校の活動に積極的に参加しない家庭への情報提供」、「困難家庭の状況の早期発見」、「専門機関へのつなぎの円滑化」、「不登校等の改善・減少」、「児童虐待の予防・早期対応」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

図表 学校の戸別訪問同行の効果(チーム型:教職員調査)

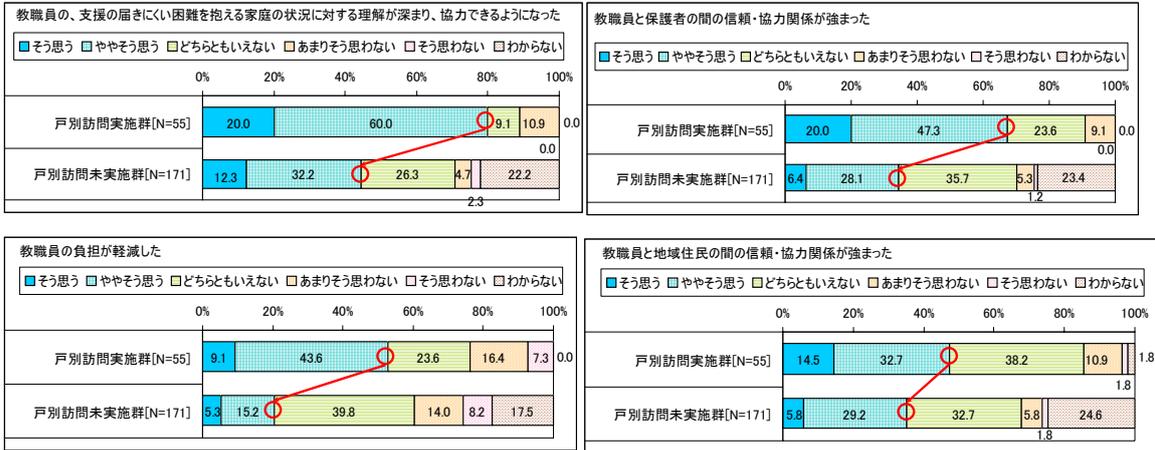


3 調査結果～チーム型:学校の戸別訪問同行の効果②～

■「学校(教職員)の戸別訪問への同行」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。

■学校の効果:「**困難家庭の状況理解の深まり**」、「**教職員の負担軽減**」、「**教職員と保護者の信頼関係の強化**」、「**教職員と地域住民の信頼関係の強化**」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

図表 学校の戸別訪問同行の効果(チーム型:教職員調査)



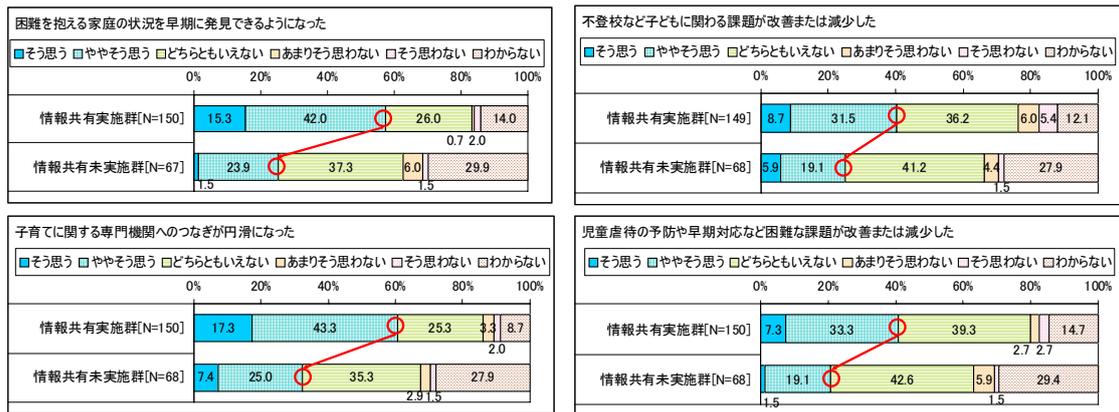
20

3 調査結果～チーム型:学校の情報共有会議の効果①～

■「学校(教職員)や家庭教育支援チームでの情報共有会議」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。

■問題の予防・解決への効果:「**困難家庭の状況の早期発見**」、「**専門機関へのつなぎの円滑化**」、「**不登校等の改善・減少**」、「**児童虐待の予防・早期対応**」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

図表 学校の情報共有会議の効果(チーム型:教職員調査)

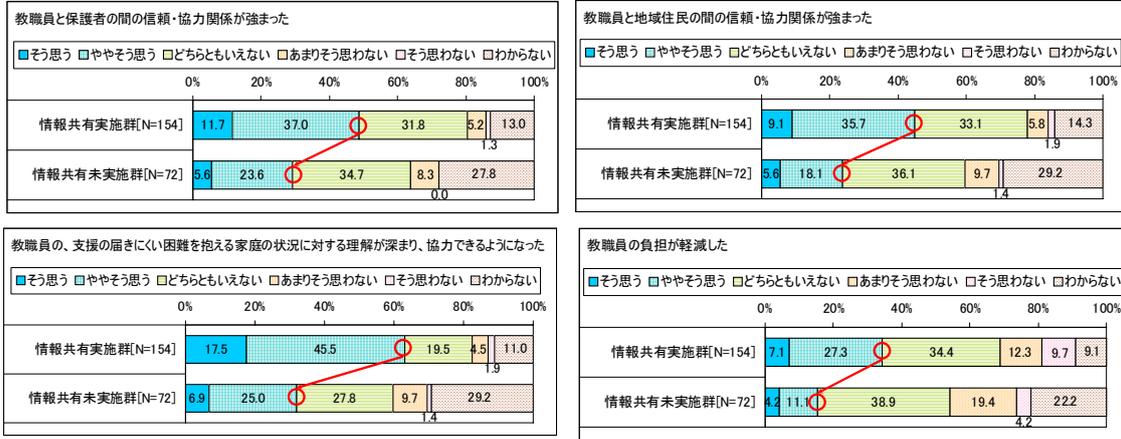


21

3 調査結果～チーム型:学校の情報共有会議の効果②～

■「学校(教職員)や家庭教育支援チームでの情報共有会議」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。
 ■学校の効果:「教職員と保護者の信頼関係の強化」、「教職員と地域住民の信頼関係の強化」、「困難家庭の状況理解の深まり」、「教職員の負担軽減」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

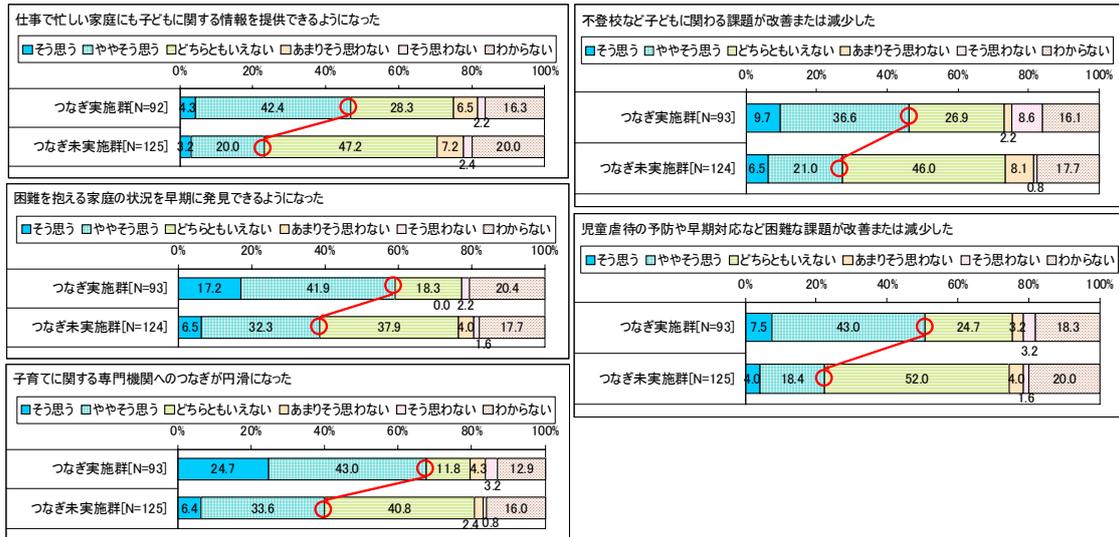
図表 学校の情報共有会議の効果(チーム型:教職員調査)



3 調査結果～チーム型:学校の専門機関へのつながりの効果①～

■「学校(教職員)が子育てに関する専門機関へのつながり」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。
 ■問題の予防・解決への効果:「忙しい家庭への情報提供の実現」、「困難家庭の状況の早期発見」、「専門機関へのつながりの円滑化」、「不登校等の改善・減少」、「児童虐待の予防・早期対応」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

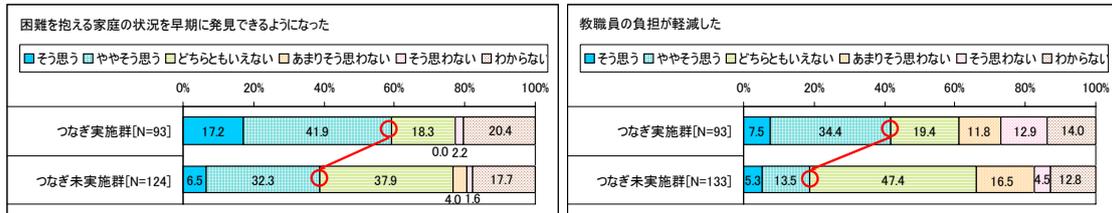
図表 学校の専門機関へのつながりの効果(チーム型:教職員調査)



3 調査結果～チーム型：学校の専門機関へのつなぎの効果②～

- 「学校(教職員)が子育てに関する専門機関へのつなぎ」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。
- 学校の効果：「**困難家庭の状況理解の深まり**」、「**教職員の負担軽減**」で、効果が相対的に大きい(教職員調査)

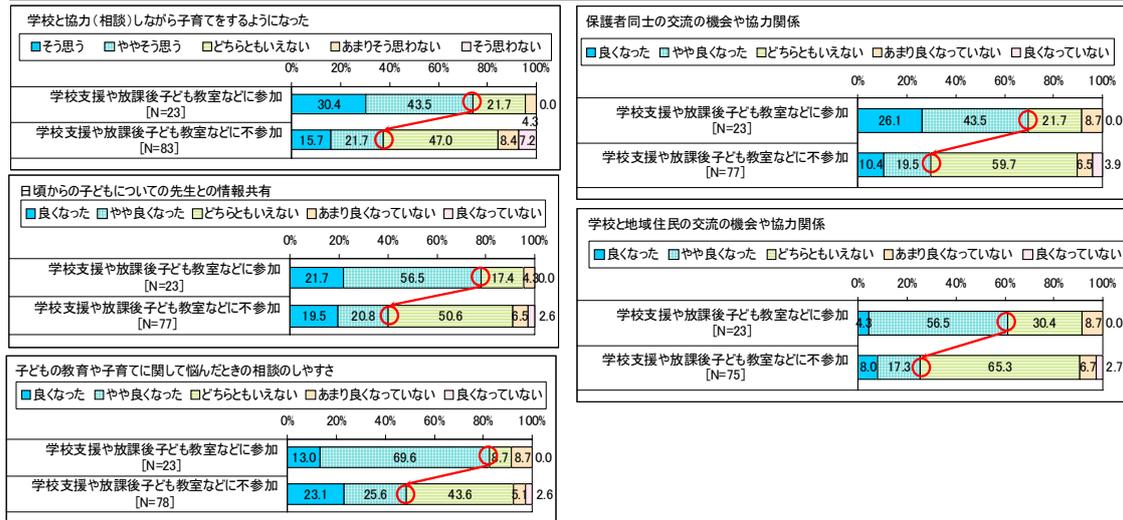
図表 学校の専門機関へのつなぎの効果(チーム型：教職員調査)



3 調査結果～チーム型：学校と地域の連携活動への参画の効果①～

- 支援チームが「学校支援や放課後子ども教室などにも参加し、子どもとの交流を深めている」取組は、そうでない取組に比べ、**家庭や学校への効果について、以下の傾向がある。**
- 「**学校と協力した子育ての実現**」、「**子どもについての先生との情報共有の円滑化**」、「**子育て等に悩んだときの学校への相談のしやすさ**」、「**保護者同士の交流機会や協力関係の改善**」、「**学校と地域住民の交流機会や協力関係の改善**」で、効果が相対的に大きい(保護者調査)

図表 支援チームによる学校と地域の連携活動への参画の効果(チーム型：保護者調査)

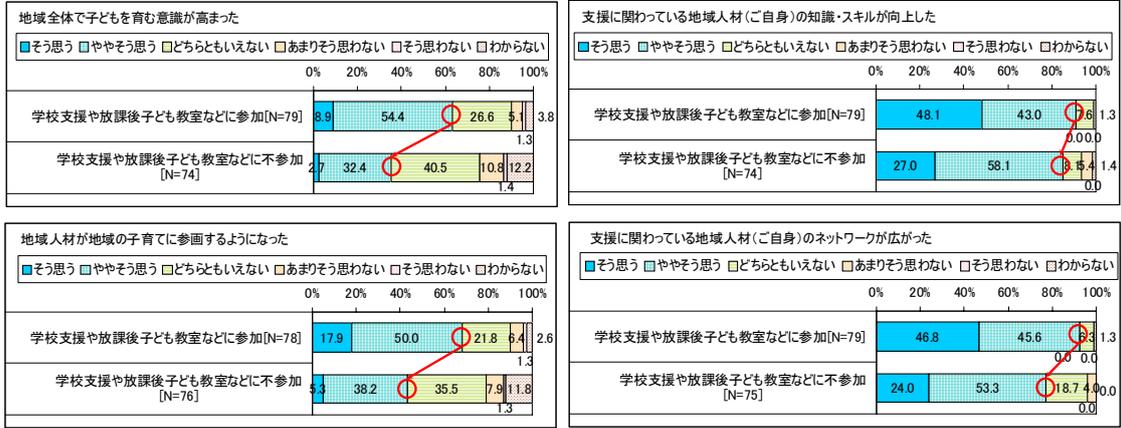


3 調査結果～チーム型：学校と地域の連携活動への参画の効果②～

■ 支援チームが「学校支援や放課後子ども教室などにも参加し、子どもとの交流を深めている」取組は、そうでない取組に比べ、**地域への効果について、以下の傾向がある。**

■ 「**地域全体での子育て意識の向上**」、「**地域人材の子育て参画の増加**」、「**地域人材(支援者)の知識・スキル向上**」、「**地域人材(支援者)のネットワークの拡大**」で、**効果が相対的に大きい(支援者調査)**

図表 支援チームによる学校と地域の連携活動への参画の効果(チーム型:支援者調査)



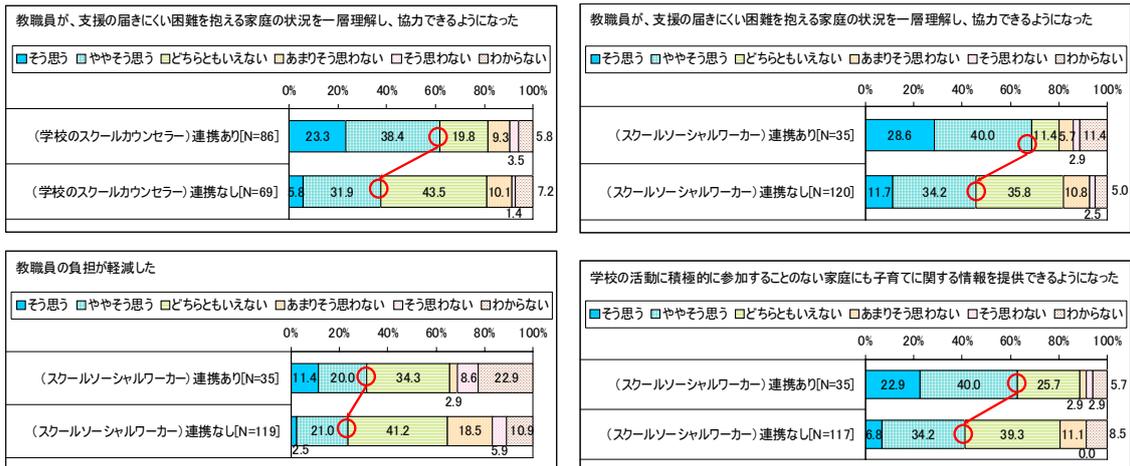
26

3 調査結果～チーム型：スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携による効果～

■ 支援チームが「学校のスクールカウンセラー」や「スクールソーシャルワーカー」と連携している取組は、そうでない取組に比べ、**学校や問題の予防・解決への効果について、以下の傾向がある。**

■ 「**困難家庭の状況理解の深まり**」、「**教職員の負担軽減**」、「**学校活動の積極参加のない家庭への情報提供**」で、**効果が相対的に大きい(支援者調査)**

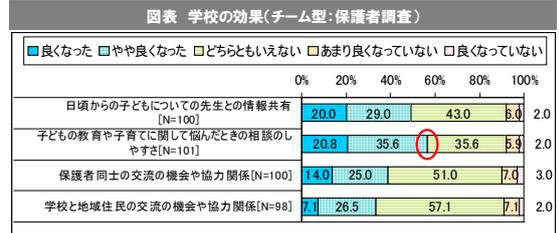
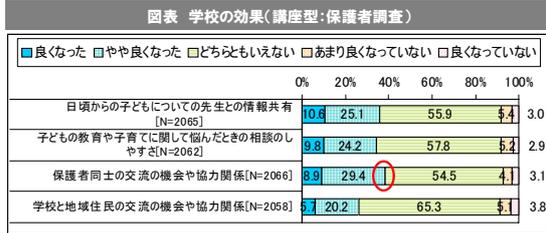
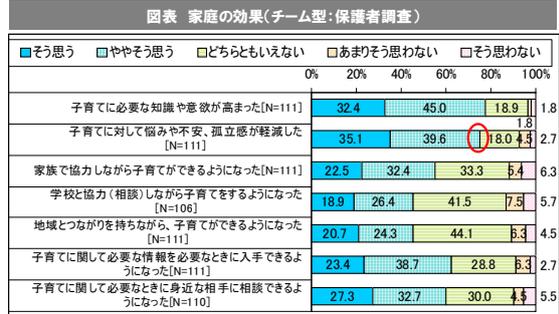
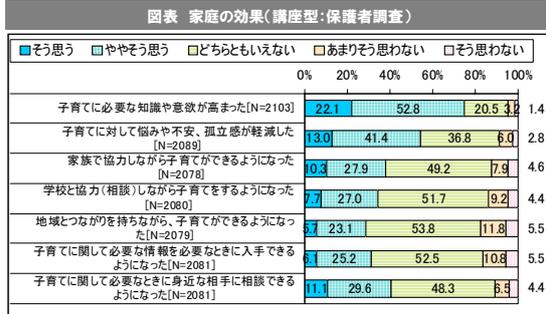
図表 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携による効果(チーム型:支援者調査)



27

3 調査結果～講座型とチーム型の比較～

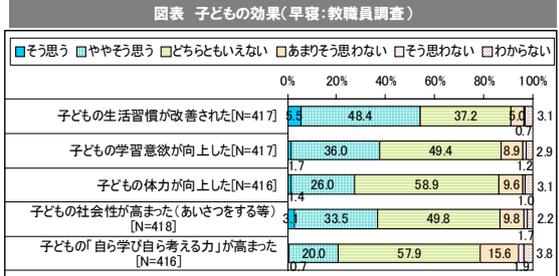
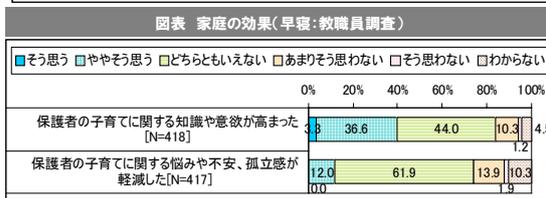
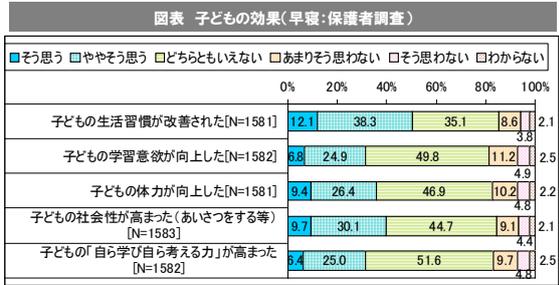
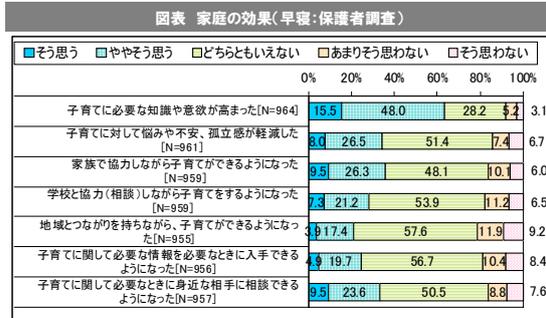
- 家庭の効果:いずれの項目においてもチーム型のほうが講座型に比べ効果が大きい、いずれも「必要な知識・意欲の向上」の効果がもっとも大きい、チーム型では、「悩み・不安・孤立感の軽減」で、それとほぼ同等の効果がみられる。
- 学校の効果:いずれの項目においてもチーム型のほうが講座型に比べ効果が大きい。講座型は、「保護者同士の交流機会・協力関係」の効果がもっとも大きかったのに対し、チーム型では、「悩んだときの相談のしやすさ」がもっとも大きい。



28

3 調査結果～早寝:家庭/子どもに関する効果～

- 家庭の効果:「必要な知識・意欲の向上(64%)」、「家族で協力した子育て(36%)」、「悩み・不安・孤立感の軽減(35%)」(保護者調査)が上位
- 子どもの効果:「生活習慣の改善(50%)」、「社会性の向上(40%)」、「体力の向上(36%)」が上位(保護者調査)

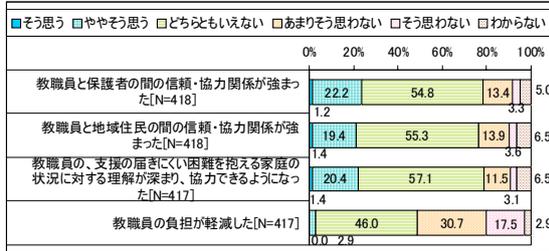


29

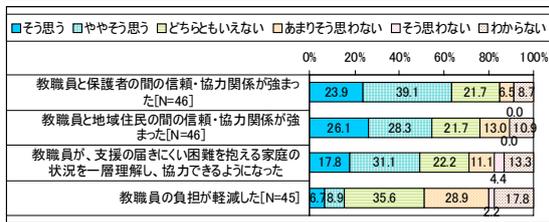
3 調査結果～早寝：学校／地域に関する効果～

- 学校の効果：「教職員と保護者の信頼関係の強化(23%)」、「教職員と地域住民の信頼関係の強化(21%)」が上位(教職員調査)
全般的に支援者調査結果のほうが高い効果
- 地域の効果：「地域人材(支援者)のネットワークの拡大(83%)」、「地域全体での子育て意識の向上(74%)」が上位(支援者調査)

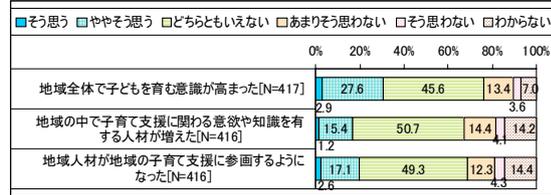
図表 学校の効果(早寝：教職員調査)



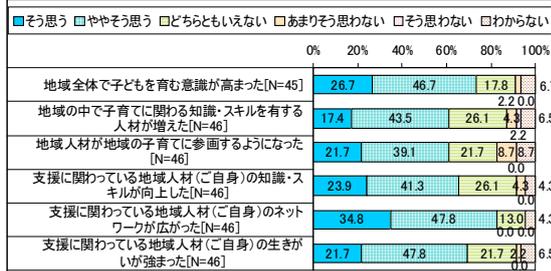
図表 学校の効果(早寝：支援者調査)



図表 地域の効果(早寝：教職員調査)



図表 地域の効果(早寝：支援者調査)



2. 調査研究の概要

2.1 背景・目的

都市化や核家族化、少子化、雇用環境の変化等、子育てや家庭教育を取り巻く環境が変動する中で、国・地域において様々な家庭教育支援施策が展開されている。しかしながら、家庭教育支援を通じて家庭・地域の意識や教育力がどのように変化しているのか、そうした変化が社会的課題（児童虐待、不登校等）の解決にどのような効果を及ぼしているのか、といった効果については、これまで十分に検証されていない。そこで本調査研究においては、家庭教育支援の効果や役割を明らかにし、今後の施策や取組の推進に役立てることを目的として、家庭教育支援が家庭や地域の意識・行動、社会的課題等に与える影響を評価・分析する。

2.2 調査対象

調査対象地域（市区町村）数は、評価・分析対象とする各施策につき、講座型 8 地域、チーム型 22 地域、早寝早起き朝ごはん 4 地域である。

調査対象者は、評価・分析対象とする各施策及び調査対象地域によらず、学校教員（幼稚園、小学校、中学校）、保護者、地域の支援者・企画者、行政（教育委員会）担当者の四者である。

2.3 調査対象地域の選定方針

講座型は、家庭教育に関する学習機会の提供を学校の間を活用して盛んに実施している地域と無作為に抽出した地域から選定した。チーム型は、週 1 回以上活動頻度があり、①福祉との連携、②教員との連携や学校に拠点がある、③地域の養成人材が中心となり地域に拠点がある、のいずれかを特徴的に満たす地域から選定した。早寝早起き朝ごはンは、条例や市の運動として地域全体で取り組んでいる地域を選定した。

2.4 調査項目

調査項目は、各調査対象者につき、図表 2-1 のとおりである。詳細は、「参考資料 1 アンケート調査票」参照。

図表 2-1 アンケート調査項目(概要)

調査対象者	調査項目
学校教員	家庭教育支援に関する取組内容、取組に関する協力・工夫状況、子どもへの効果、家庭への効果、学校への効果、地域への効果、問題の予防・解決への効果
保護者	年代、性別、子どもの人数、子どもの年齢、子育てを手伝ってくれる人の同居有無、子育てに関して相談可能な友人・知人数、職業、家庭生活状態、家庭の経済状態、家庭教育支援に関する取組の参加・活用状況、子どもへの効果、家庭への効果、子育てサポートに関する学校や地域への要望

調査対象者	調査項目
地域の支援者・ 企画者	年代、性別、居住期間、家庭教育支援に関する取組期間、現在の役割、 研修参加回数、子育て経験の有無、家庭教育支援に関する取組内容、活動拠点、 活動メンバー、他の人材・機関との連携、活動件数、取組に関する協力・工夫状況、 取組に関する課題、取組に関する今後の展望、子どもへの効果、家庭への効果、 学校への効果、地域への効果、問題の予防・解決への効果
行政担当者	家庭教育を巡る課題、家庭教育支援に関する取組内容、取組期間、担当部署、 取組に関する課題、取組に関する今後の展望、家庭への効果、学校への効果、 地域への効果、問題の予防・解決への効果

2.5 効果測定の方法

効果測定は、大別して二通りのアプローチにより実施した。第一に、各指標に関する現在の達成状況について、各施策の実施群と未実施群（あるいは特定の取組をしている群としていない群）を比較し、実施群が未実施群に比して統計的に有意に高いか／低いかを検証した。第二に、各施策の実施群のみに注目して当該施策による効果を直接的に質問し（例えば、「家庭教育学級などの「家庭教育に関する学習機会の提供」を通じて、全般的にどのような効果があったと思いますか」と質問し、「保護者の子育てに関する知識や意欲が高まった」について5件法で回答）、実施群の中で活動内容・頻度等ごとに調査対象をグルーピングして、回答傾向を比較検証した。

2.6 回収状況

アンケート調査の回収状況は、図表 2-2 のとおりである。

図表 2-2 アンケート調査回収状況

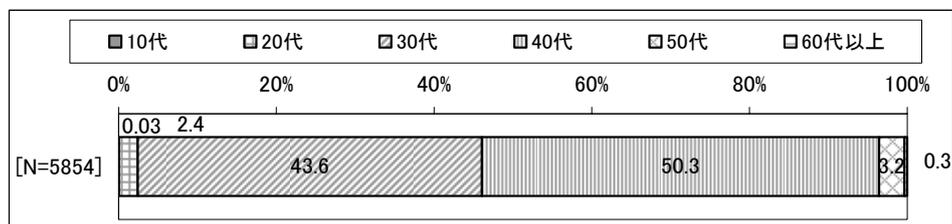
調査対象		発送数	有効回答数	有効回答率
講座型	学校教員	1,365	919	67.3%
	保護者	8,400	5,863	69.8%
	地域の支援者・企画者	345	211	61.2%
	行政担当者	8	8	100.0%
チーム型	学校教員	875	455	52.0%
	保護者	4,600	1,827	39.7%
	地域の支援者・企画者	440	162	36.8%
	行政担当者	22	17	77.3%
朝ごはん 早寝早起	学校教員	676	425	62.9%
	保護者	4,160	2,551	61.3%
	地域の支援者・企画者	80	47	58.8%
	行政担当者	4	4	100.0%

3. 単純集計結果

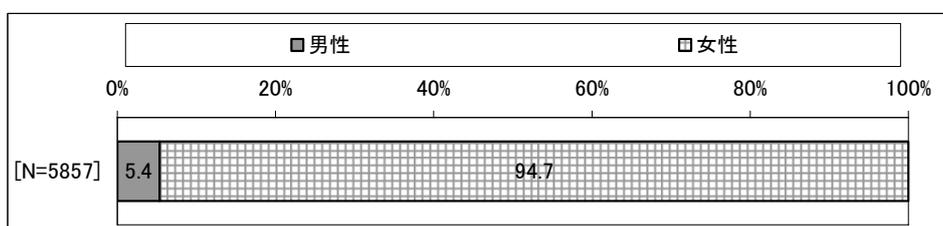
3.1 単純集計

3.1.1 講座型（保護者）

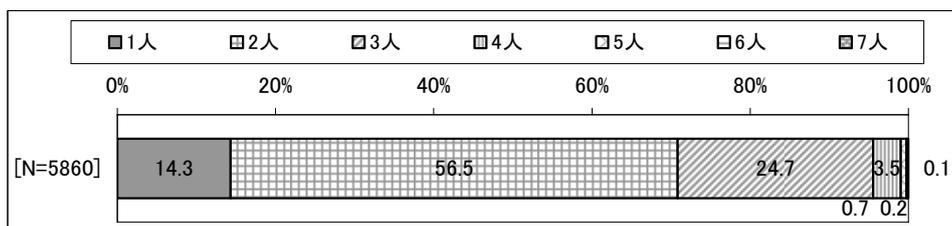
問1 平成23年11月1日現在、あなたの年代をお教えてください。



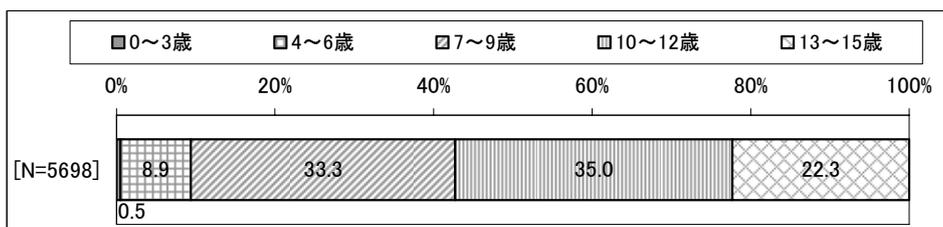
問2 あなたの性別をお教えてください。



問3 あなたは、お子様を何人お持ちですか。

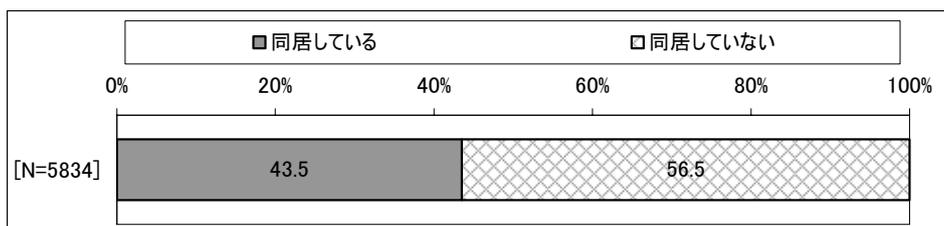


問4 このアンケートをお持ちになったお子様は、平成23年11月1日現在おいくつですか。

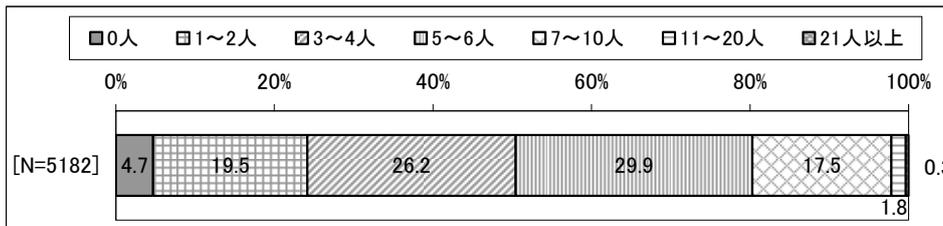


*16歳以上と複数回答を除く

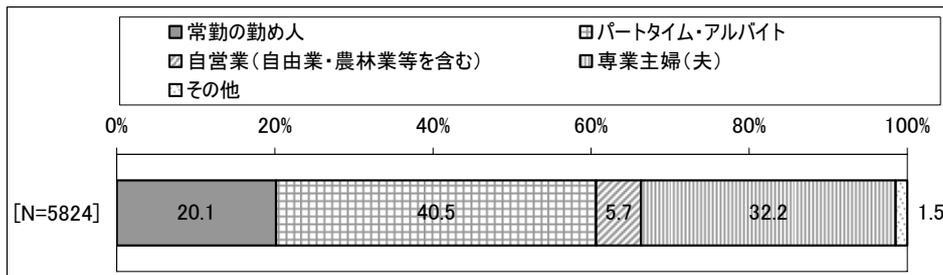
問5 あなたは、ご自身あるいは配偶者（パートナー）の親や親戚（子育てを手伝ってくれる方）と同居していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



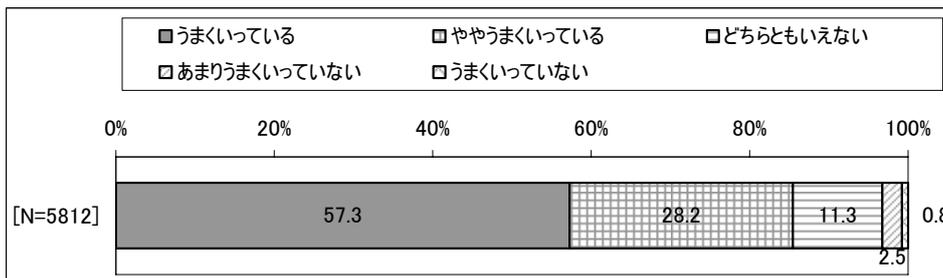
問 6 あなたは、子育てに関して気軽に相談できる友人・知人(親戚を除く)を何人くらいお持ちですか。



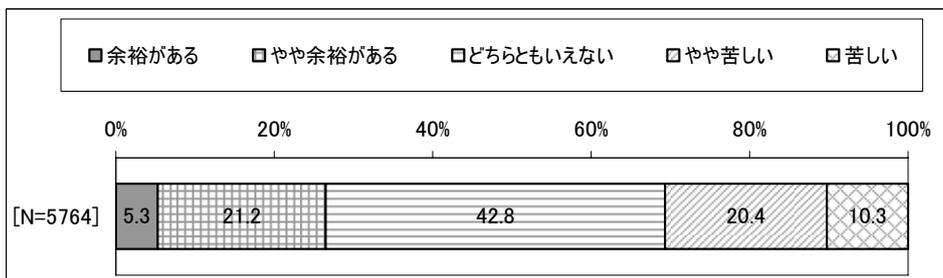
問 7 あなたの現在のご職業は、次のいずれかに該当しますか。差し支えなければ、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



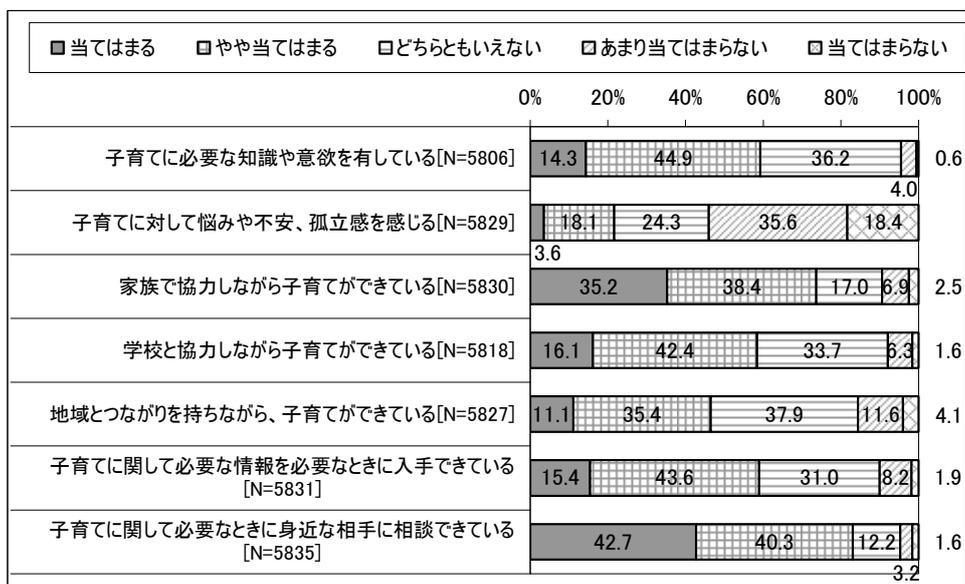
問 8 現在、あなたのご家庭生活の状態はいかがですか。差し支えなければ、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



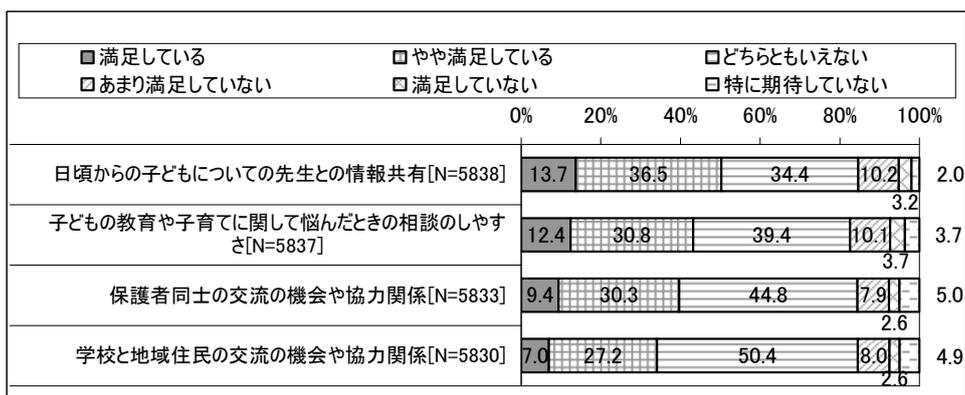
問 9 現在、あなたのご家庭の経済状態はいかがですか。差し支えなければ、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



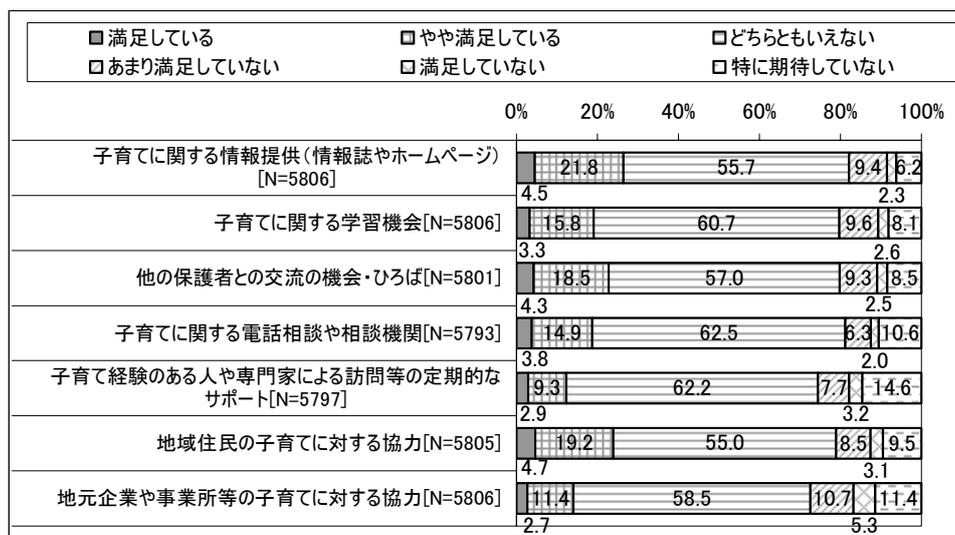
問 10 あなたは、以下のような項目についてどの程度当てはまると思いますか。a～g それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 11 あなたは、(このアンケートを持参した)お子様を通う学校での以下のような項目に関して、どの程度満足していますか。a～d それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

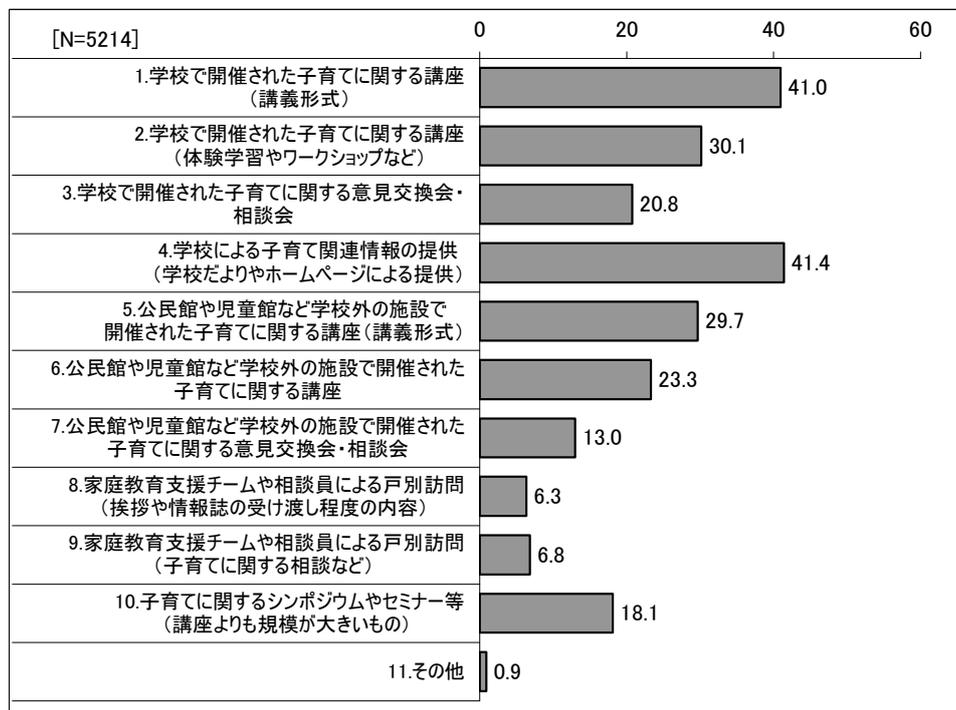


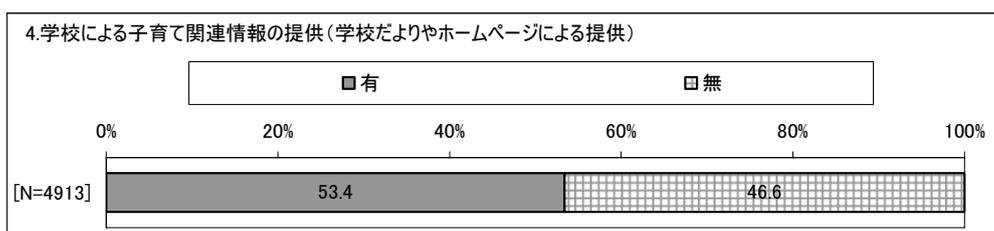
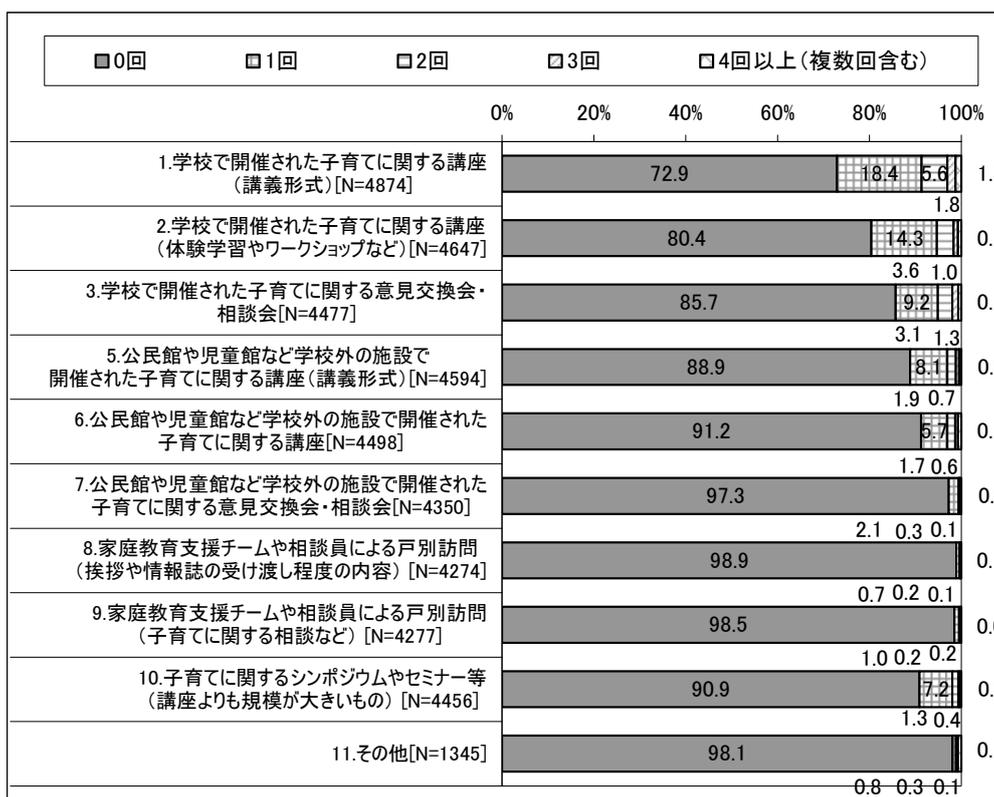
問 12 あなたは、子育てに関する地域のサポートに関して、どの程度満足していますか。a~g それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



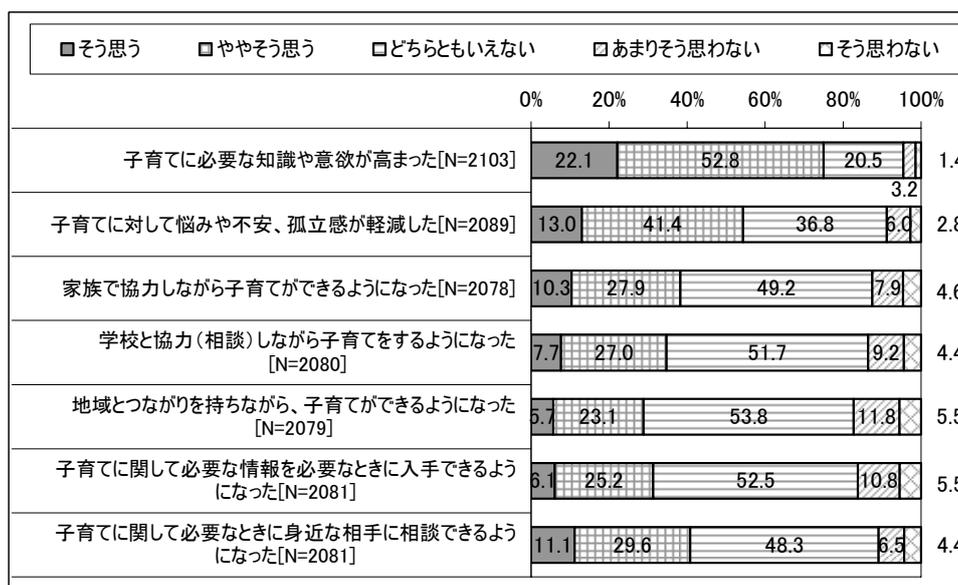
問 13 あなたは、子育て支援に関する以下のような取組に参加したことがありますか。大体で構いませんので、過去 1 年間に参加/活用した回数(一度もない場合は「0」)をお書きください。(「4」については、活用の有無について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください)

(※各取組について知っている保護者の割合)

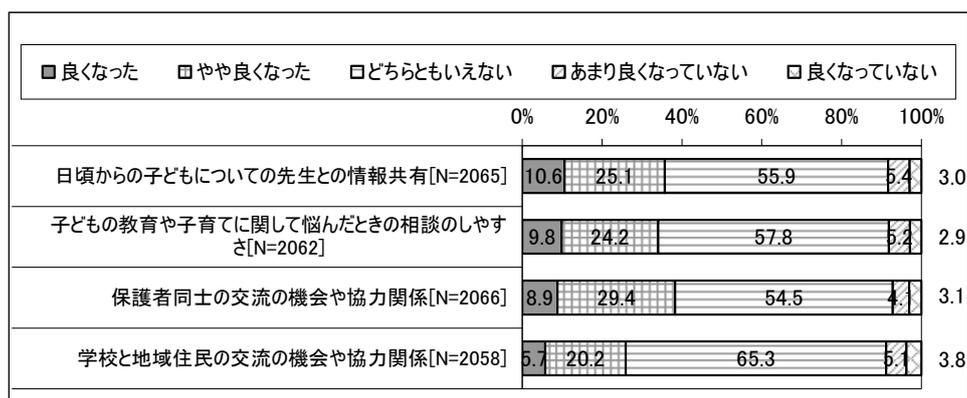




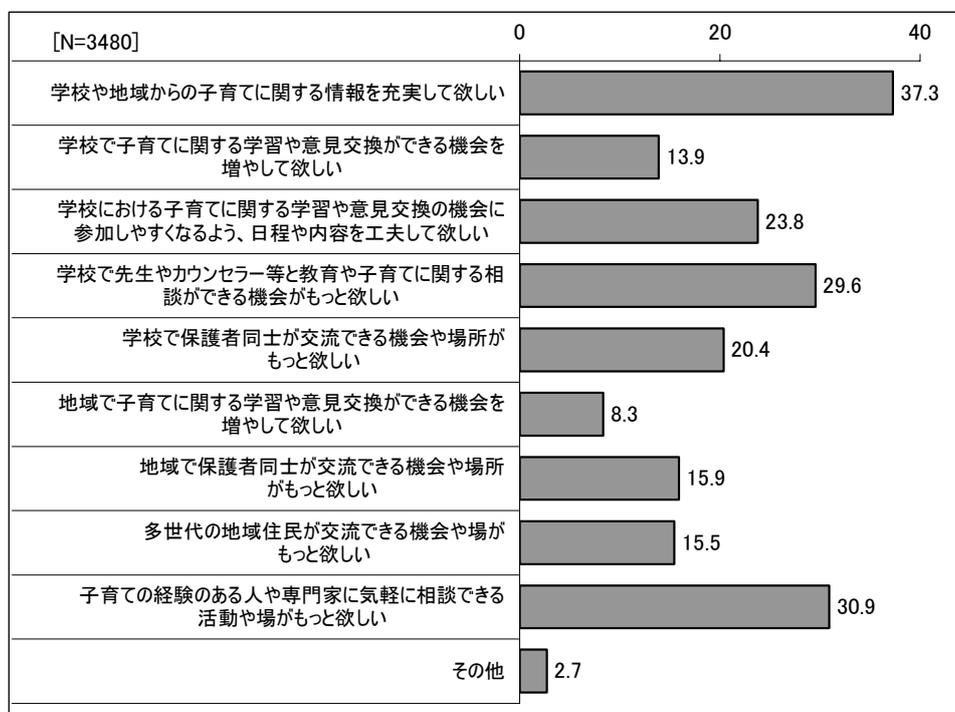
問 14 問 13 で「1」～「3」または「5」～「7」いずれかの参加/活用回数が 1 回以上ある方のみにお聞きます。それらへの参加/活用を通じて、ご自身にとってどのような変化があったと思いますか。a～gそれぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 15 問 13 で「1」～「3」または「5」～「7」いずれかの参加／活用回数が 1 回以上ある方のみにお聞きます。それらへの参加／活用を通じて、お様が通う学校について、以下のような項目にどのような変化がありましたか。a～d それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

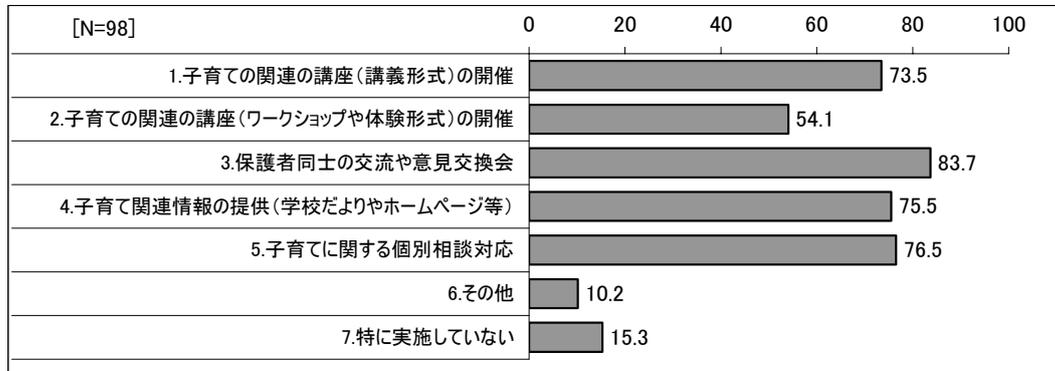


問 16 あなたの学校や地域の子育てサポートの取組について、要望はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

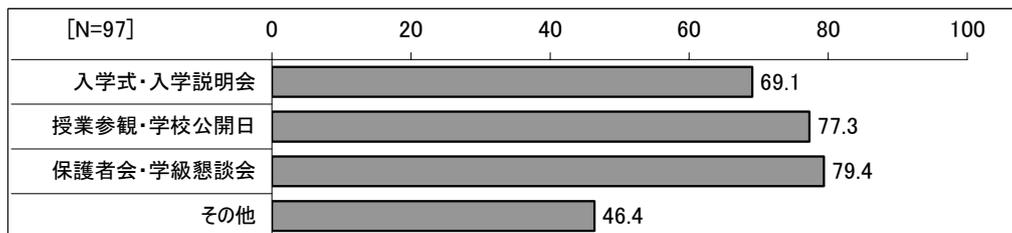


3.1.2 講座型（教員）

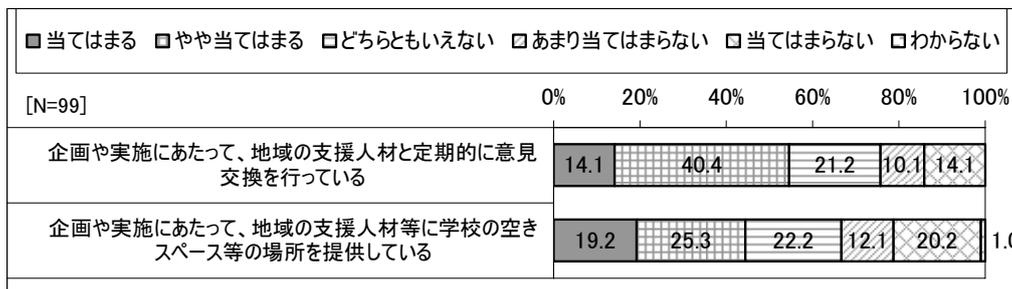
問 1 あなたの学校では、家庭教育学級などの「家庭教育支援に関する学習機会」について、どのような取組を行ってきましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



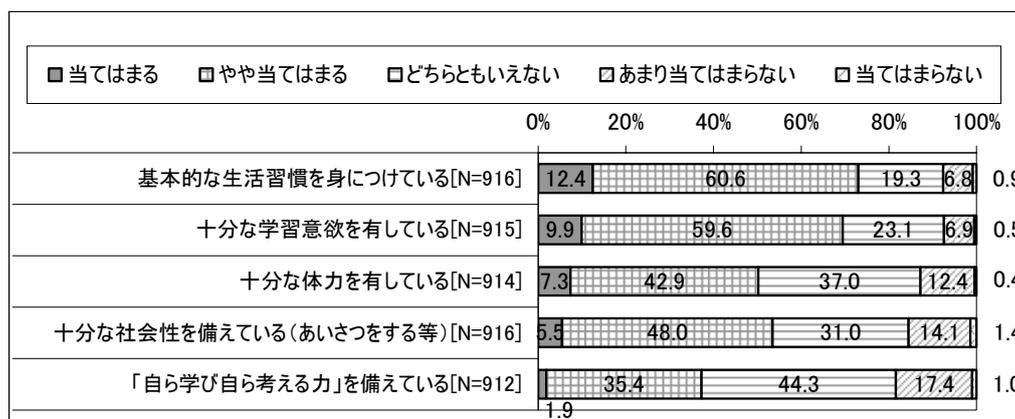
問 2 問 1 で、「1」～「3」に○をつけた方のみにお聞きます。これらの取組を実施する際、以下のような機会を活用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



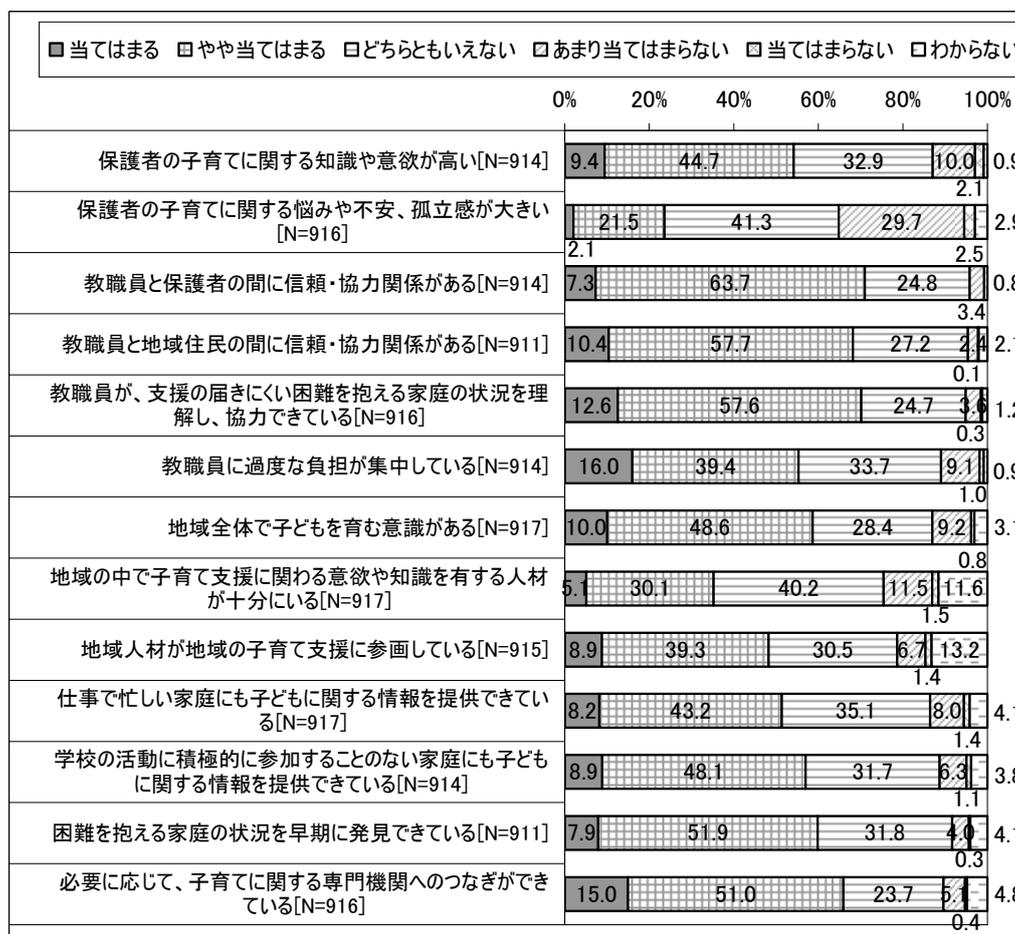
問 3 あなたの学校では、家庭教育支援に関する取組を進めるに当たって、以下のような協力や工夫をしていますか。以下の a～b の それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



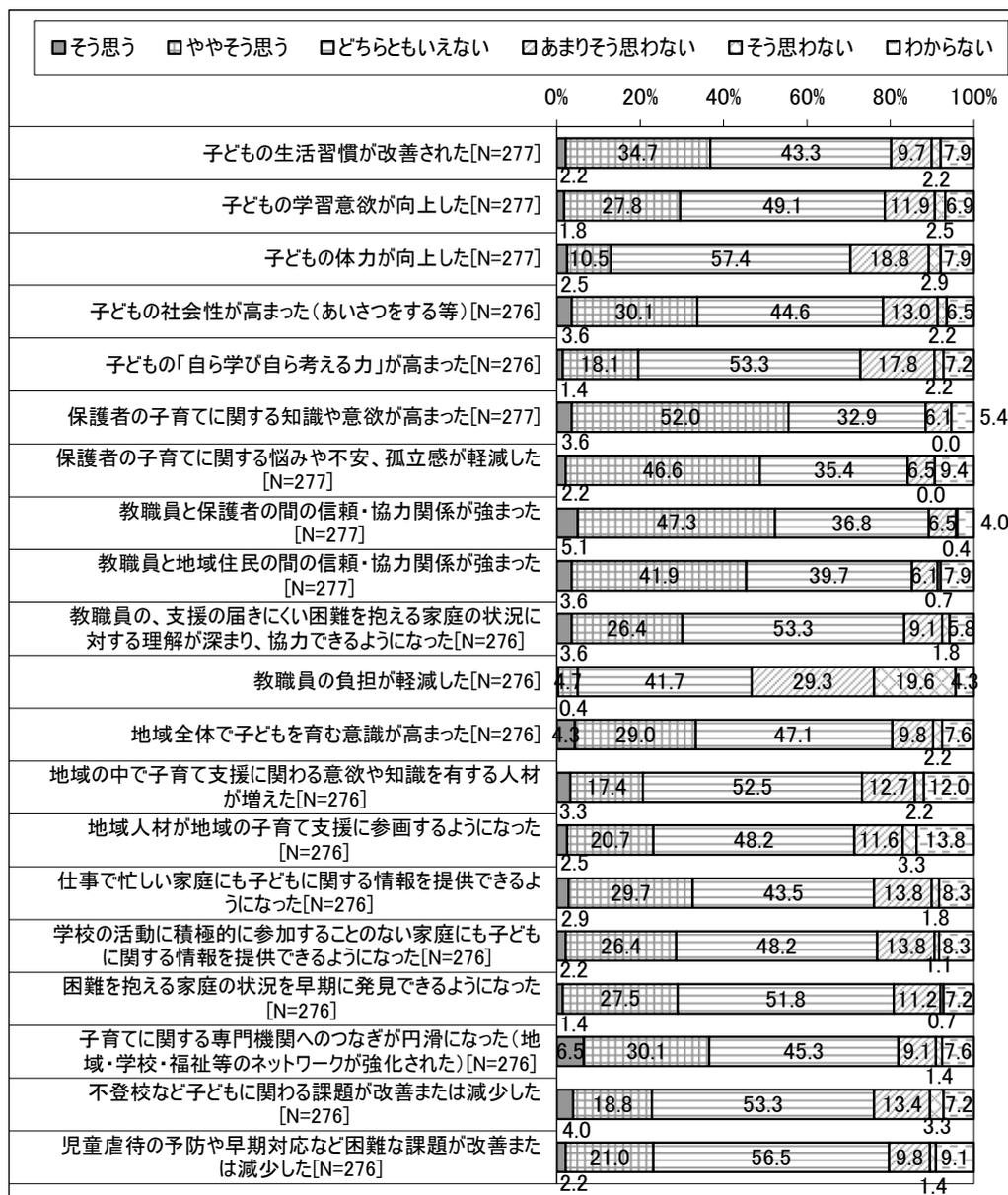
問 4 あなたの学校の児童生徒は、以下のような項目がどの程度当てはまると思いますか。a～e それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 5 あなたの学校では、以下のような項目がどの程度当てはまると思いますか。a～m それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

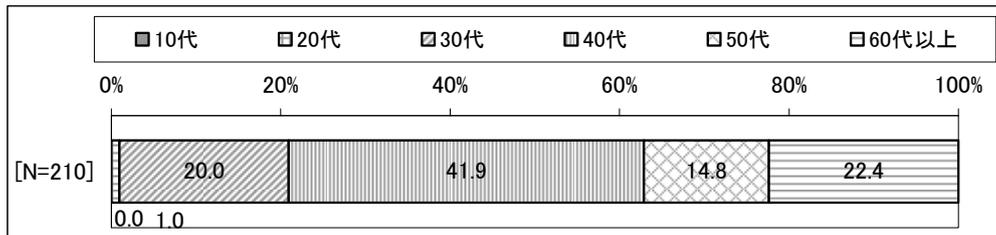


問6 問1で、「1」～「3」に○をつけた方のみにお聞きます。家庭教育学級などの「家庭教育に関する学習機会の提供」を通じて、全般的にどのような効果があったと思いますか。a～t それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

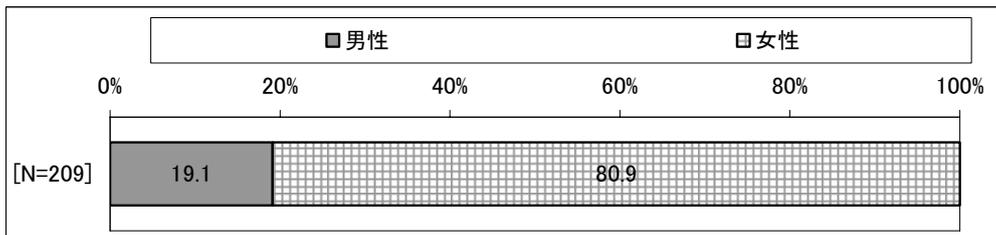


3.1.3 講座型（地域の支援者・企画者）

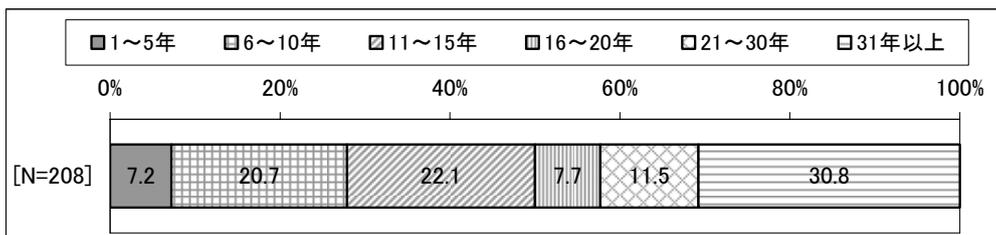
問1 平成23年11月1日現在、あなたの年代をお教えてください。



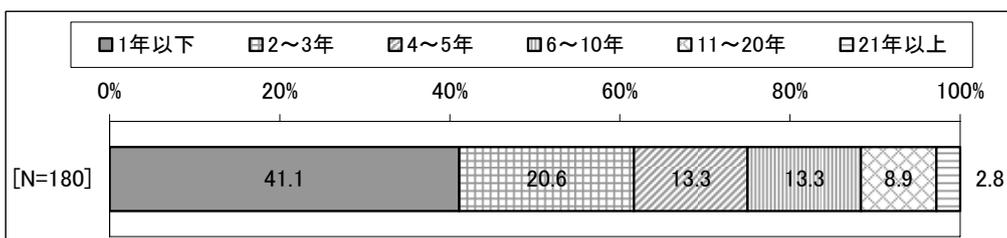
問2 あなたの性別をお教えてください。



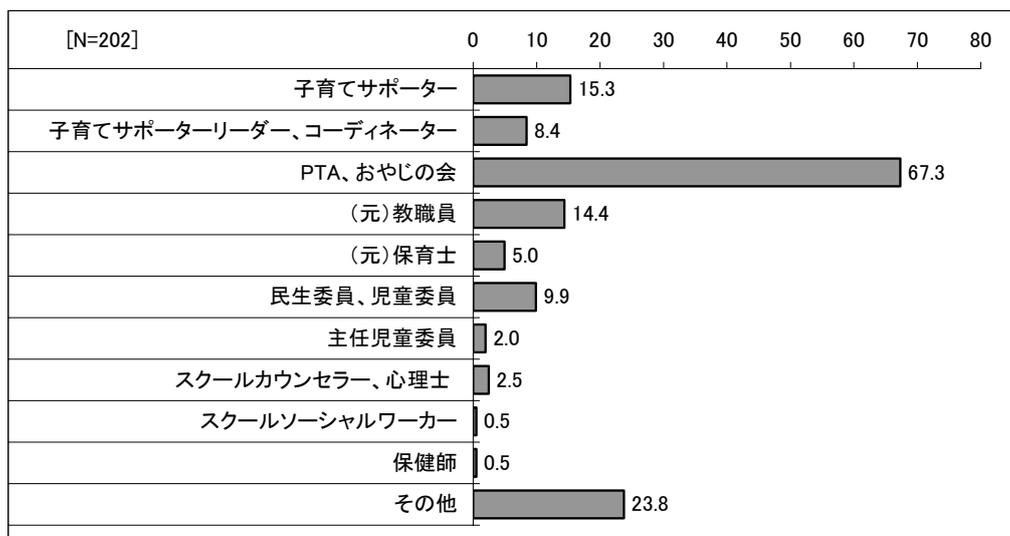
問3 平成23年11月1日現在、あなたは現在の居住地にどれくらい住んでいますか。



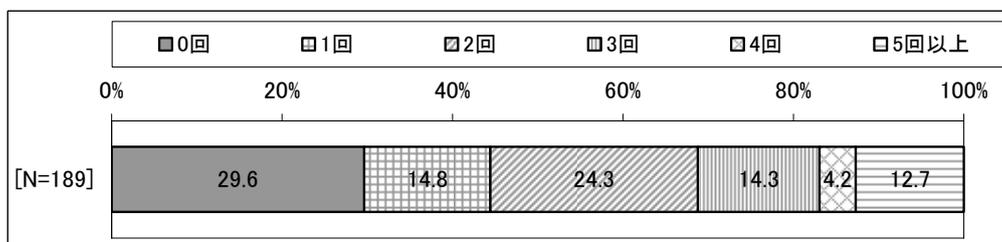
問4 あなたは、家庭教育支援（保護者向け講座の開催や戸別訪問、相談対応等）に関する取組を始めて何年になりますか。



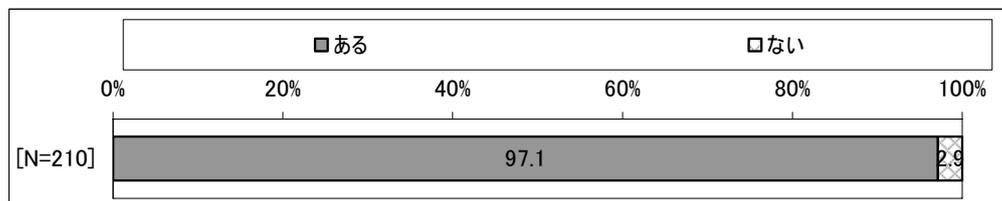
問 5 あなたのこれまでの経験や現在の役割についてお聞きます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



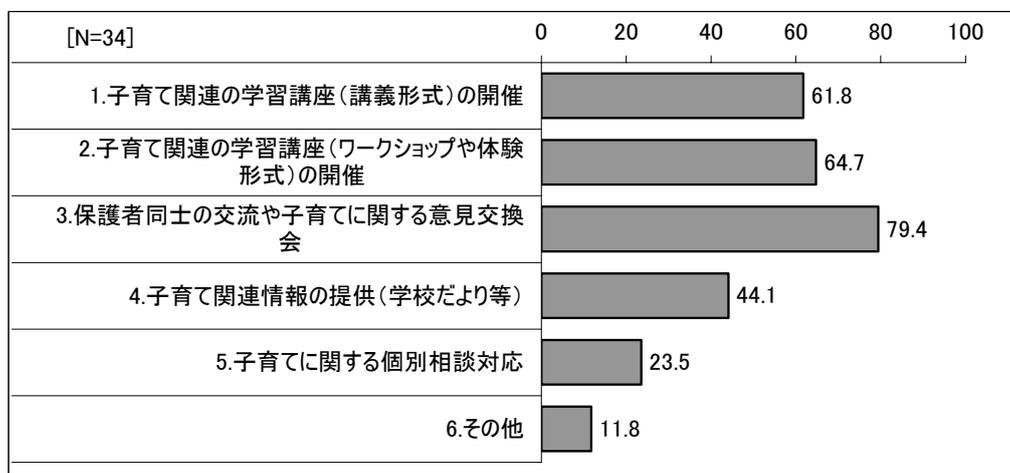
問 6 あなたは、過去 1 年間に行政等が開催した家庭教育支援者向けの研修に何回参加しましたか。



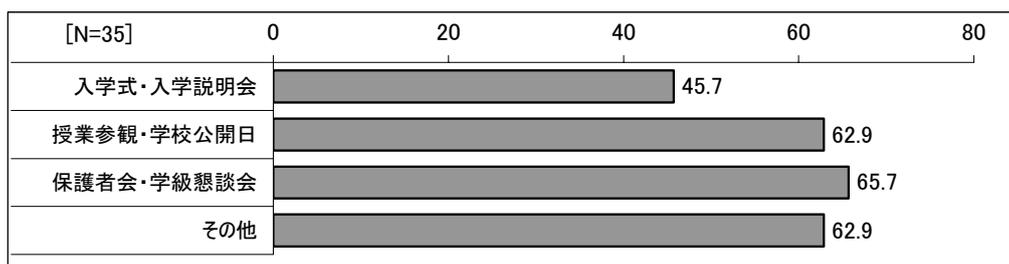
問 7 あなたは、ご自身で子育てをされた経験がございますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



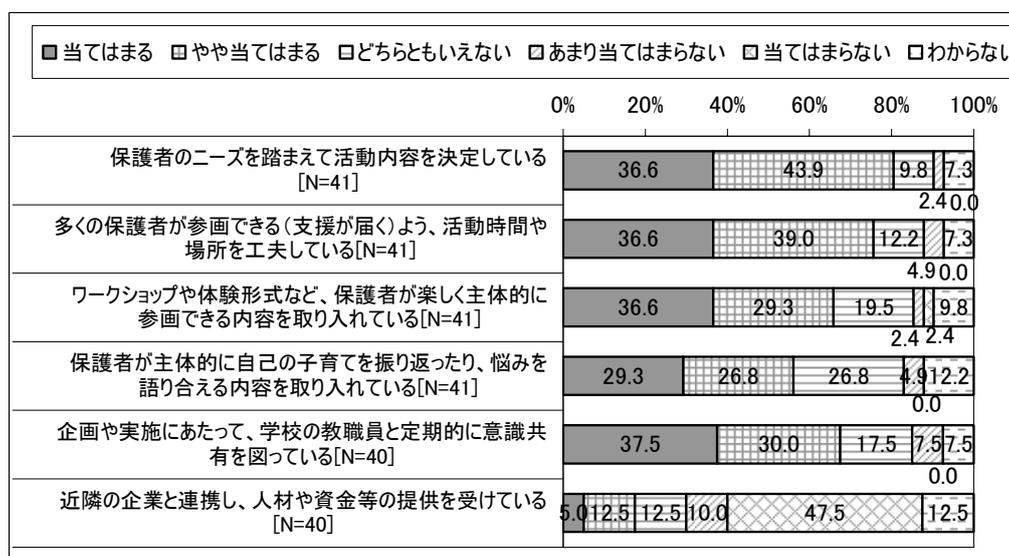
問 8 あなた方の活動では、学校と連携した家庭教育学級などの家庭教育支援に関する学習機会について、どのような取組を行ってきましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「1」～「3」に○をつけた方は、それぞれ年間何回程度実施しているかお書きください。



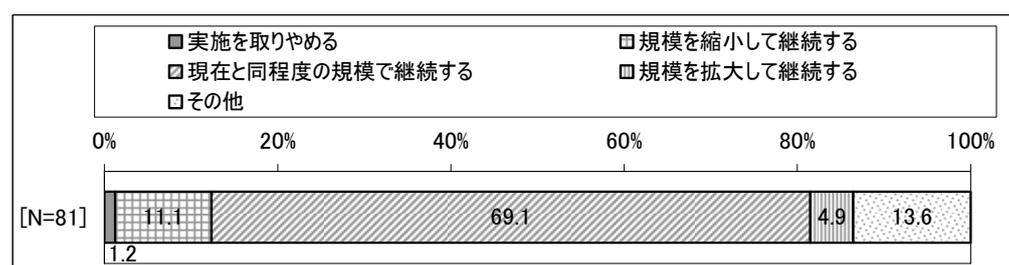
問 9 問 8 で、「1」～「3」に○をつけた方のみにお聞きします。これらの取組を実施する際、以下のような機会を活用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



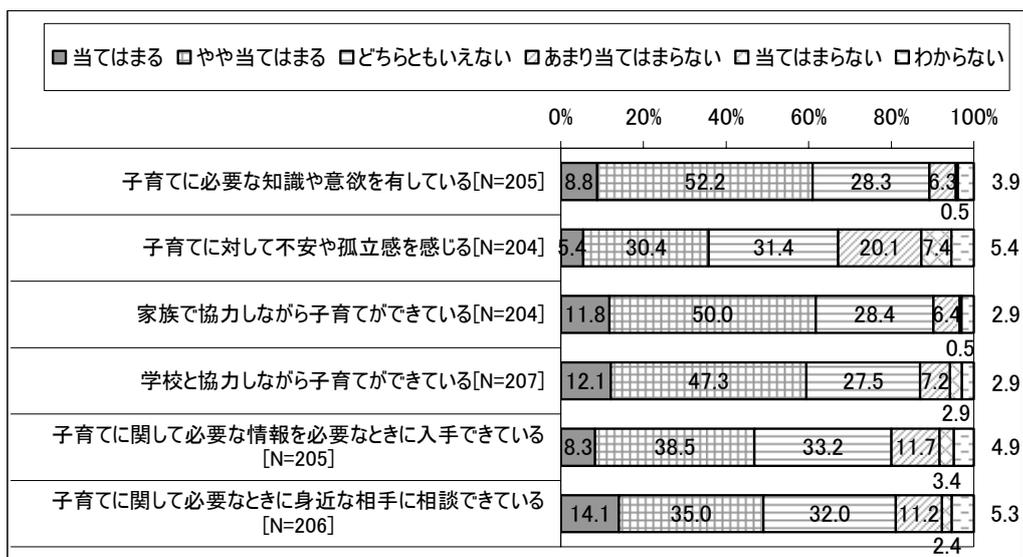
問 10 あなた方の活動では、家庭教育支援に関する取組を進めるに当たって、以下のような点を工夫していますか。以下の a～f それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



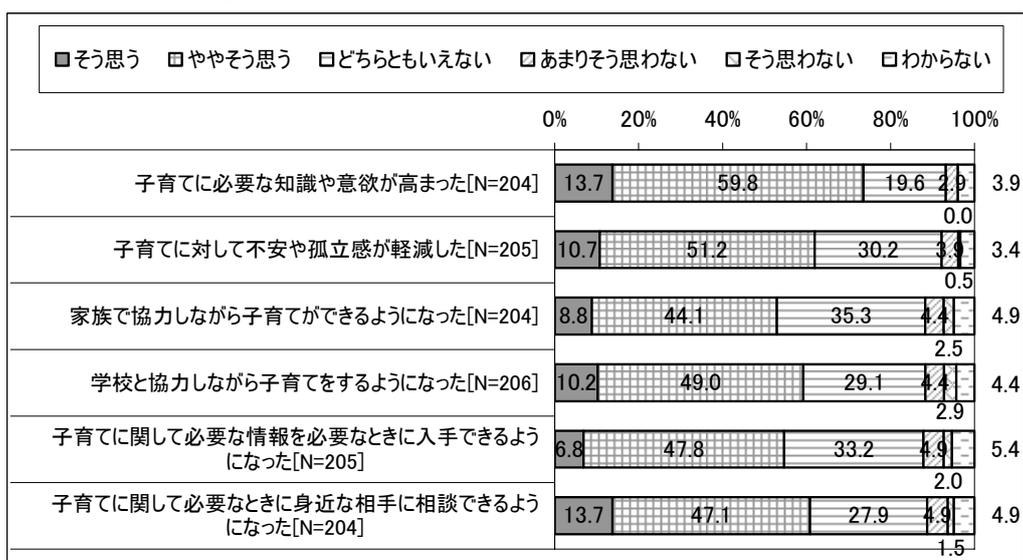
問 11 あなたは、今後 3～5 年程度の期間で、家庭教育学級などの家庭教育支援に関する学習機会の提供(あるいは類似の取組)をどのように展開していきたいと思えますか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



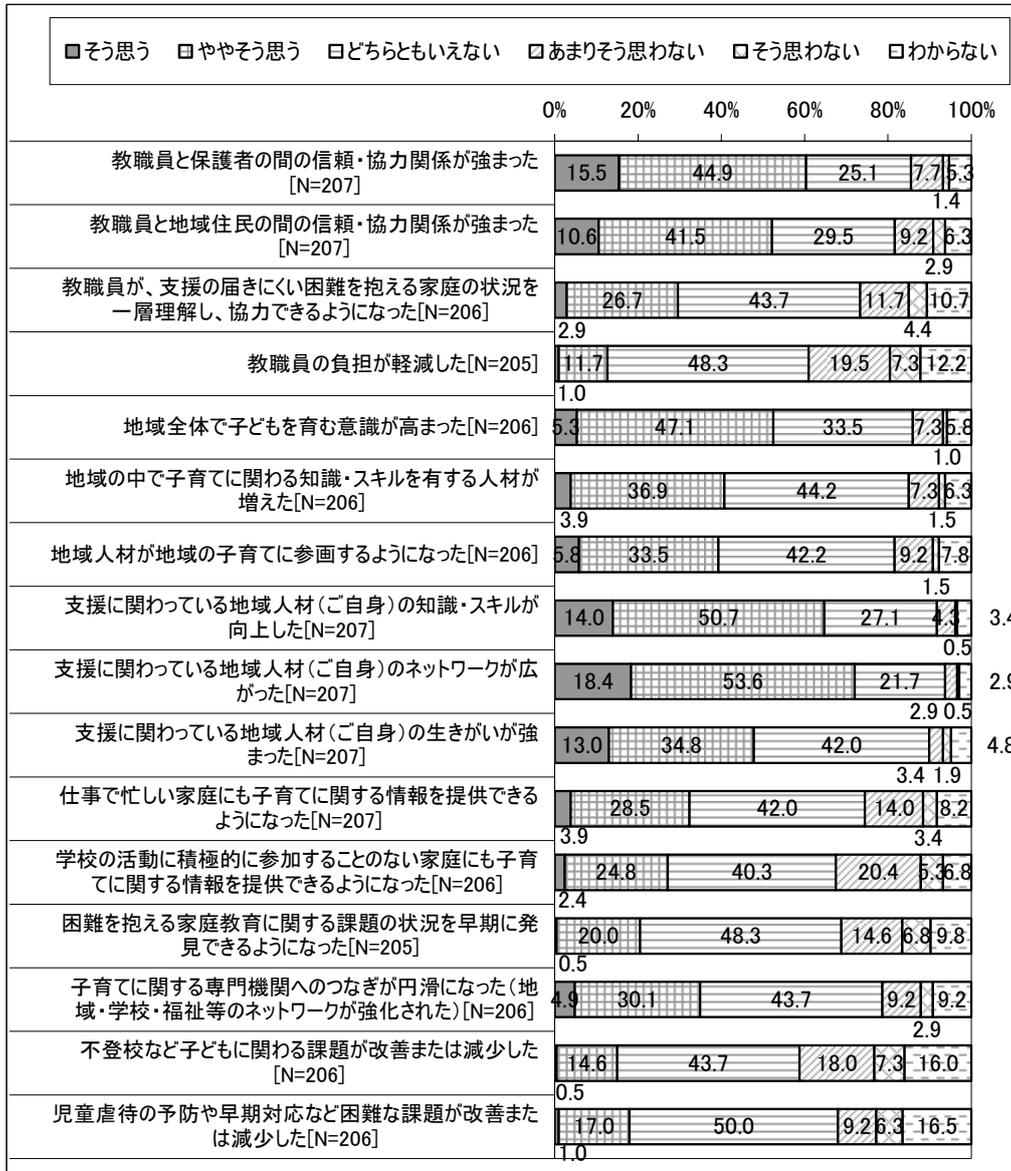
問 12 あなたの地域(中学校区程度)の保護者は全体的に、以下のような項目についてどの程度当てはまると
 思いますか。a~fそれぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



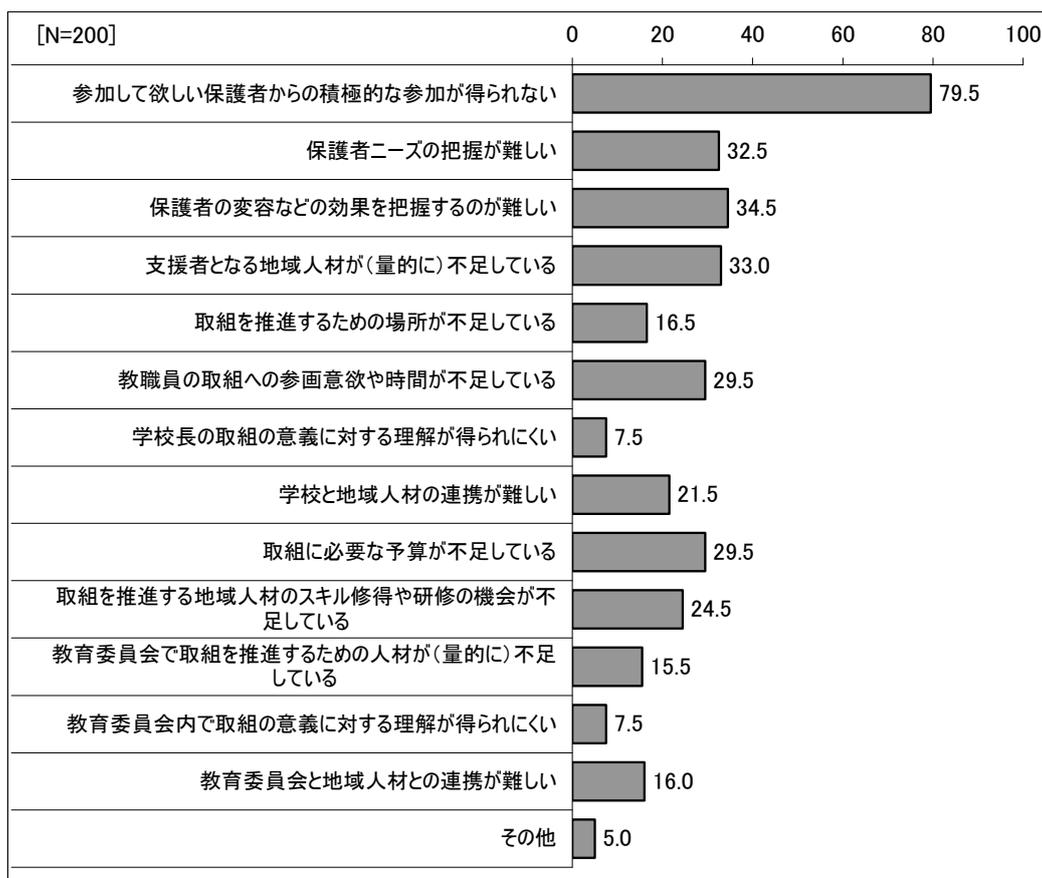
問 13 家庭教育学級などの「家庭教育に関する学習機会の提供」を通じて、あなたの地域(中学校区程度)の
 保護者にはどのような効果があったと思いますか。a~fそれぞれについて、もっとも当てはまる番号1つ
 に○をつけてください。



問 14 家庭教育学級などの「家庭教育に関する学習機会の提供」を通じて、あなたの地域(中学校区程度)の学校及び地域全体にはどのような効果があったと思いますか。a~p それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

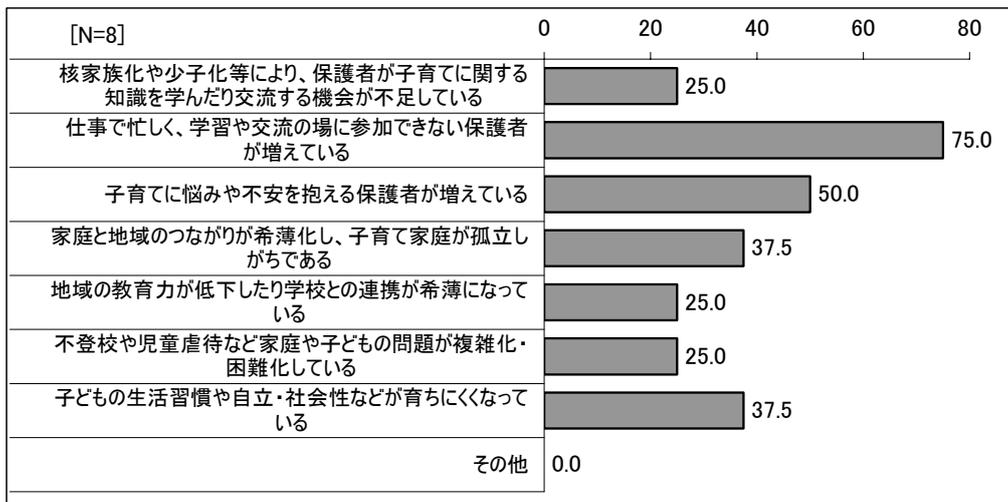


問 15 家庭教育学級などの家庭教育支援に関する学習機会の提供に係り、どのような課題があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

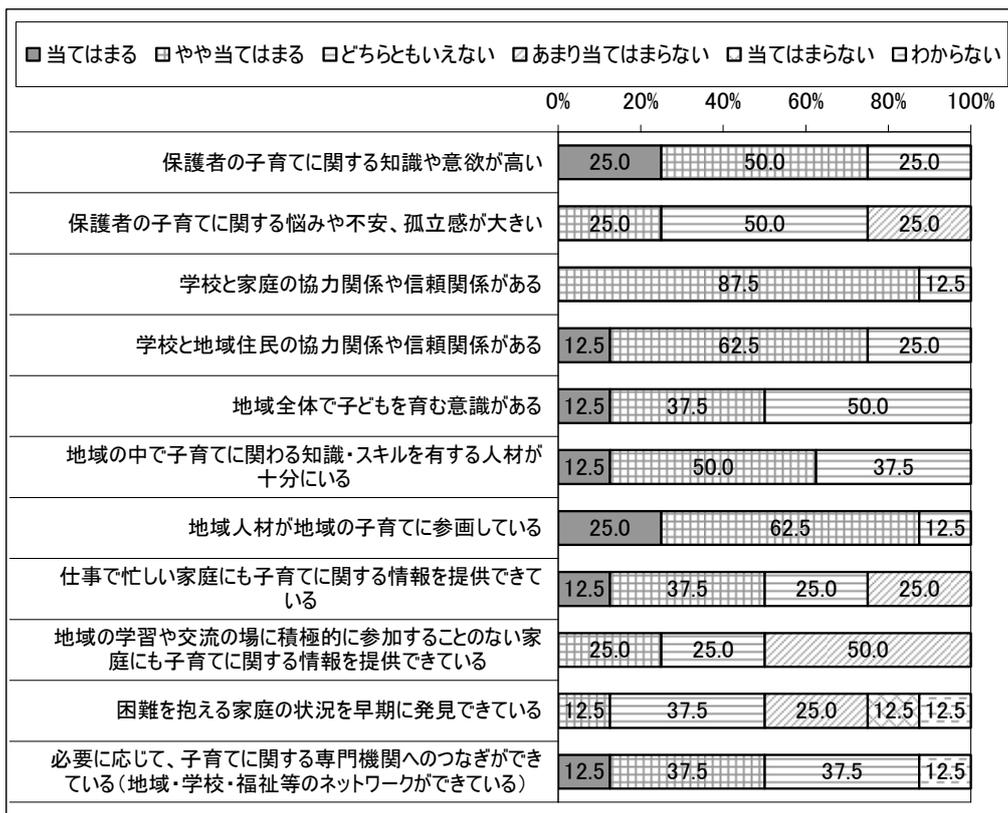


3.1.4 講座型（行政担当者）

問 1 貴自治体では、家庭教育をめぐる現状に関し、どのような課題がありますか。特に当てはまる課題について、最大3つまで○をつけてください。



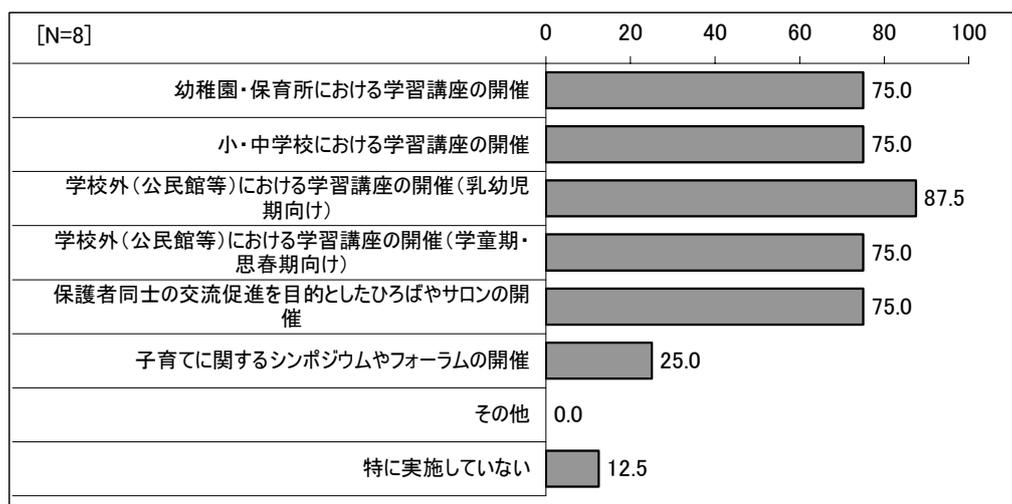
問 2 貴自治体では、以下のような項目がどの程度当てはまるとお考えですか。a~k それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



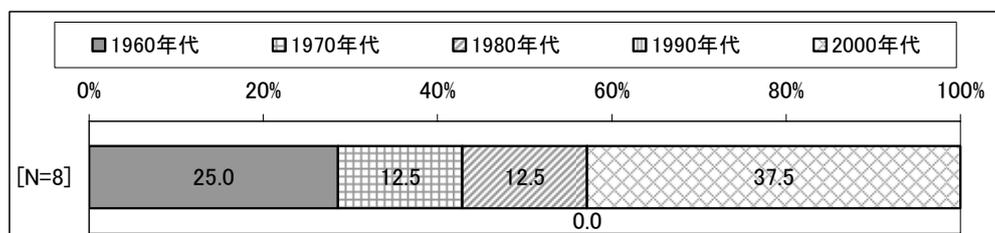
問3 貴自治体について、以下 a~c の統計データがございましたら、直近3年間についてそれぞれお書きください。2011年度につきましては、11月1日現在の状況をお知らせください。(aは厚生労働省調査に基づく、b~cは文部科学省調査に基づく)

		2009年度	2010年度	2011年度
児童相談所における児童虐待相談対応件数	有効回答数	6	6	5
	最小値	23	28	18
	最大値	958	981	494
	平均値	243	276	164
	標準偏差	361.4	367.9	209.1
不登校児童生徒数	有効回答数	7	7	4
	最小値	48	43	42
	最大値	413	411	329
	平均値	169	160	124
	標準偏差	122.4	126.3	137.3
校内暴力発生件数	有効回答数	7	7	3
	最小値	21	17	22
	最大値	154	227	45
	平均値	67	88	32
	標準偏差	51.0	78.7	11.8

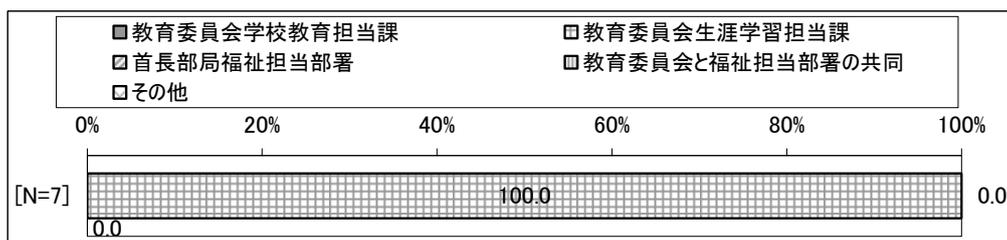
問4 貴自治体では、家庭教育学級などの「家庭教育に関する学習機会の提供」に係り、以下のような取組を実施していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



問5 貴自治体では、家庭教育学級などの「家庭教育に関する学習機会の提供」をいつから実施していますか。開始した年度をお書きください。年度がわからない場合は、大体いつ頃かでお答えください。



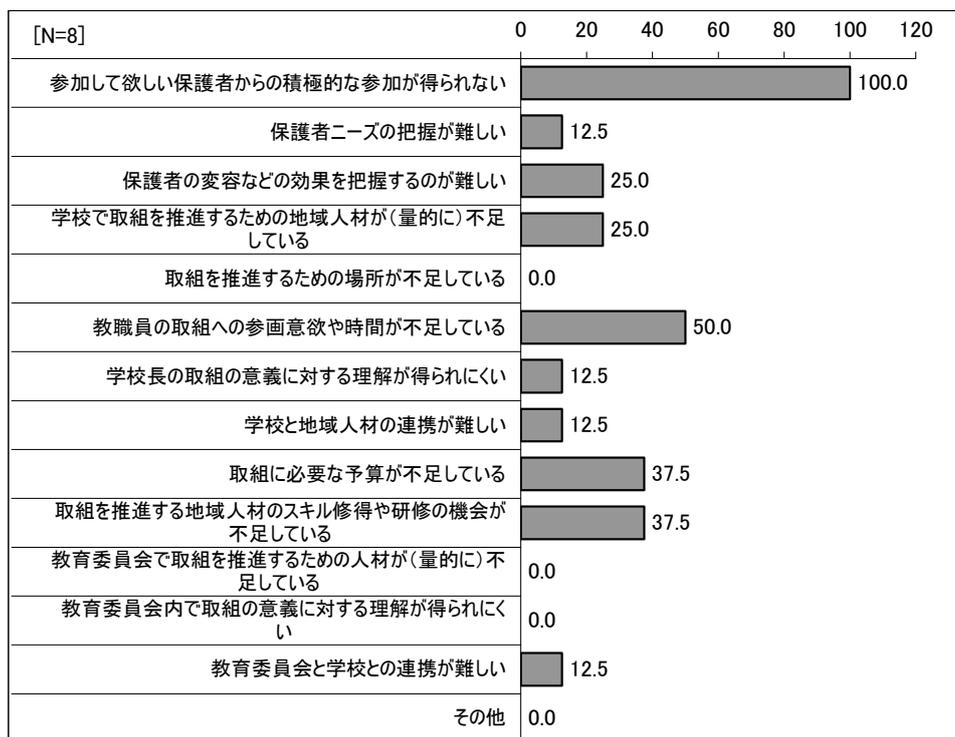
問6 貴自治体で、家庭教育学級などの「家庭教育に関する学習機会の提供」を所管している部署はどこですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



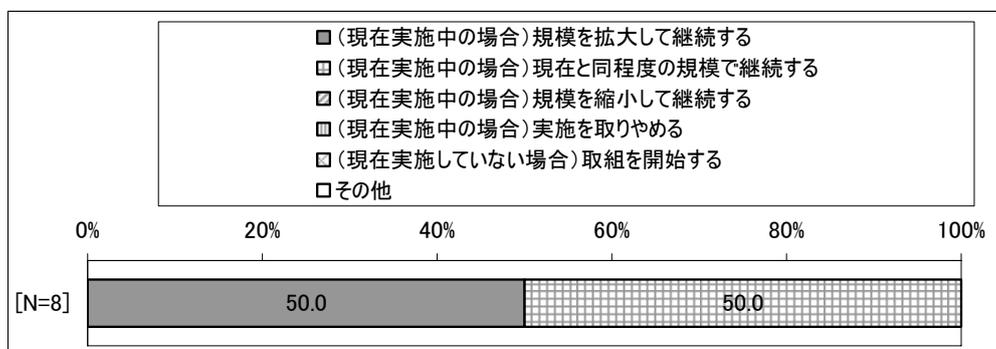
問7 貴自治体では、家庭教育学級などの「家庭教育に関する学習機会の提供」を通じて、全般的にどのような効果があったと思いますか。a~m それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



問 8 家庭教育学級などの「家庭教育に関する学習機会の提供」の実施に係り、どのような課題があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

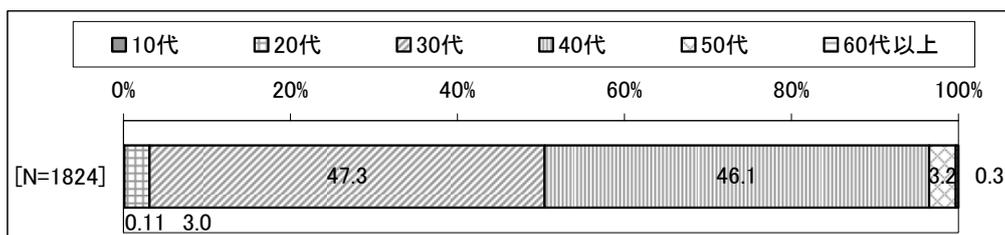


問 9 貴自治体では、今後 3～5 年程度の期間で、家庭教育学級などの「家庭教育に関する学習機会の提供」(あるいは類似の取組)をどのように展開していく予定ですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

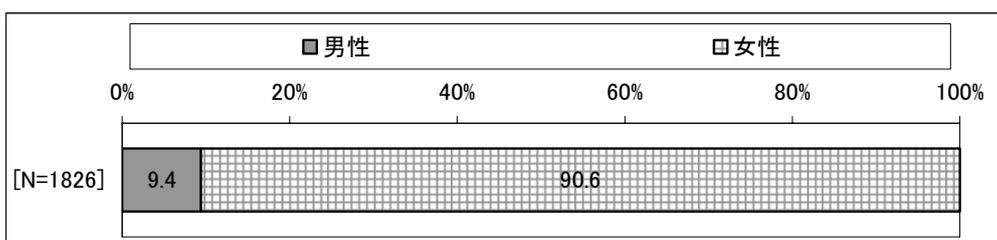


3.1.5 チーム型（保護者）

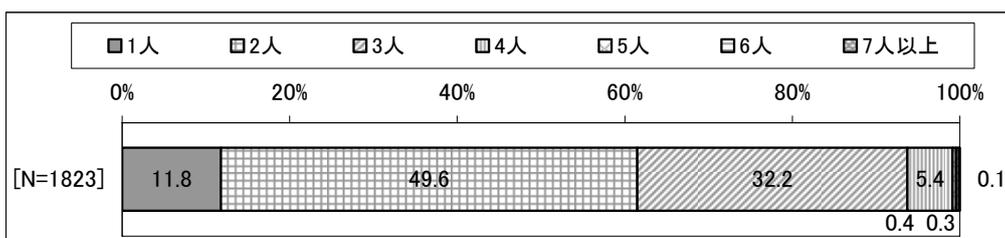
問1 平成23年11月1日現在、あなたの年代をお教えてください。



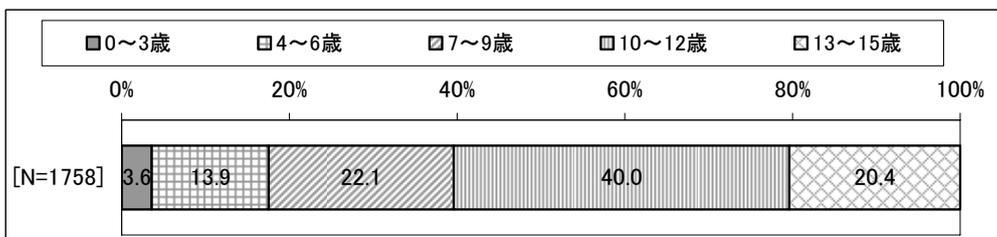
問2 あなたの性別をお教えてください。



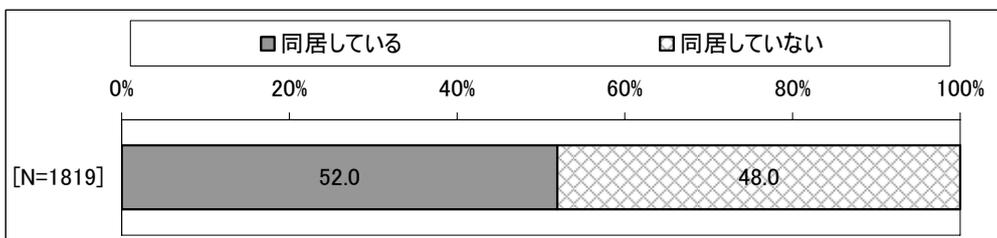
問3 あなたは、お子様を何人お持ちですか。



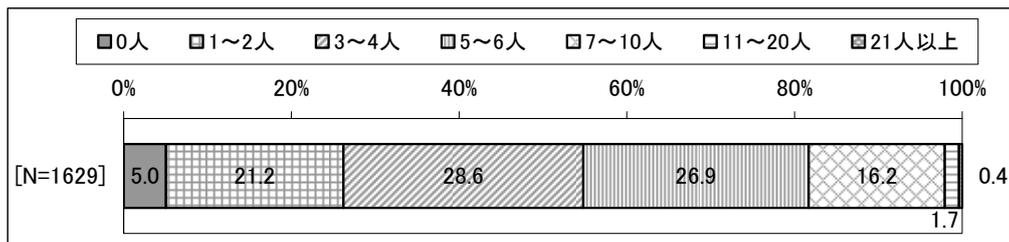
問4 このアンケートをお持ちになったお子様は、平成23年11月1日現在おいくつですか。



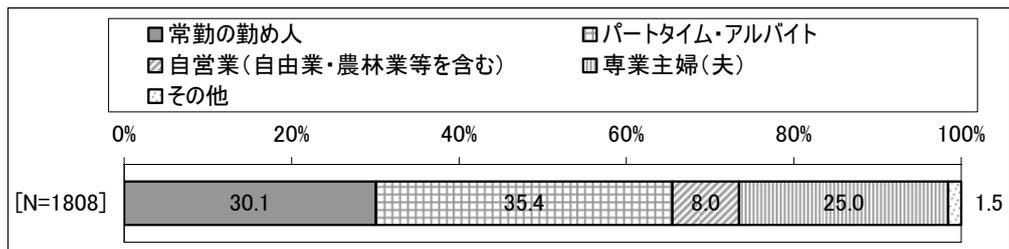
問5 あなたは、ご自身あるいは配偶者（パートナー）の親や親戚（子育てを手伝ってくれる方）と同居していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



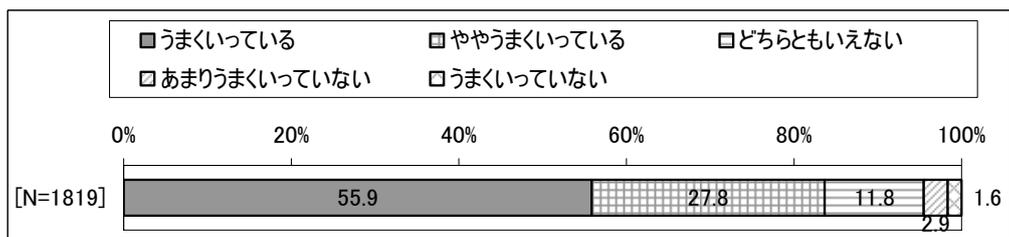
問 6 あなたは、子育てに関して気軽に相談できる友人・知人(親戚を除く)を何人くらいお持ちですか。



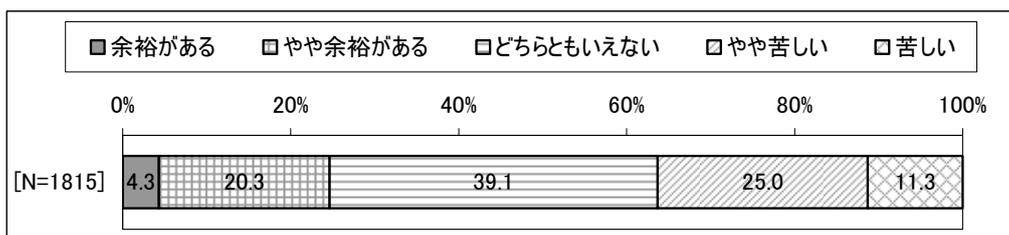
問 7 あなたの現在のご職業は、次のいずれかに該当しますか。差し支えなければ、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



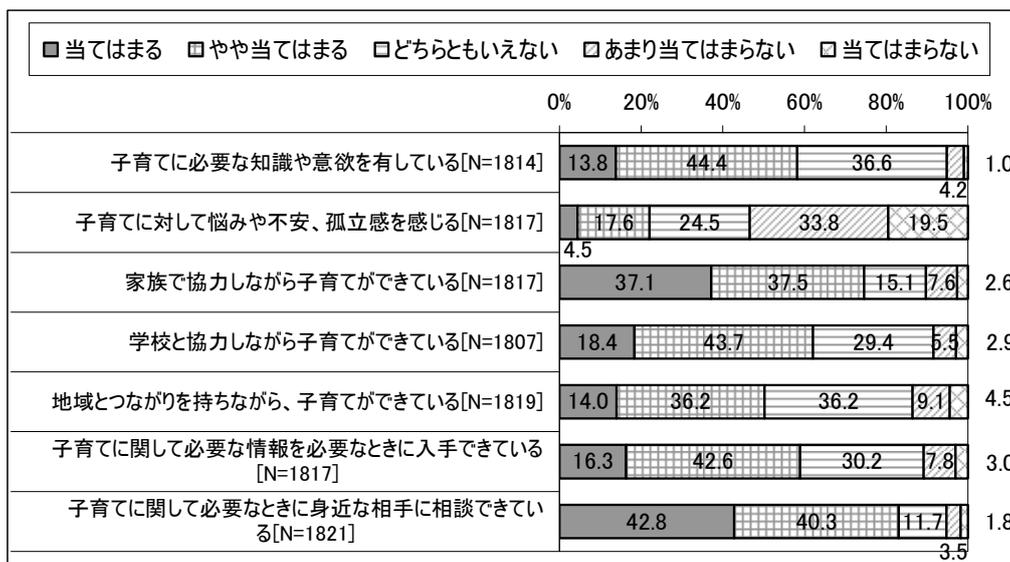
問 8 現在、あなたのご家庭生活の状態はいかがですか。差し支えなければ、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



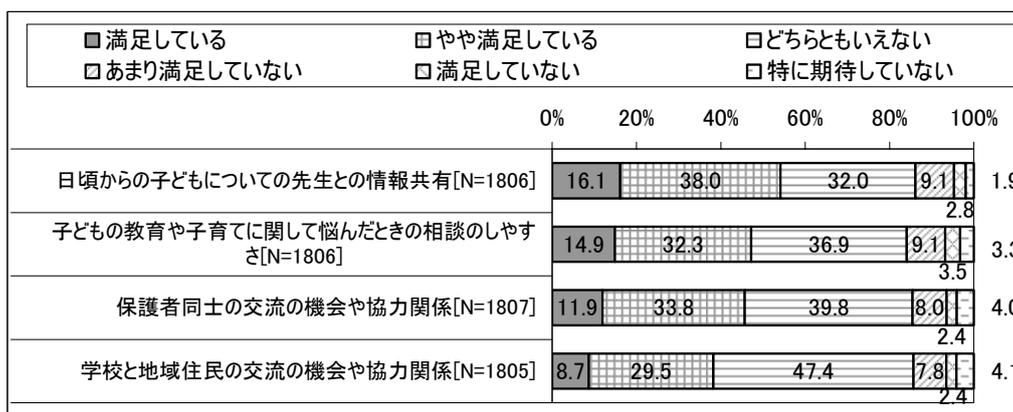
問 9 現在、あなたのご家庭の経済状態はいかがですか。差し支えなければ、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



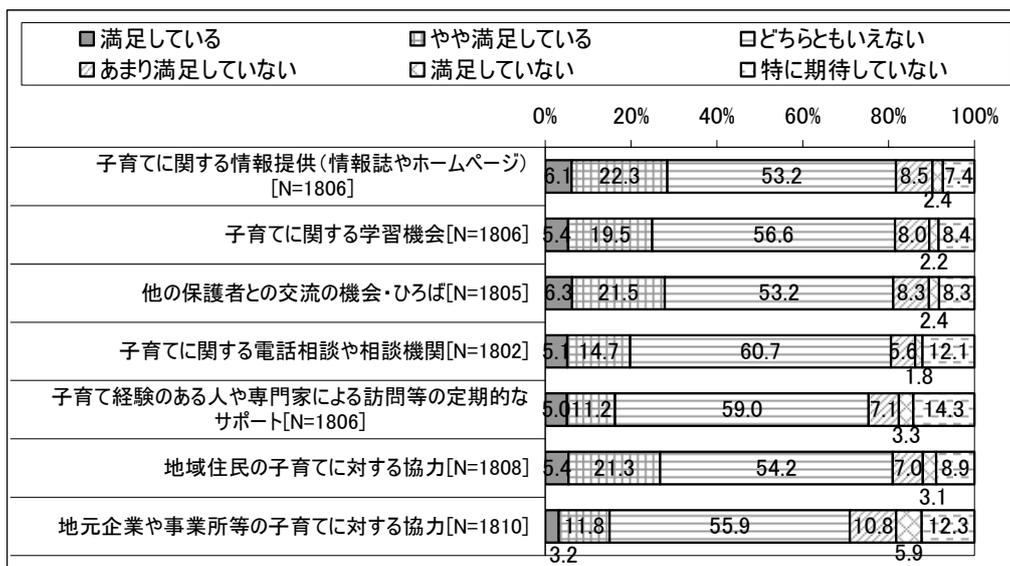
問 10 あなたは、以下のような項目についてどの程度当てはまると思いますか。a～g それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



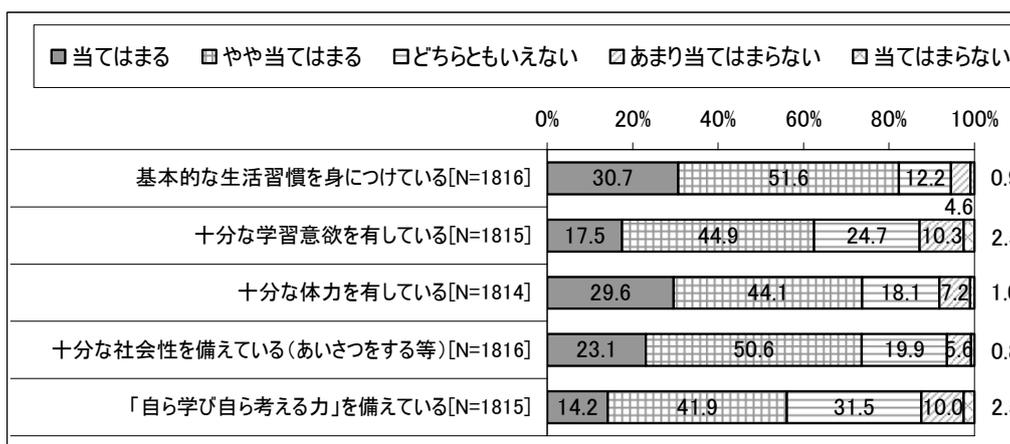
問 11 あなたは、(このアンケートを持参した)お子様が通う学校での以下のような項目に関して、どの程度満足していますか。a～d それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



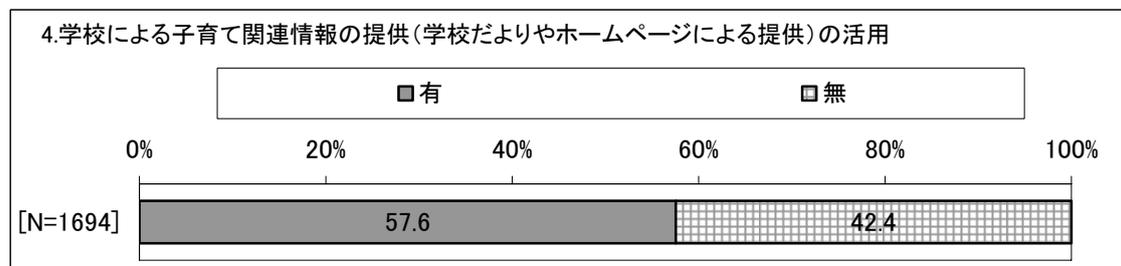
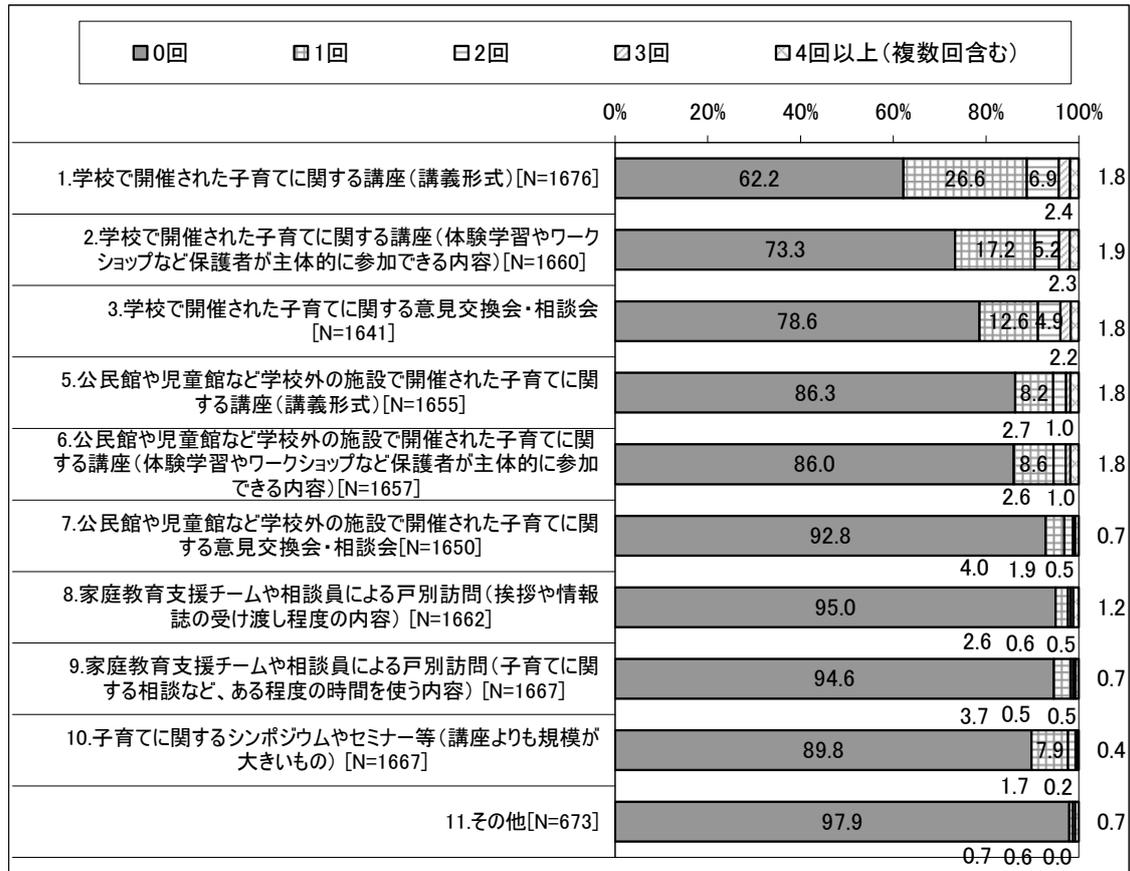
問 12 あなたは、子育てに関する地域のサポートに関して、どの程度満足していますか。a～g それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



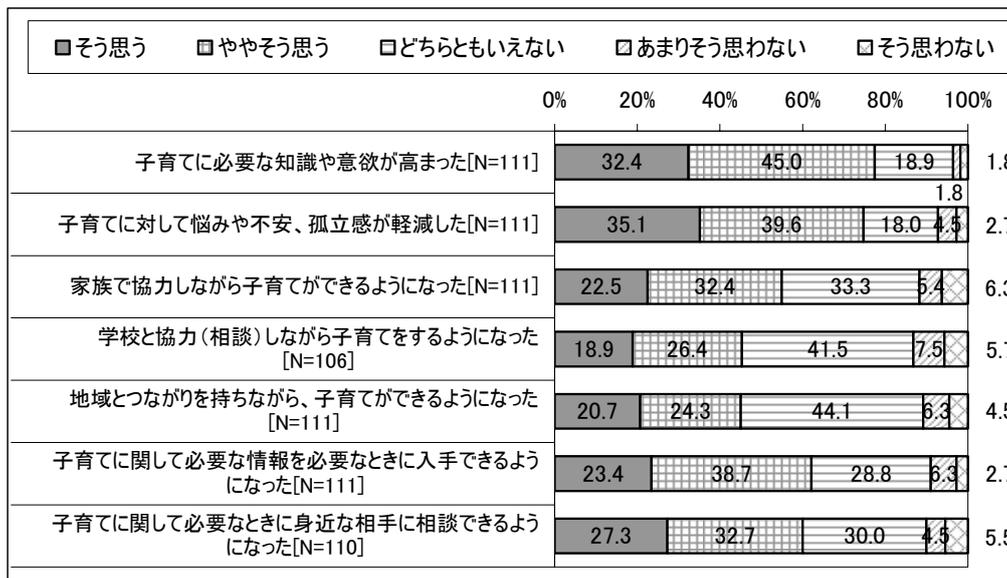
問 13 あなたのお子様は、以下のような項目がどの程度当てはまると思いますか。a～e それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



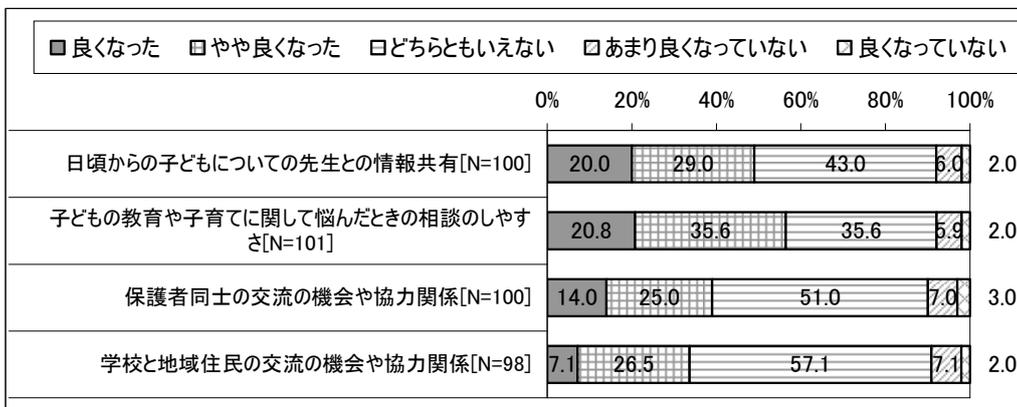
問 14 あなたは、子育て支援に関する以下のような取組に参加したことがありますか。大体で構いませんので、過去 1 年間に参加／活用した回数(一度もない場合は「0」)をお書きください。(「4」については、活用の有無について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください)。



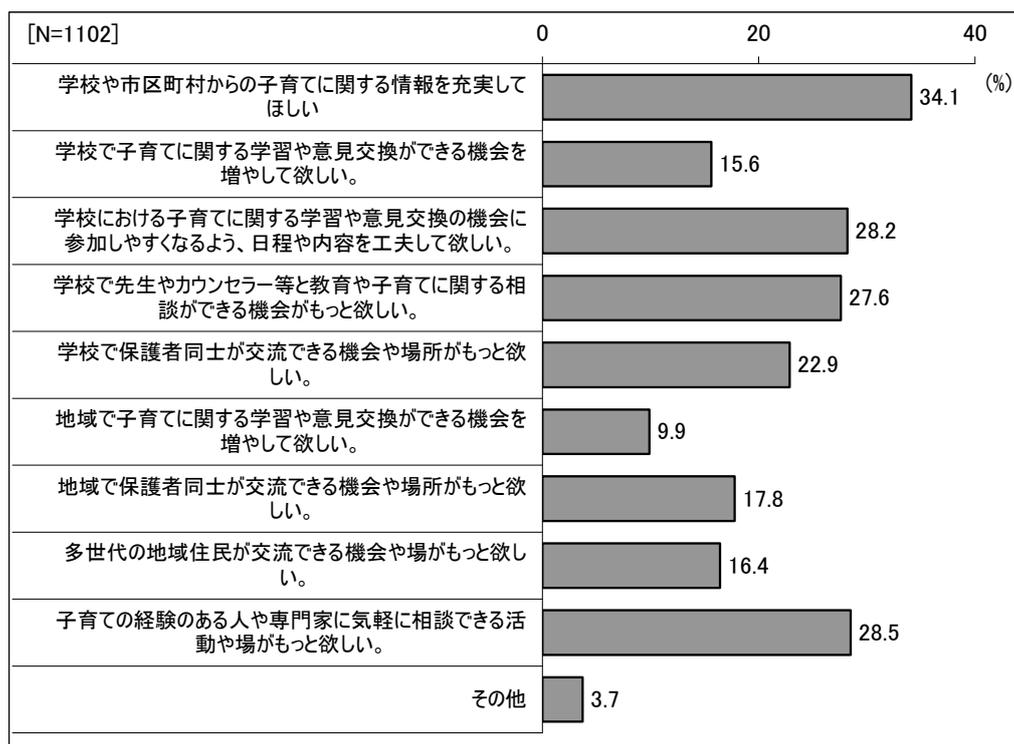
問 15 問 14 の「8」～「9」いずれかの参加／活用回数が 1 回以上ある方のみにお聞きます。それらへの参加／活用を通じて、ご自身にとってどのような変化があったと思いますか。a～g それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 16 問 14 で「8」～「9」いずれかの参加／活用回数が 1 回以上ある方のみにお聞きます。それらへの参加／活用を通じて、お子様が通う学校について、以下のような項目にどのような変化がありましたか。a～d それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

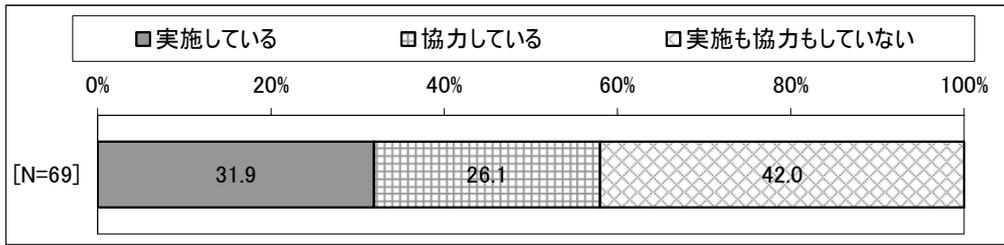


問 17 あなたの学校や地域の子育てサポートの取組について、要望はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

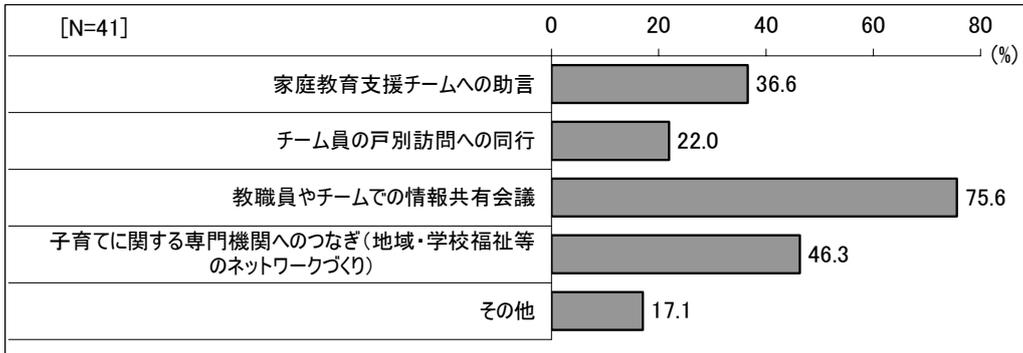


3.1.6 チーム型（教員）

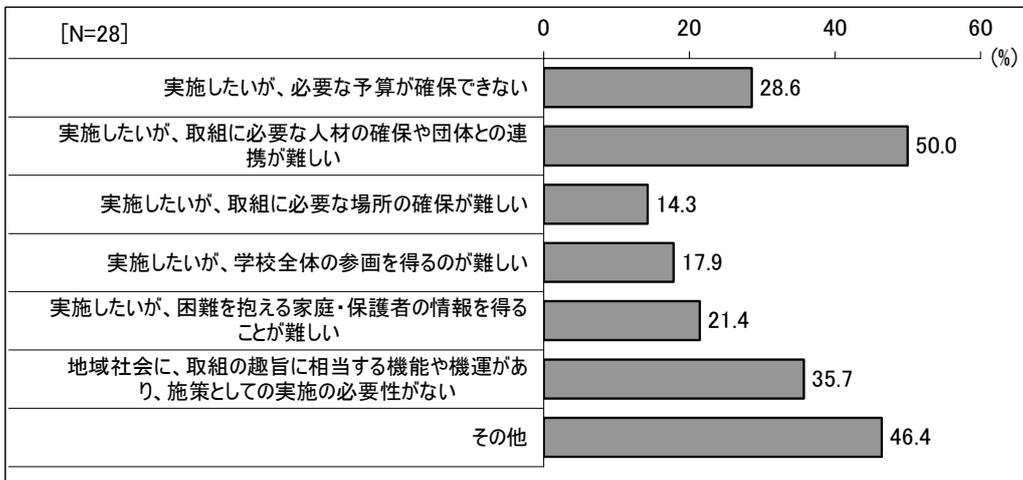
問1 あなたの学校では、「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援を実施または協力していますか。



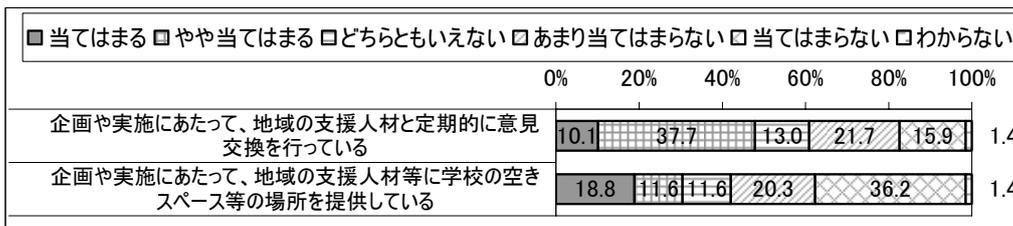
問2 問1で「1. 実施している」または「2. 協力している」と回答した学校の方のみにお聞きします。あなたの学校では、「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援について、どのような取組を行ってきましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



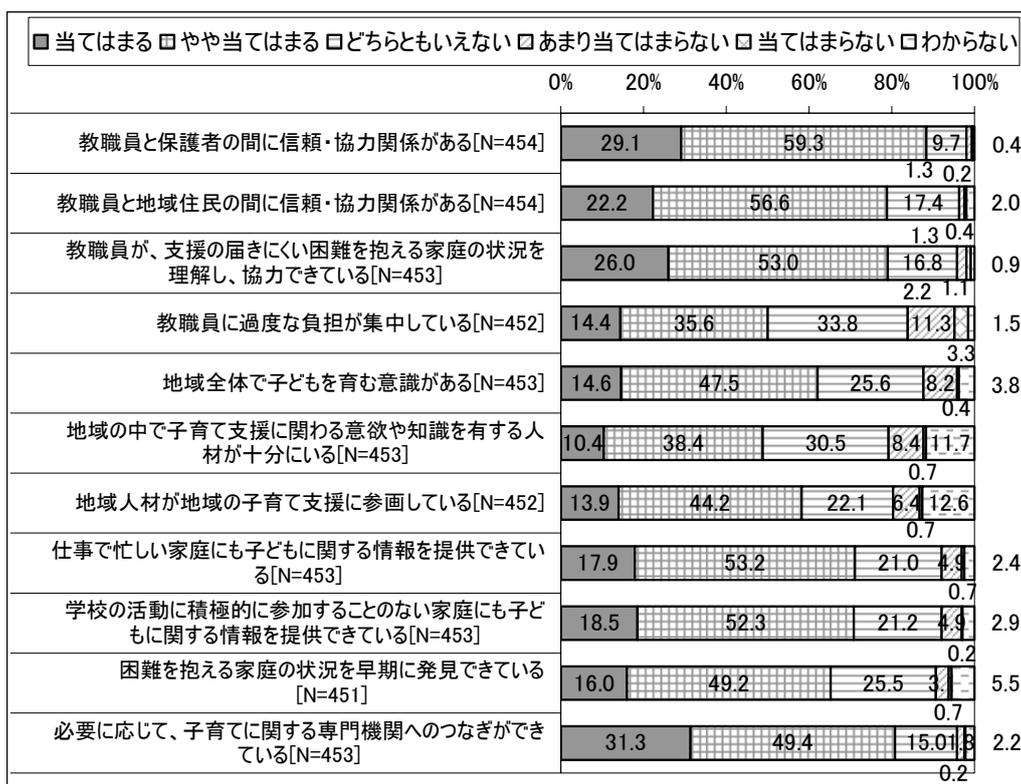
問3 問1で「3. 実施も協力もしていない」と回答した学校の方のみにお聞きします。実施していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



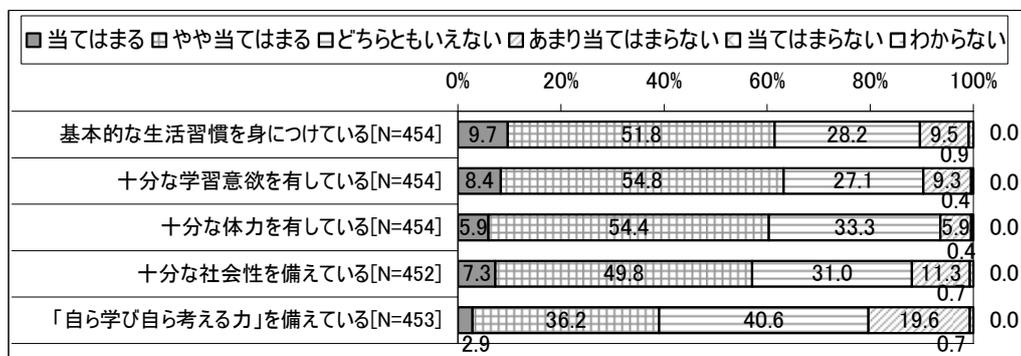
問4 あなたの学校では、家庭教育支援に関する取組を進めるに当たって、以下のような協力や工夫をしていますか。以下のa~bのそれぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



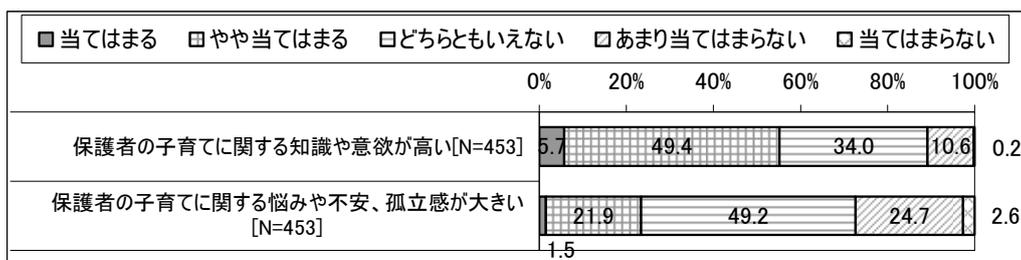
問 5 あなたの学校では、以下のような項目がどの程度当てはまると思いますか。a~k それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



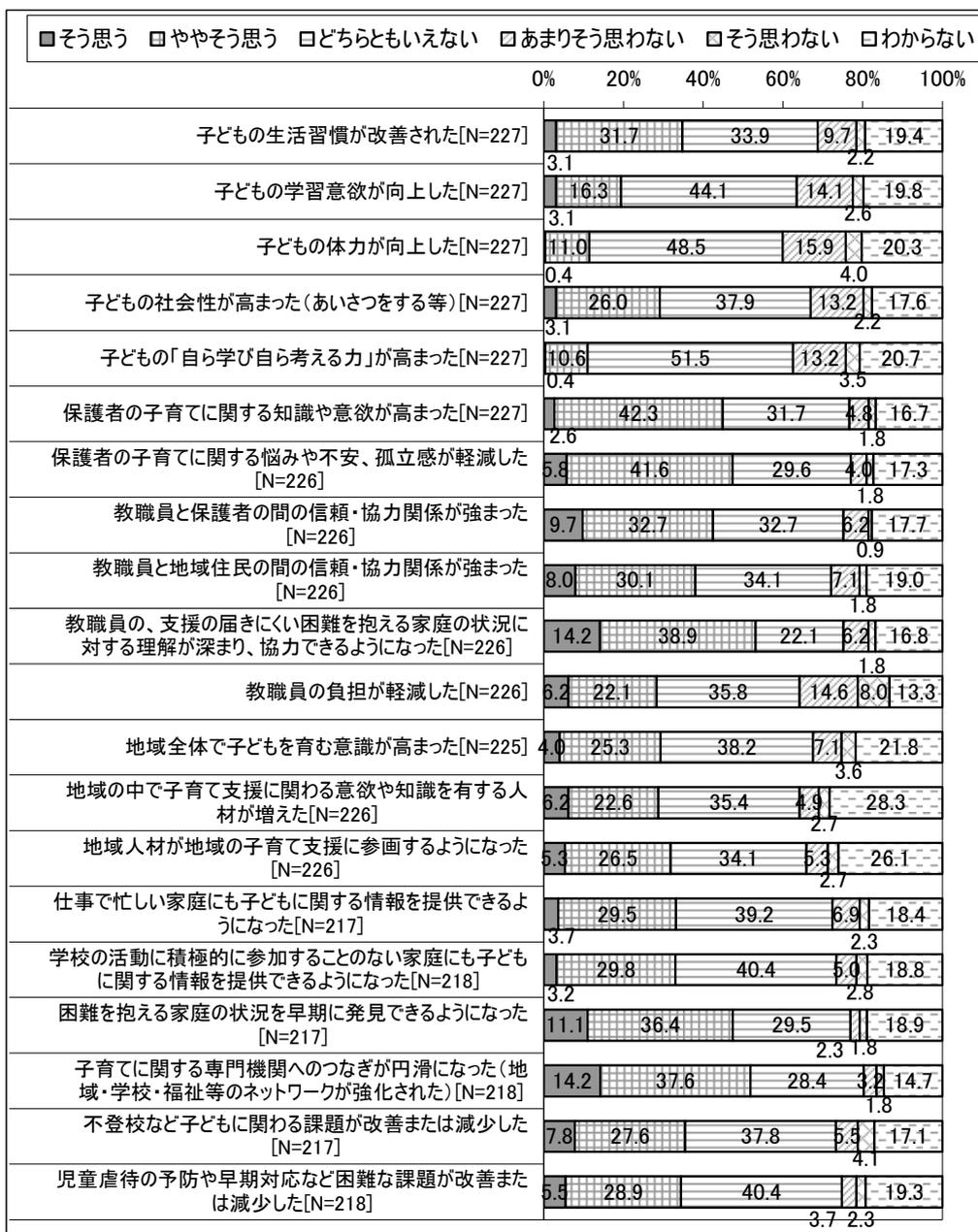
問 6 あなたの学校の児童生徒は、以下のような項目がどの程度当てはまると思いますか。a~e それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 7 あなたの学校では、以下のような項目がどの程度当てはまると思いますか。a~b それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

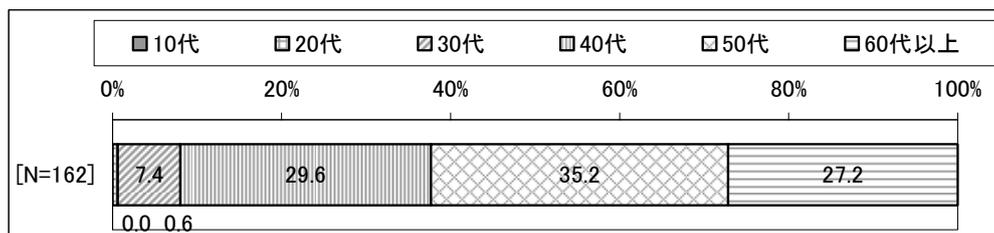


問 8 「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援を通じて、全般的にどのような効果があったと思いますか。a～t それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

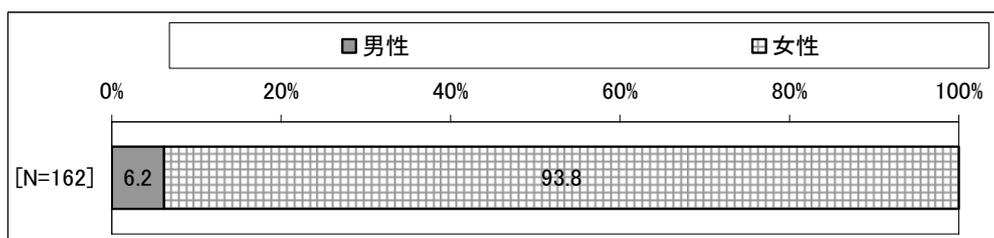


3.1.7 チーム型（地域の支援者・企画者）

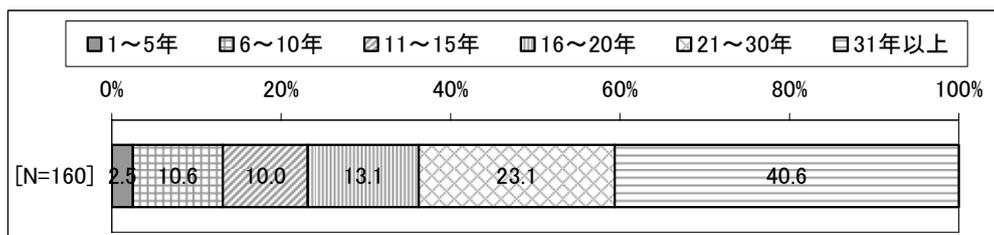
問1 平成23年11月1日現在、あなたの年代をお教えてください。



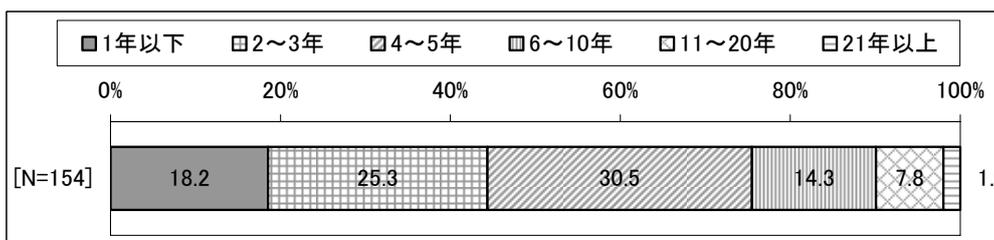
問2 あなたの性別をお教えてください。



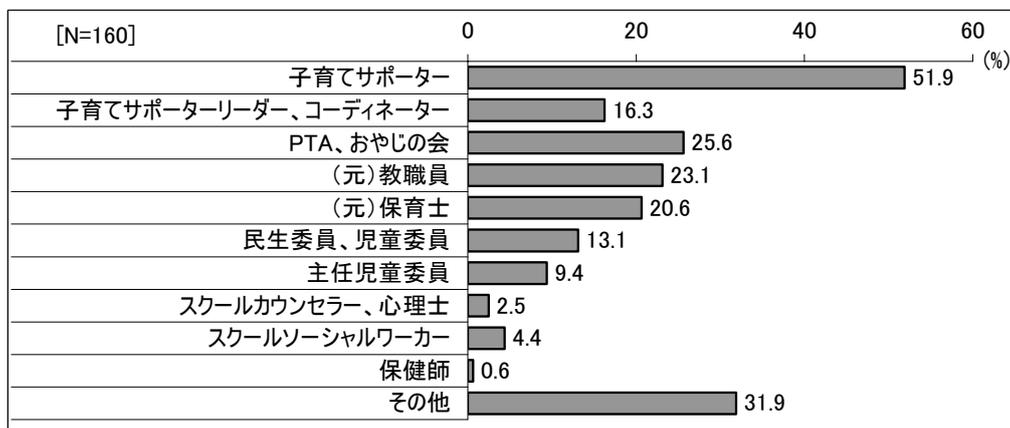
問3 平成23年11月1日現在、あなたは現在の居住地域にどれくらい住んでいますか。



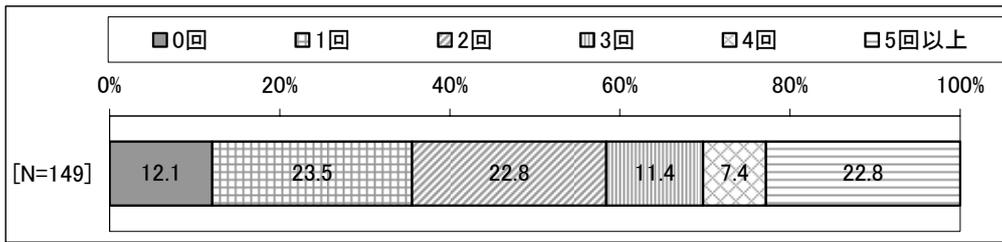
問4 あなたは、家庭教育支援（保護者向け講座の開催や戸別訪問、相談対応等）に関する取組を始めて何年になりますか。



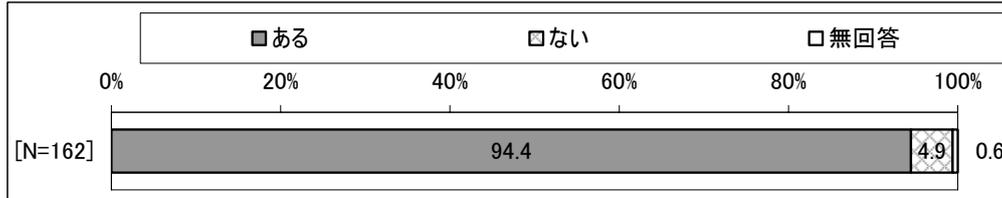
問5 あなたのこれまでの経験や現在の役割についてお聞きます。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



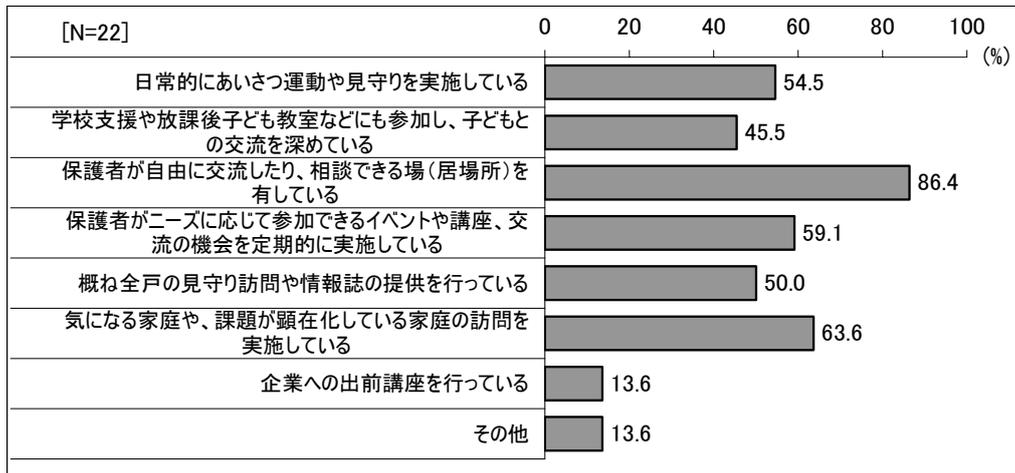
問 6 あなたは、過去 1 年間に行政等が開催した家庭教育支援者向けの研修に何回参加しましたか。



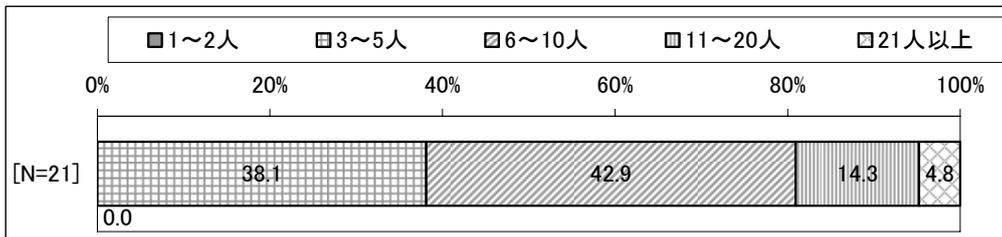
問 7 あなたは、ご自身で子育てをされた経験がございますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



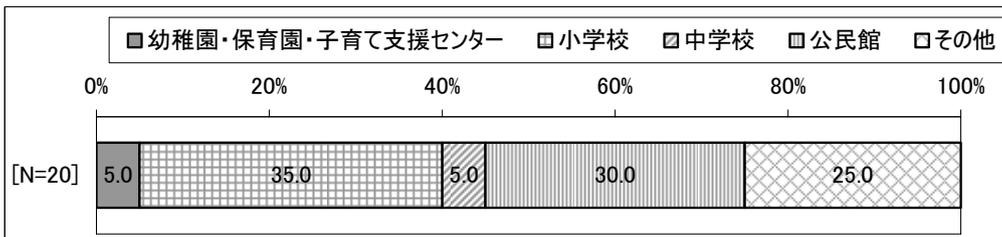
問 8 あなたのチームでは、家庭教育支援に関する相談やチームによる訪問について、どのような取組を行ってききましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



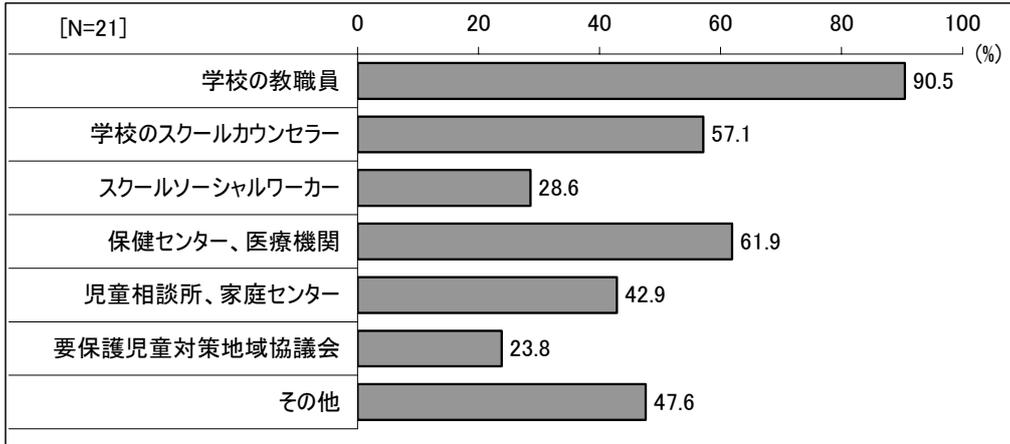
問 9 あなたのチームで、家庭教育支援チームに携わっているメンバーは何人いらっしゃいますか。



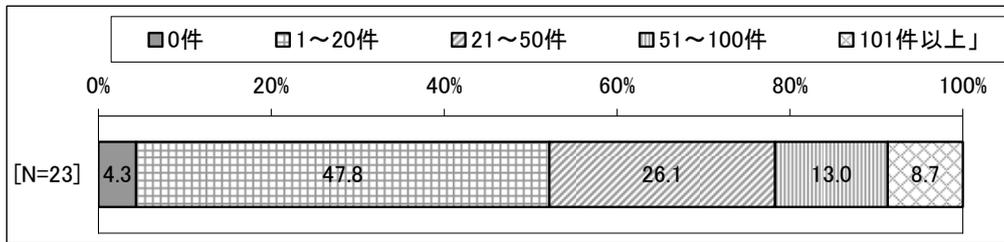
問 10 チームの主な活動拠点はどこですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



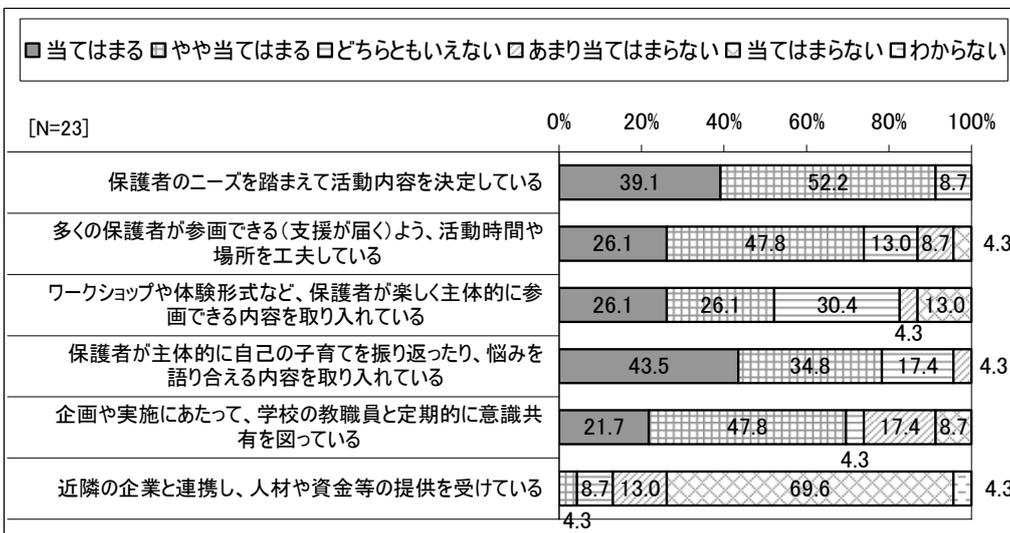
問 11 あなたのチームは、主にどのような人材や機関と連携していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



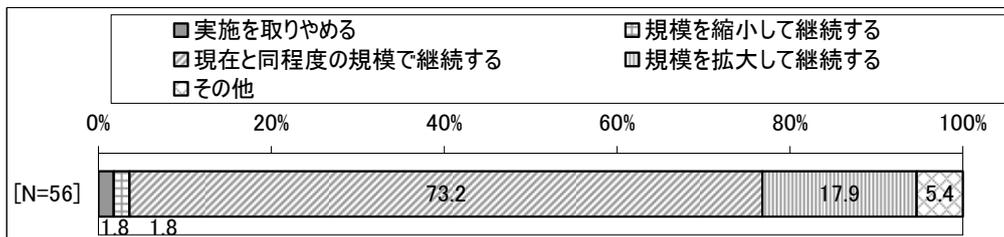
問 12 あなたのチームで、チームによる相談対応件数は、年間どの程度ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 13 あなたのチームでは、家庭教育支援に関する取組を進めるに当たって、以下のような点を工夫していますか。以下の a~f それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



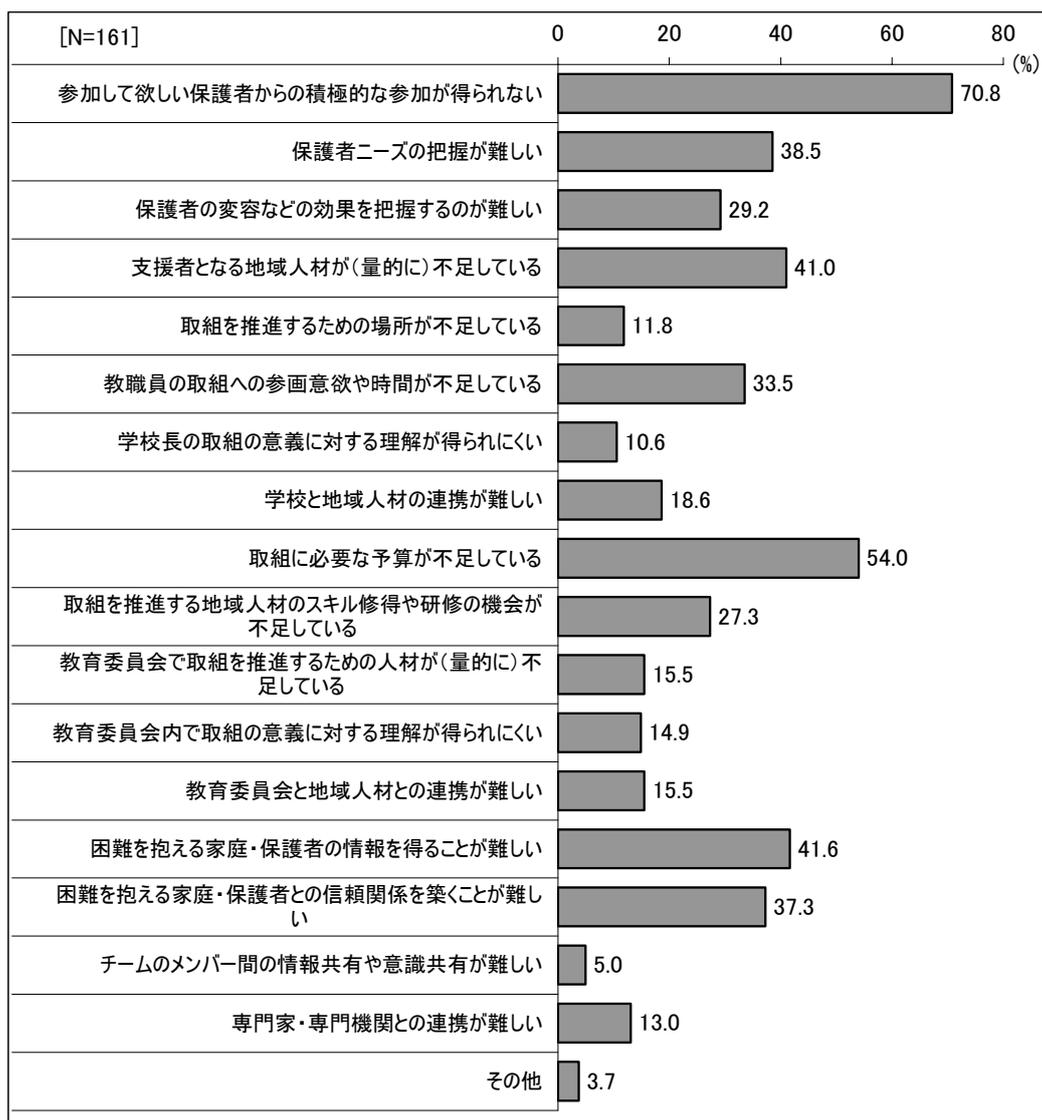
問 14 あなたは、今後 3~5 年程度の期間で、「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援(あるいは類似の取組)をどのように展開していきたいと思いませんか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 15 「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援を通じて、あなたの活動している地域(中学校区程度)では、どのような効果があったと思いますか。a~v それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

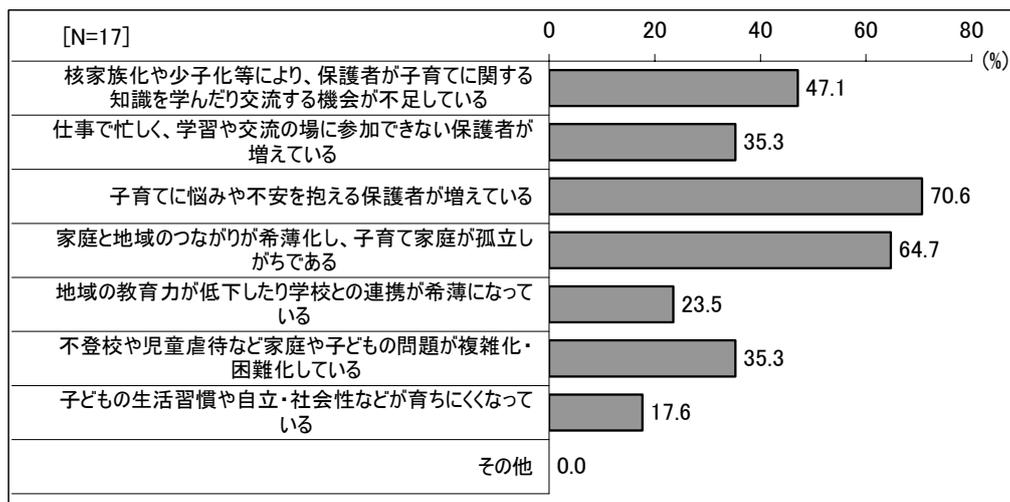
<input type="checkbox"/> そう思う <input type="checkbox"/> ややそう思う <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> あまりそう思わない <input type="checkbox"/> そう思わない <input type="checkbox"/> わからない	
	0% 20% 40% 60% 80% 100%
保護者の子育てに必要な知識や意欲が高まった[N=159]	12.6 50.3 25.8 8.8 2.5 0.0
保護者の子育てに対する不安や孤立感が軽減した[N=160]	16.3 54.4 18.1 7.5 3.1 0.6
保護者が家族で協力しながら子育てができるようになった[N=159]	7.5 32.1 43.4 5.7 10.7 0.6
保護者が学校と協力しながら子育てをするようになった[N=159]	10.7 32.7 39.0 5.0 10.7 1.9
保護者が子育てに関して必要な情報を必要ときに入手できるようになった[N=156]	11.5 45.5 25.6 5.1 11.5 0.6
保護者が子育てに関して必要なときに身近な相手に相談できるようになった[N=159]	24.5 49.7 15.7 7.5 2.5 0.0
教職員と保護者間の信頼・協力関係が強まった[N=159]	11.9 39.0 25.8 6.9 13.8 2.5
教職員と地域住民間の信頼・協力関係が強まった[N=161]	6.2 35.4 40.4 8.1 8.7 1.2
教職員が、支援の届きにくい困難を抱える家庭の状況を一層理解し、協力できるようになった[N=162]	14.8 35.2 30.2 9.3 8.0 2.5
教職員の負担が軽減した[N=161]	4.3 19.9 39.8 14.3 6.2 15.5
地域全体で子どもを育む意識が高まった[N=160]	5.6 42.5 33.1 7.5 9.4 1.9
地域の中で子育てに関わる知識・スキルを有する人材が増えた[N=160]	12.5 46.9 24.4 6.9 7.5 1.9
地域人材が地域の子育てに参画するようになった[N=161]	11.8 42.2 28.0 7.5 8.7 1.9
支援に関わっている地域人材(ご自身)の知識・スキルが向上した[N=160]	36.3 50.6 8.1 2.5 0.6
支援に関わっている地域人材(ご自身)のネットワークが広がった[N=161]	34.8 49.7 11.8 2.5 0.0
支援に関わっている地域人材(ご自身)の生きがいが強まった[N=161]	35.4 38.5 19.3 3.7 1.2
仕事で忙しい家庭にも子育てに関する情報を提供できるようになった[N=159]	13.2 40.9 32.1 6.9 1.9
学校の活動に積極的に参加することのない家庭にも子育てに関する情報を提供できるようになった[N=159]	10.1 35.2 35.8 8.8 8.8 1.3
困難を抱える家庭教育に関する課題の状況を早期に見えるようになった[N=161]	11.8 47.8 26.7 5.0 6.8 1.9
子育てに関する専門機関へのつながりが円滑になった(地域・学校・福祉等のネットワークが強化された)[N=160]	19.4 46.9 19.4 5.6 6.9 1.9
不登校など子どもに関わる課題が改善または減少した[N=161]	6.8 26.7 37.3 11.8 13.7 3.7
児童虐待の予防や早期対応など困難な課題が改善または減少した[N=159]	4.4 31.4 37.1 7.5 16.4 3.1

問 16 「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援の実施に係り、どのような課題があると思いますか。当
てはまる番号すべてに○をつけてください。



3.1.8 チーム型（行政担当者）

問 1 貴自治体では、家庭教育をめぐる現状に関し、どのような課題がありますか。特に当てはまる課題について、最大3つまで○をつけてください。



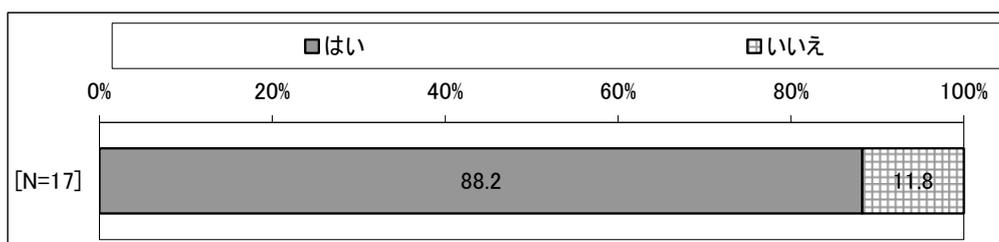
問 2 貴自治体では、以下のような項目がどの程度当てはまるとお考えですか。a~k それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



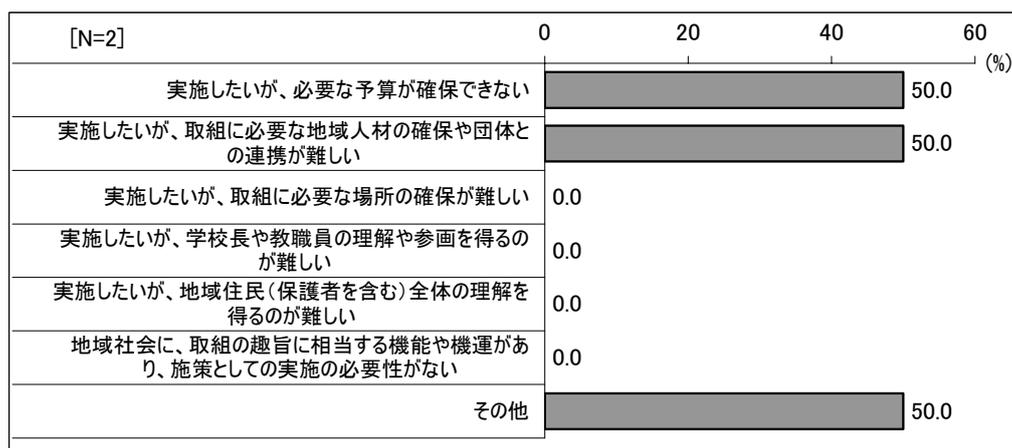
問3 貴自治体について、以下 a～c の統計データがございましたら、直近3年間についてそれぞれお書きください。2011年度につきましては、11月1日現在の状況をお知らせください。(aは厚生労働省調査に基づく、b～cは文部科学省調査に基づく)

		2009年度	2010年度	2011年度
児童相談所における児童虐待 相談対応件数	有効回答数	11	11	10
	最小値	0	0	0
	最大値	334	290	329
	平均値	66	68	67
	標準偏差	105	104	102
不登校児童生徒数	有効回答数	12	12	10
	最小値	0	0	0
	最大値	1,926	1,879	319
	平均値	255	247	81
	標準偏差	535	523	100
校内暴力発生件数	有効回答数	11	11	9
	最小値	0	0	0
	最大値	464	276	145
	平均値	113	91	34
	標準偏差	145	109	47

問4 貴自治体では、「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援を実施していますか。

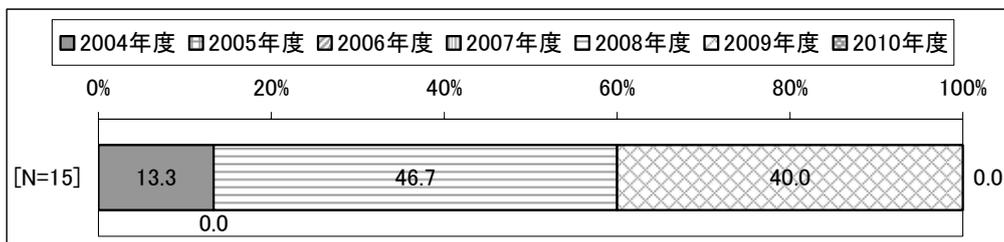


問5 問4で「2. いいえ」と回答した自治体のみにお聞きます。実施していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

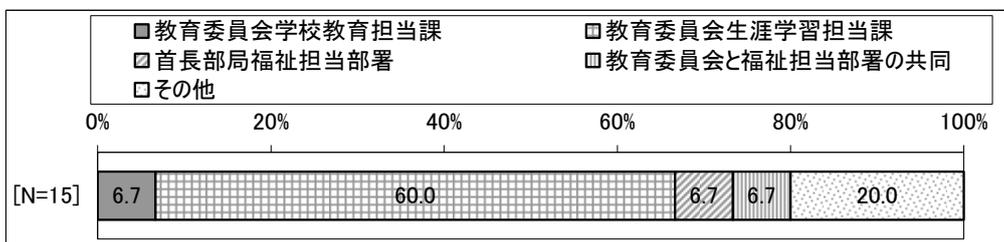


以下の質問は、「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援を実施している自治体の方のみにお聞きします。

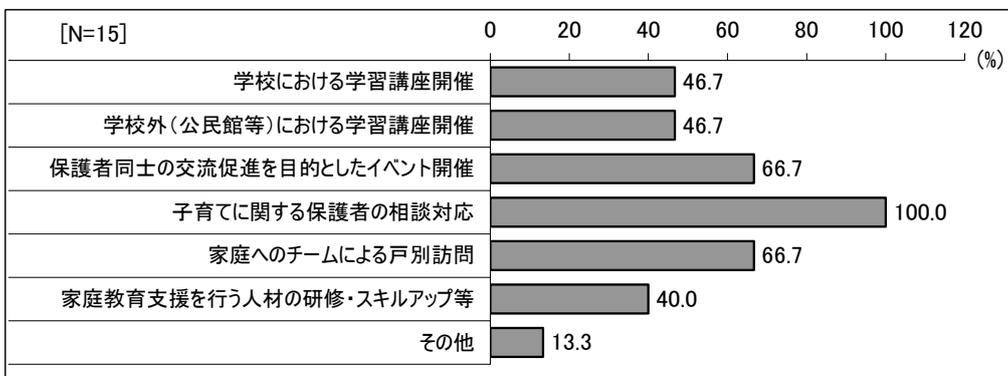
問 6 貴自治体では、「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援をいつから実施していますか。開始した年度をお書きください。



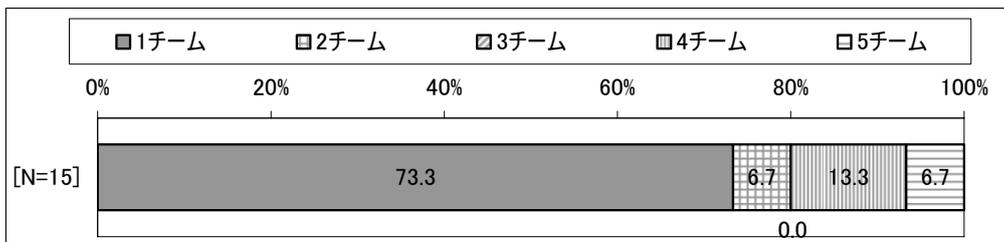
問 7 貴自治体で、「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援を所管している部署はどこですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



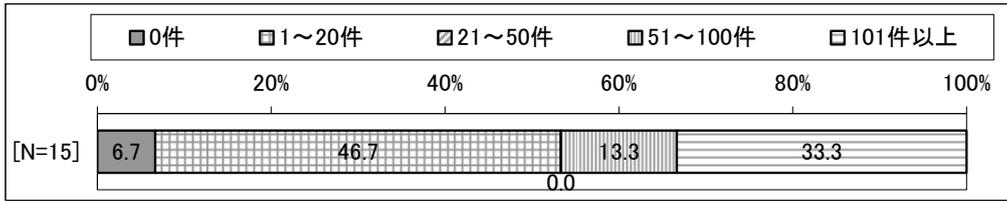
問 8 貴自治体では、「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援に係り、以下のような取組を実施していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



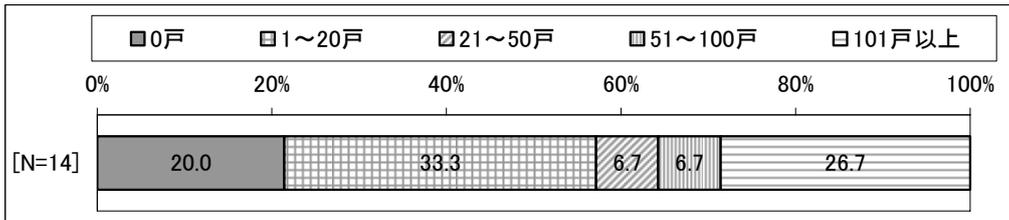
問 9 貴自治体には、家庭教育支援チームが合計いくつありますか。チーム数をお書きください。



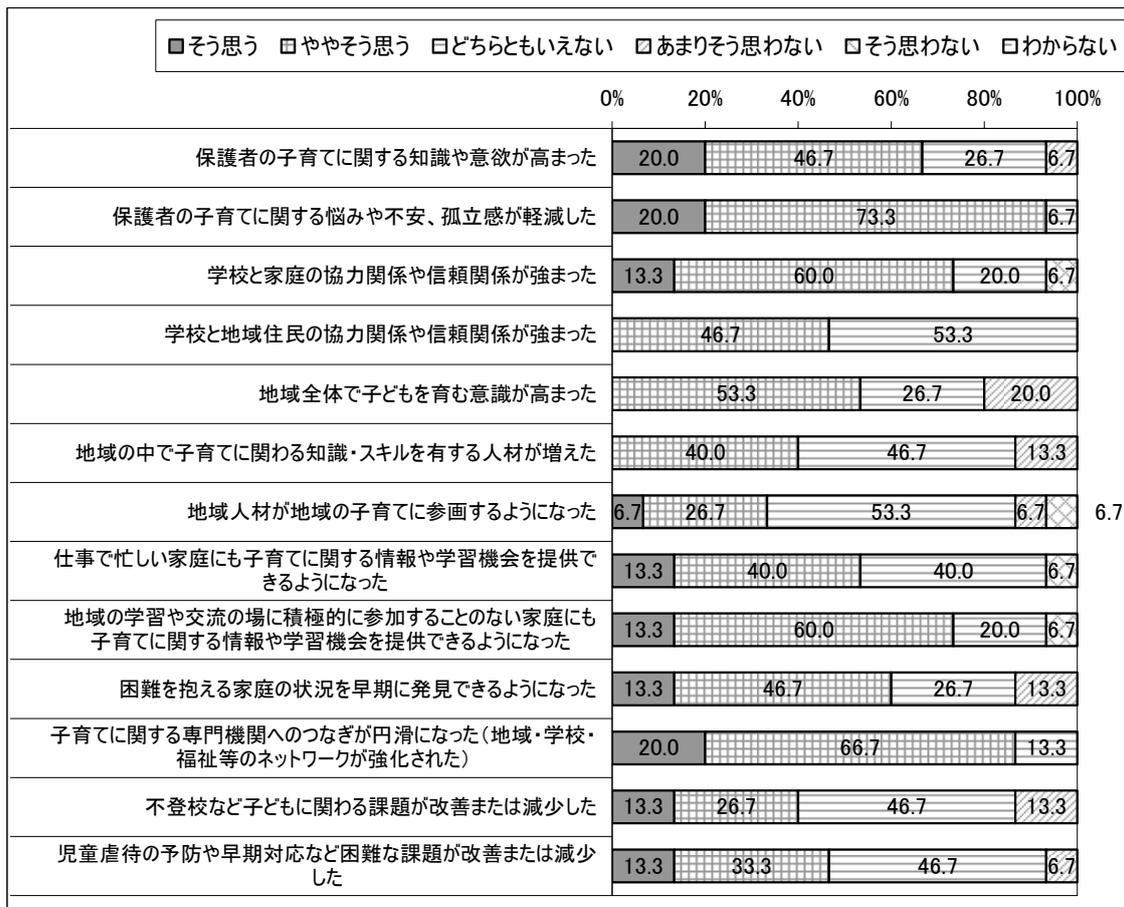
問 10 家庭教育支援チームによる相談対応件数は、貴自治体全体で年間どの程度ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



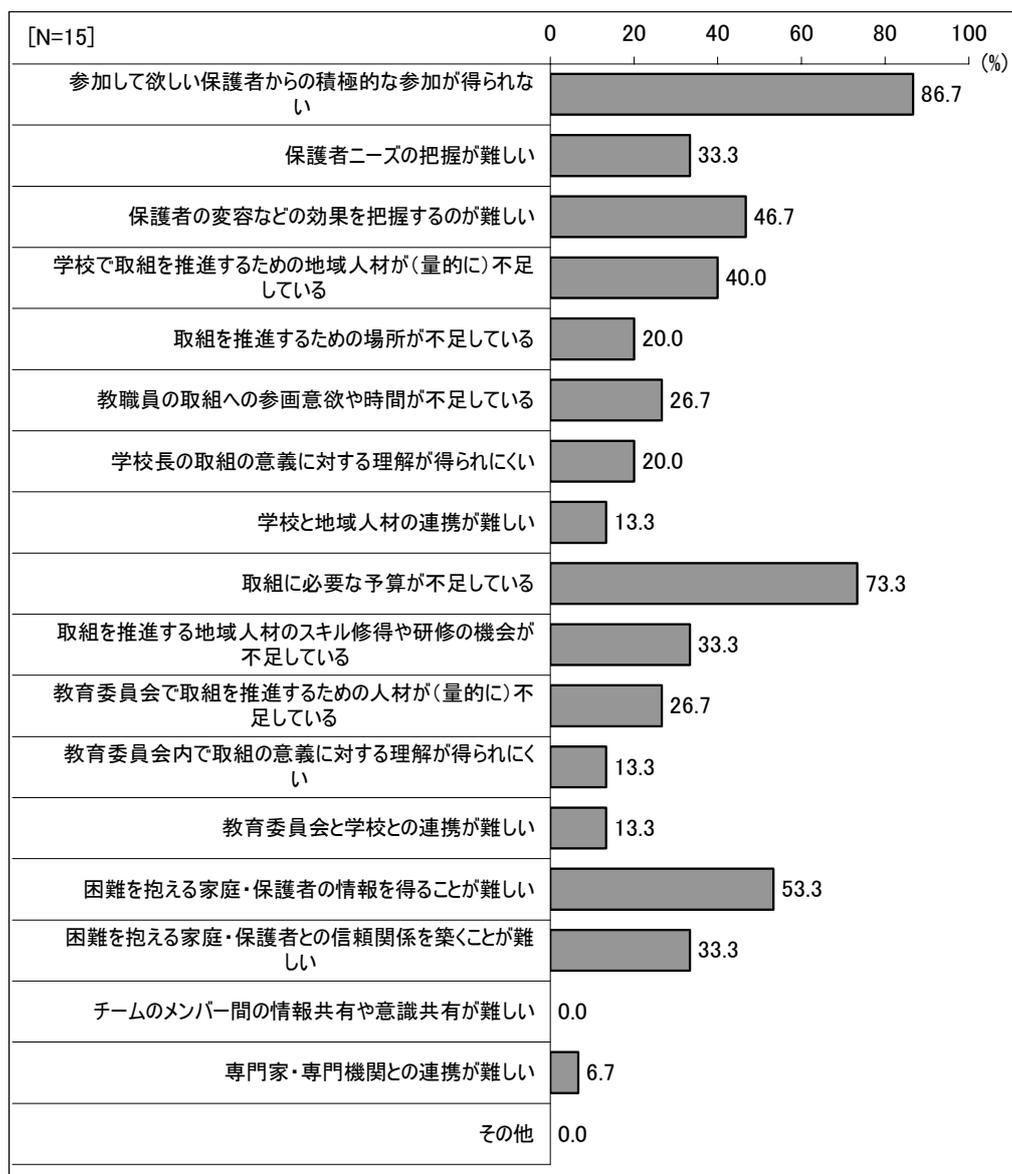
問 11 家庭教育支援チームによる戸別訪問件数は、貴自治体全体で年間どの程度ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



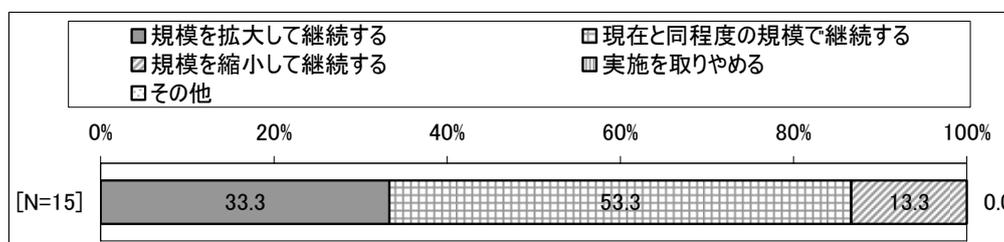
問 12 「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援を通じて、どのような効果があったと思いますか。a~m それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 13 「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援の実施に係り、どのような課題があると思いますか。当
てはまる番号すべてに○をつけてください。

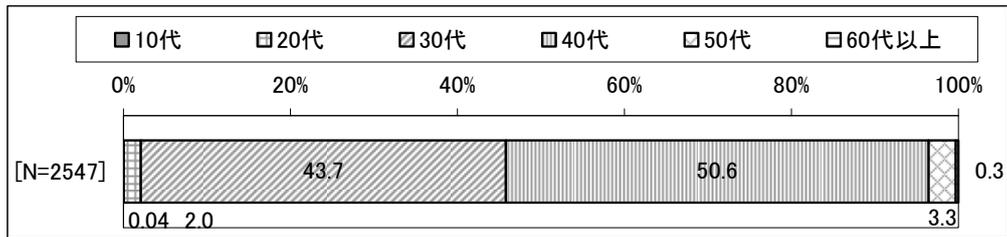


問 14 貴自治体では、今後3~5年程度の期間で、「家庭教育支援チーム」などのアウトリーチ型支援(あるいは類似の取組)をどのように展開していく予定ですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

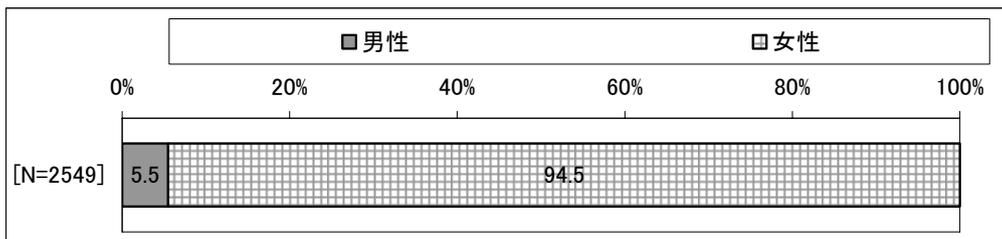


3.1.9 早寝早起き朝ごはん（保護者）

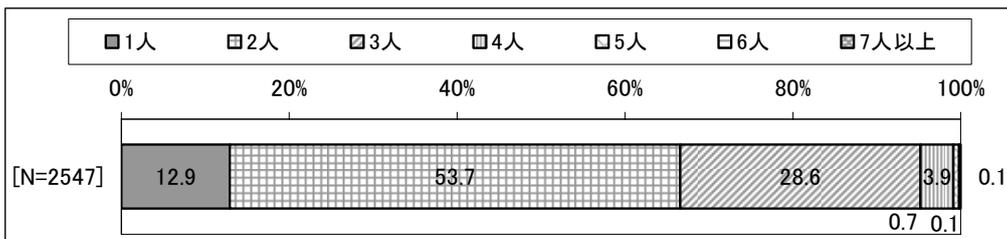
問1 平成23年11月1日現在、あなたの年代をお教えてください。



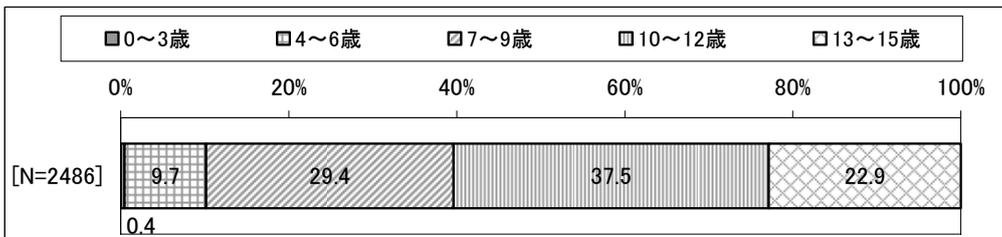
問2 あなたの性別をお教えてください。



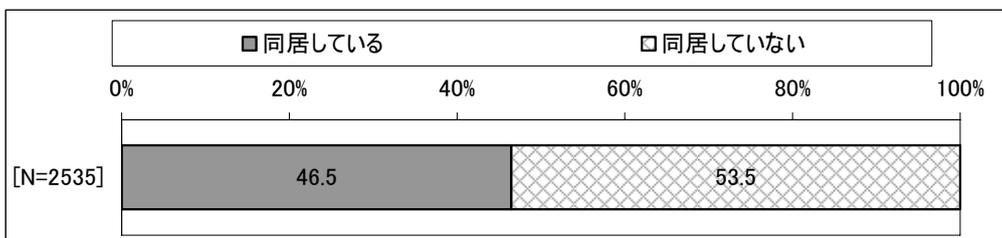
問3 あなたは、お子様を何人お持ちですか。



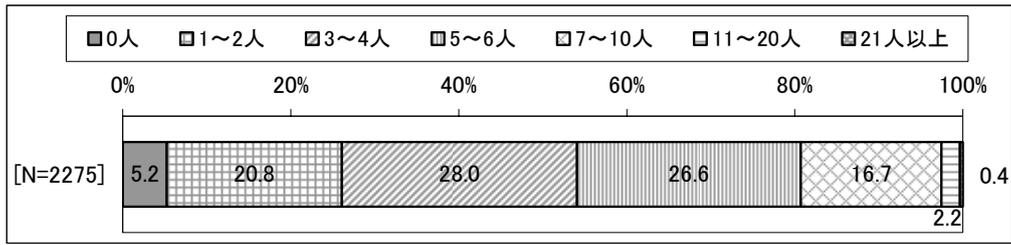
問4 このアンケートをお持ちになったお子様は、平成23年11月1日現在おいくつですか。



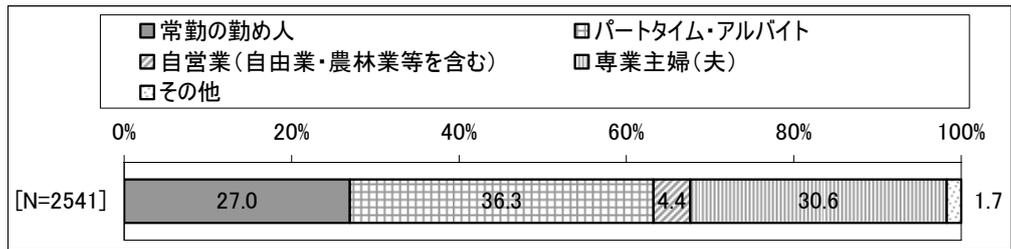
問5 あなたは、ご自身あるいは配偶者（パートナー）の親や親戚（子育てを手伝ってくれる方）と同居していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



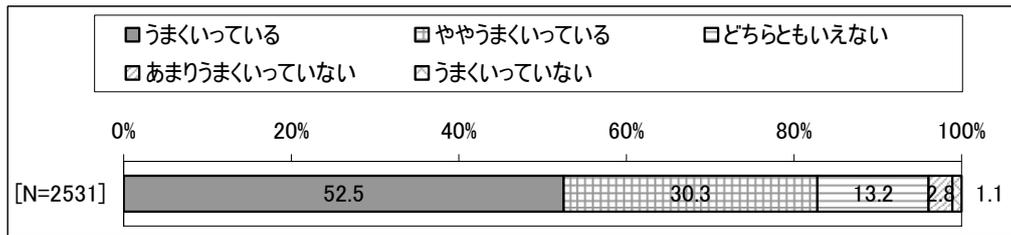
問 6 あなたは、子育てに関して気軽に相談できる友人・知人(親戚を除く)を何人くらいお持ちですか。



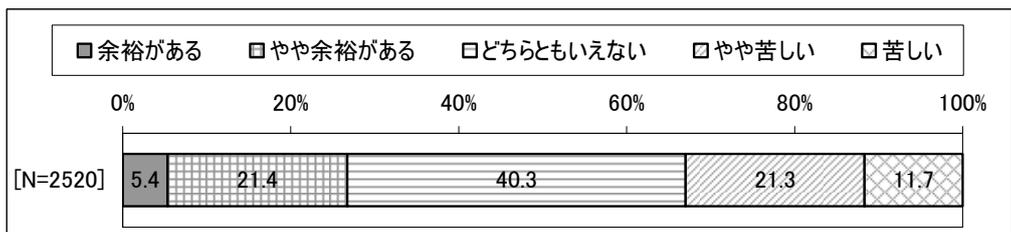
問 7 あなたの現在のご職業は、次のいずれかに該当しますか。差し支えなければ、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



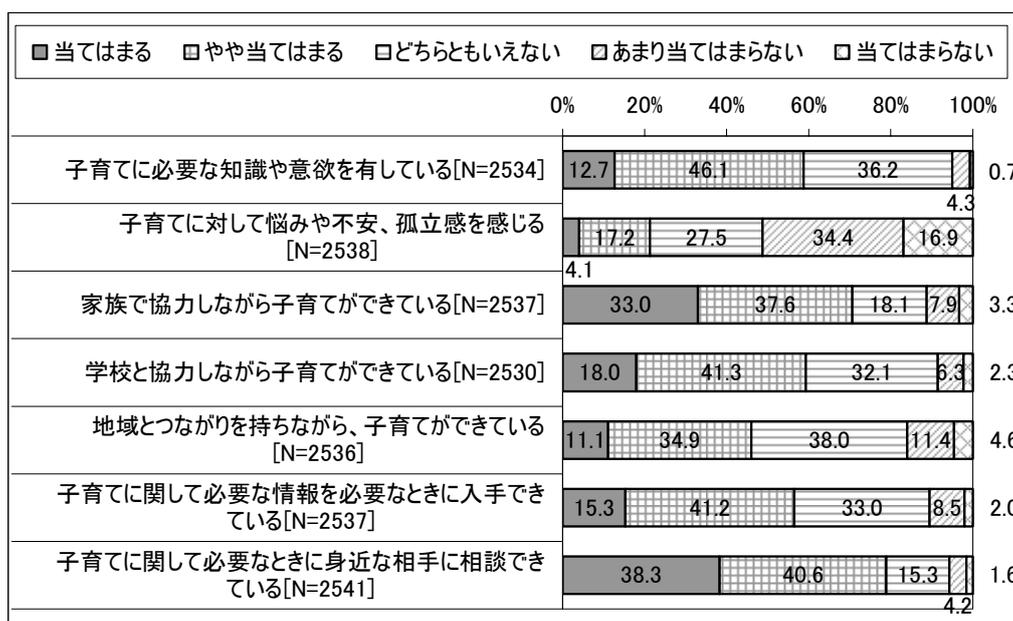
問 8 現在、あなたのご家庭生活の状態はいかがですか。差し支えなければ、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



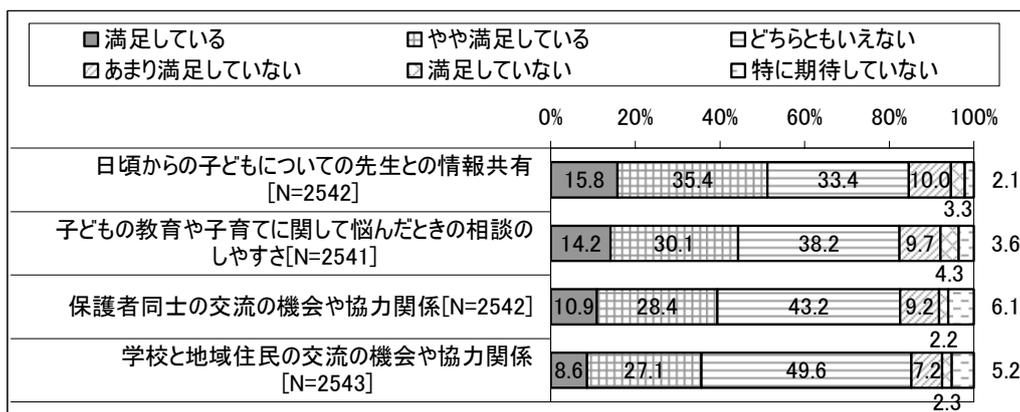
問 9 現在、あなたのご家庭の経済状態はいかがですか。差し支えなければ、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



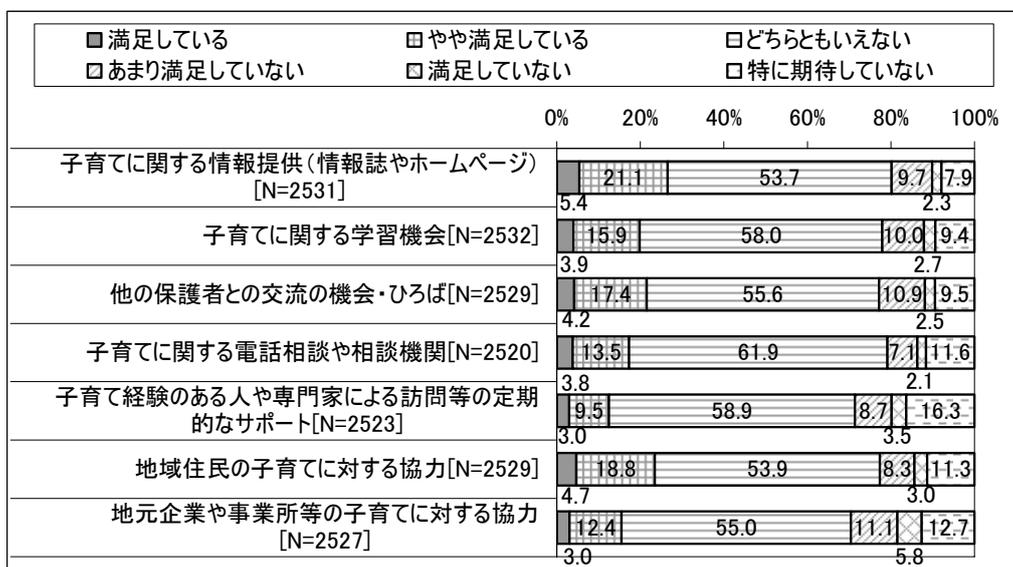
問 10 あなたは、以下のような項目についてどの程度当てはまると思いますか。a～g それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



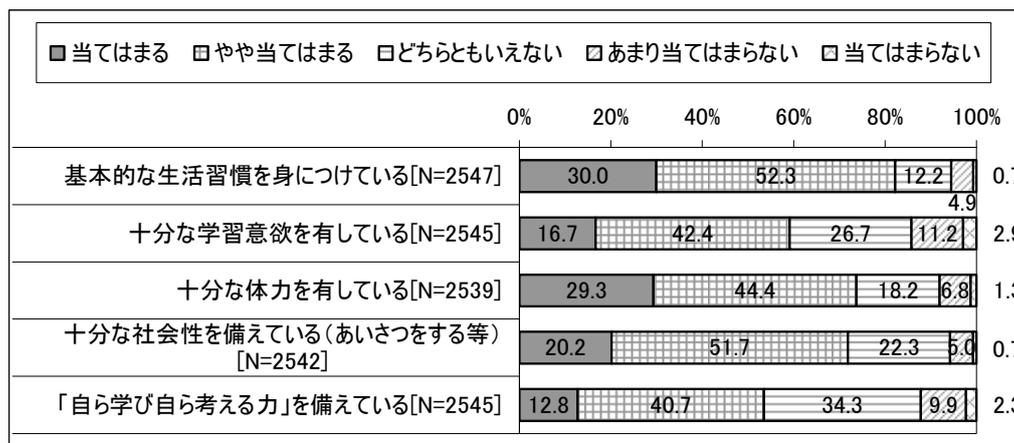
問 11 あなたは、(このアンケートを持参した)お子様を通う学校での以下のような項目に関して、どの程度満足していますか。a～d それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



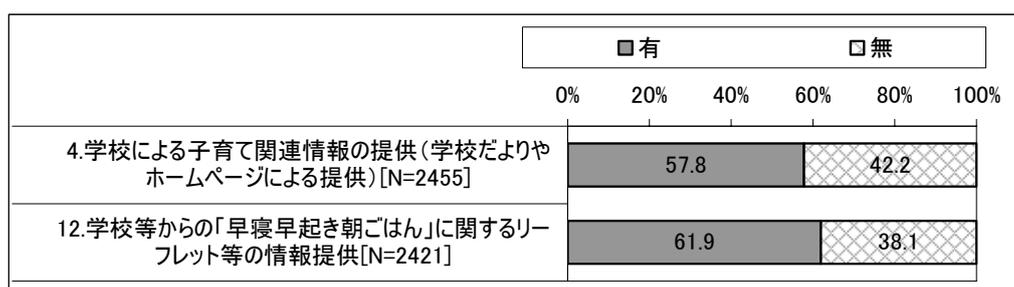
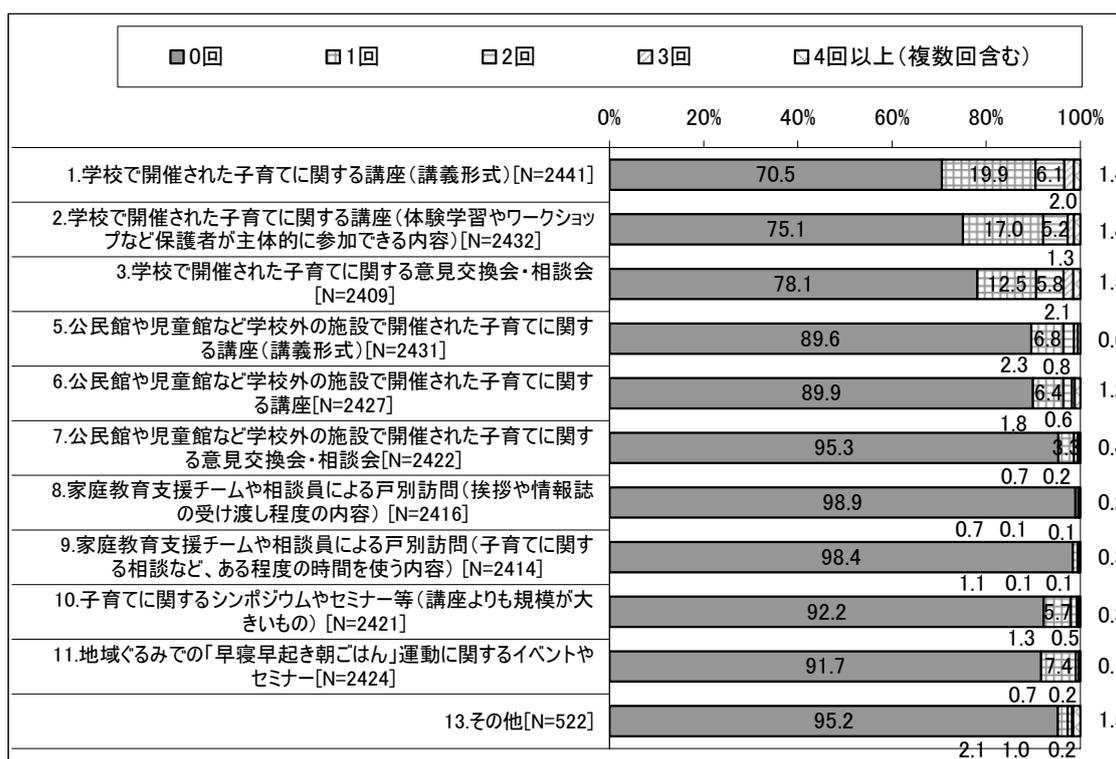
問 12 あなたは、子育てに関する地域のサポートに関して、どの程度満足していますか。a～g それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



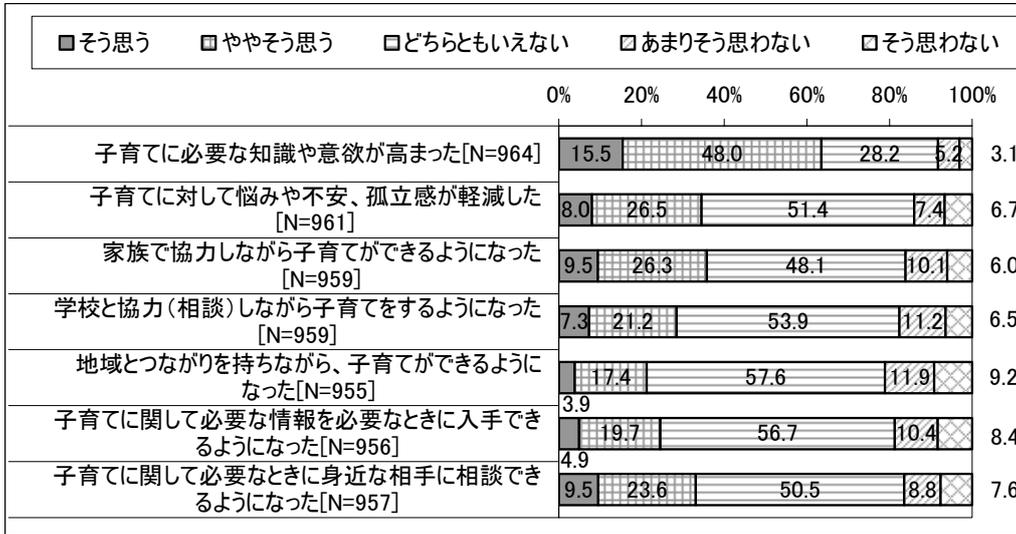
問 13 あなたのお子様は、以下のような項目がどの程度当てはまると思いますか。a～e それぞれについて、もつとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



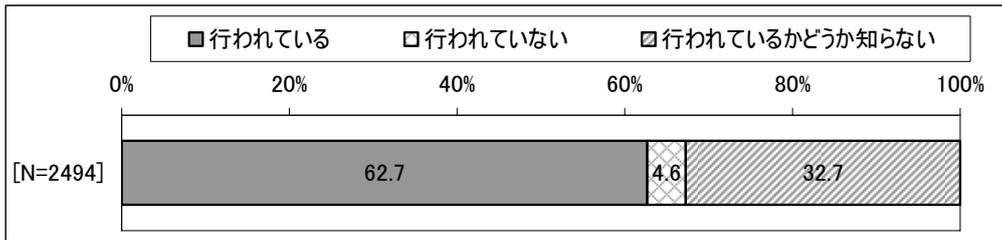
問 14 あなたは、子育て支援に関する以下のような取組に参加したことがありますか。大体で構いませんので、過去 1 年間に参加/活用した回数(一度もない場合は「0」)をお書きください。(「4.学校による子育て関連情報の提供」及び「12.学校等からの「早寝早起き朝ごはん」に関するリーフレット等の情報提供」については、活用の有無について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください)



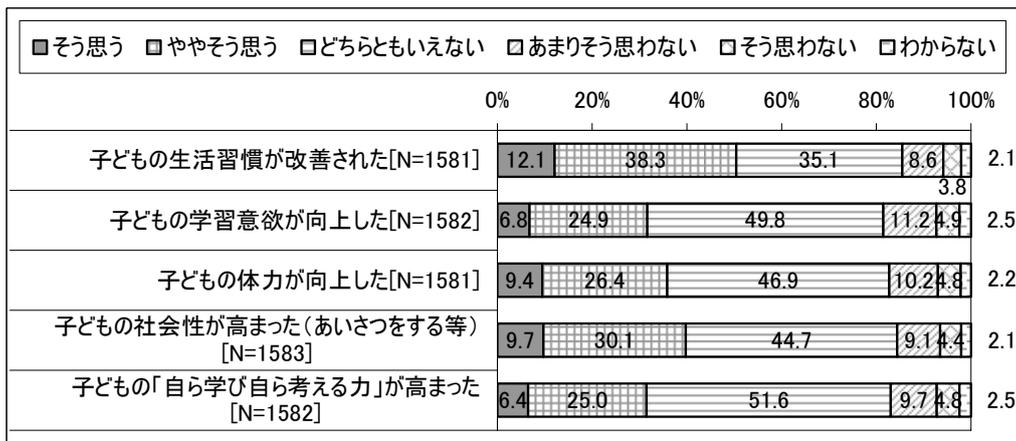
問 15 問 14 の「11」～「12」いずれかの参加／活用回数がある方のみにお聞きします。それらへの参加／活用を通じて、ご自身にとってどのような変化があったと思いますか。a～g それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



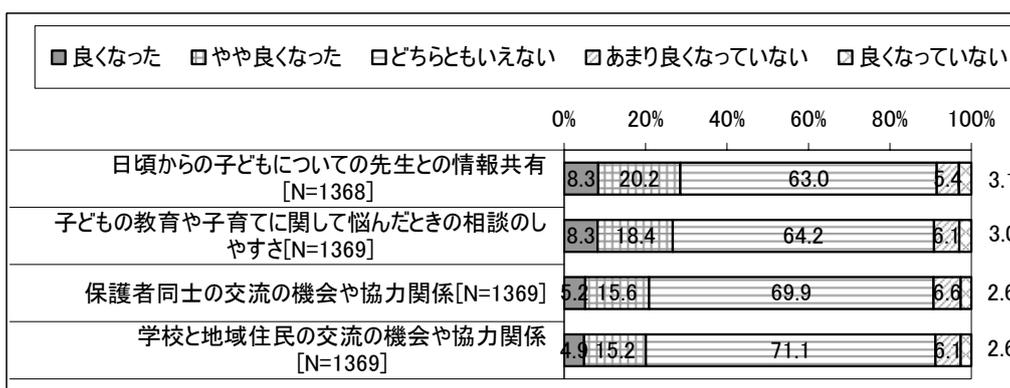
問 16 あなたがお住まいの地域やお子様の学校では、「早寝早起き朝ごはん」運動が行われていますか。



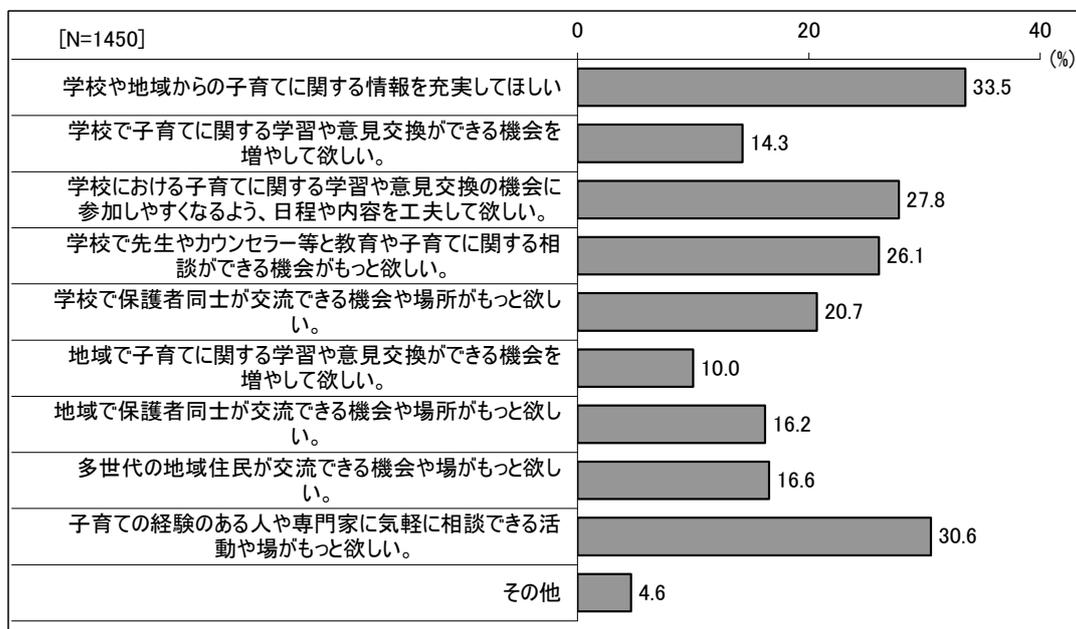
問 17 問 16 で「1」に回答した方のみにお聞きします。当該運動を通じて、お子様にどのような効果があったと思いますか。a～e それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 18 問 16 で「1」に回答した方のみにお聞きます。当該運動を通じて、お子様が通う学校について、以下のよ
うな項目にどのような変化がありましたか。a～d それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○を
つけてください。

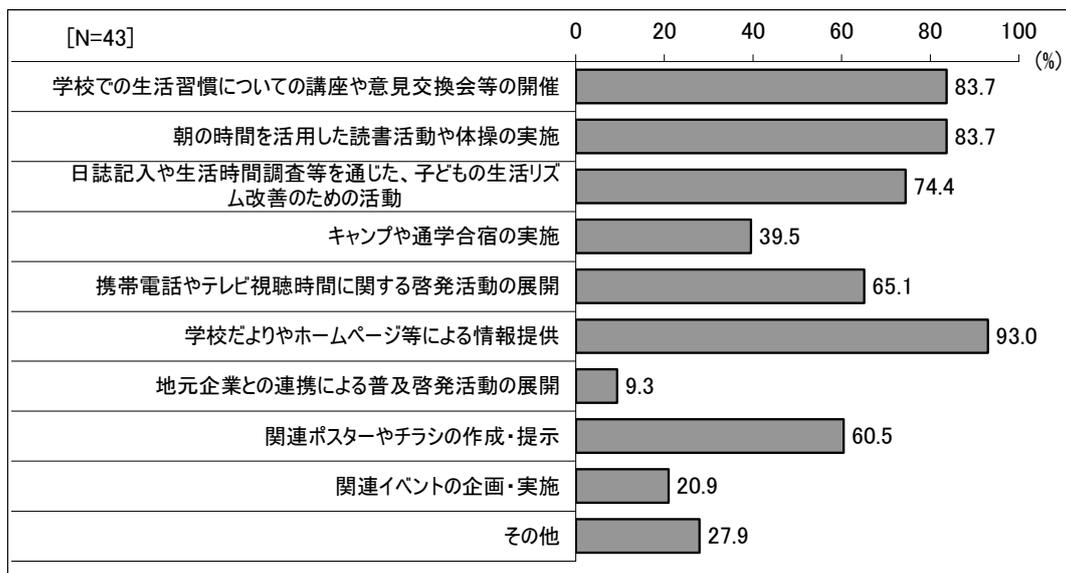


問 19 あなたの学校や地域の子育てサポートの取組について、要望はありますか。当てはまる番号すべてに○
をつけてください。

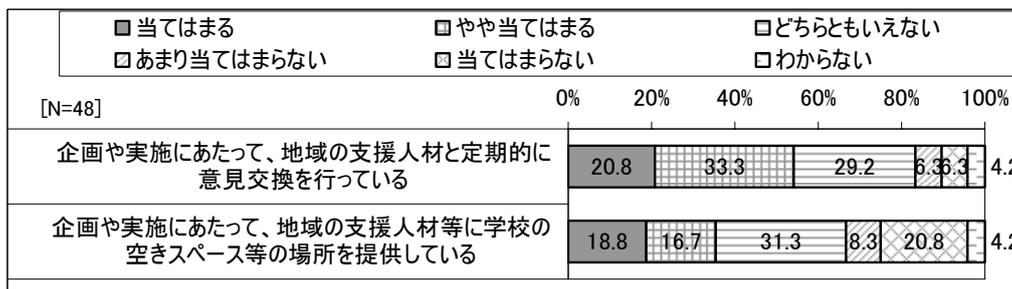


3.1.10 早寝早起き朝ごはん（教員）

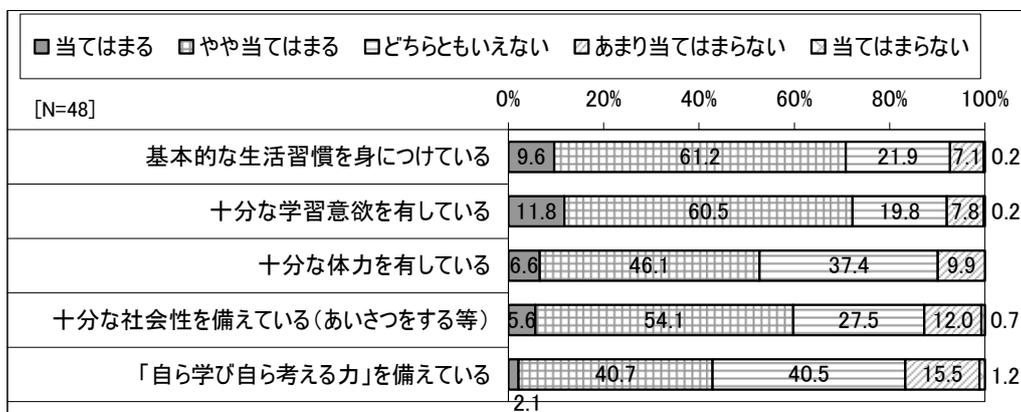
問 1 あなたの学校では、「早寝早起き朝ごはん」運動について、どのような取組を行ってきましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



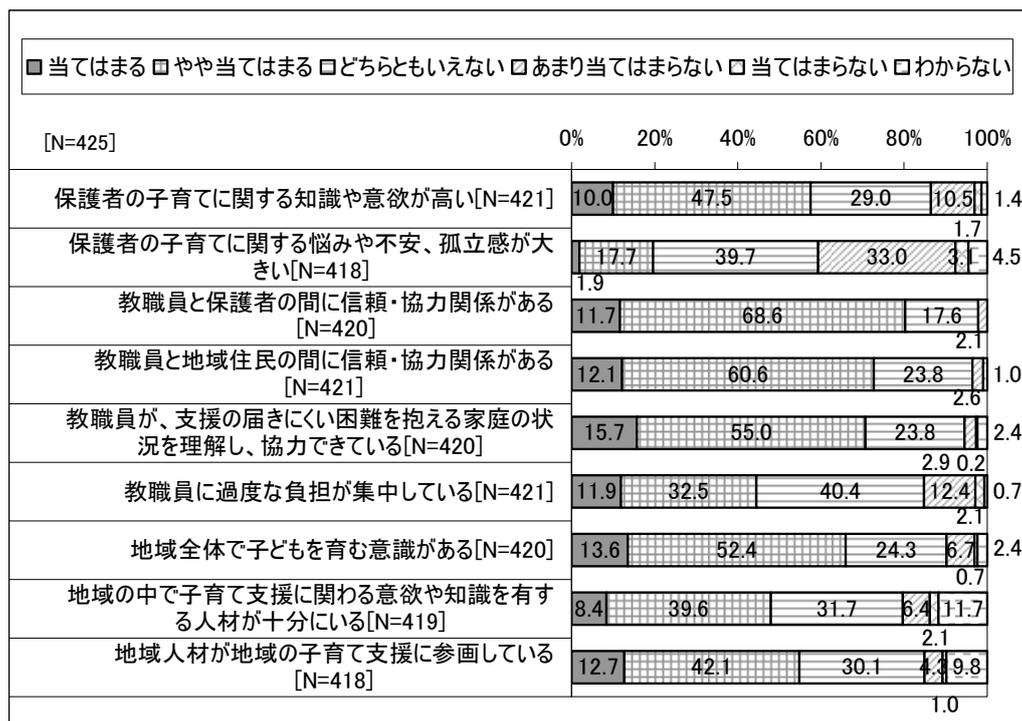
問 2 あなたの学校では、家庭教育支援に関する取組を進めるに当たって、以下のような協力や工夫をしていますか。以下の a~b の それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 3 あなたの学校の児童生徒は、以下のような項目がどの程度当てはまると思いますか。a~e それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問 4 あなたの学校では、以下のような項目がどの程度当てはまると思いますか。a~i それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

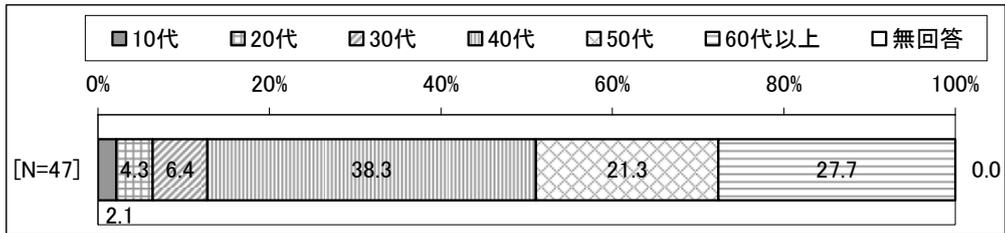


問 5 「早寝早起き朝ごはん」運動を通じて、全般的にどのような効果があったと思いますか。a~n それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

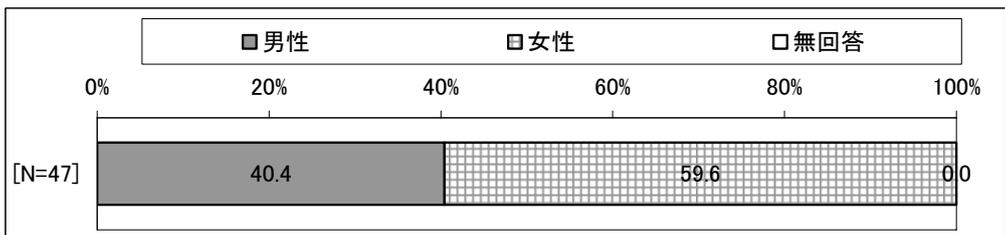


3.1.11 早寝早起き朝ごはん（地域の支援者・企画者）

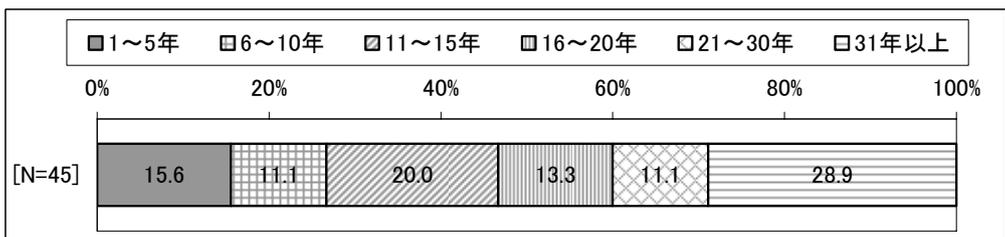
問1 平成23年11月1日現在、あなたの年代をお教えてください。



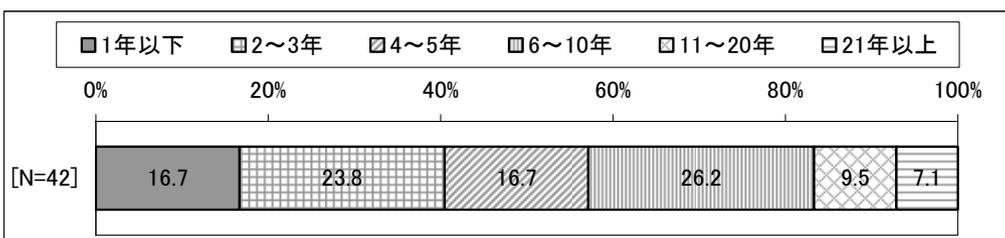
問2 あなたの性別をお教えてください。



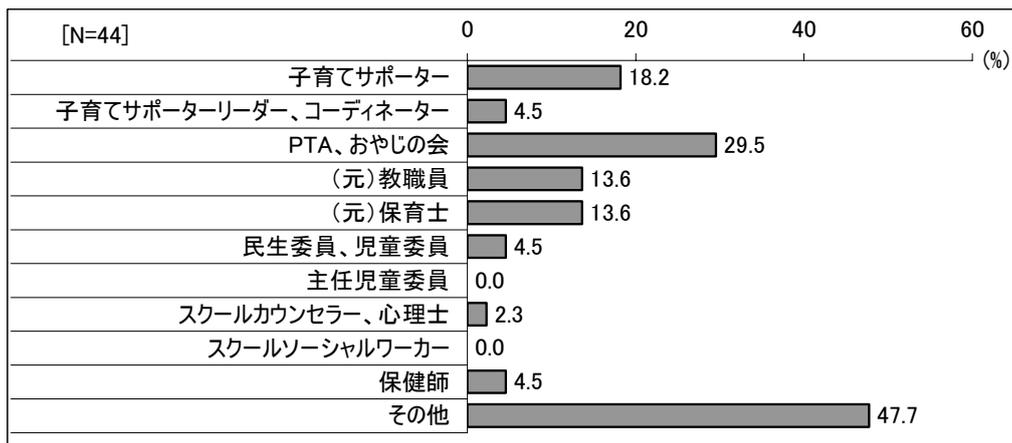
問3 平成23年11月1日現在、あなたは現在の居住地域にどれくらい住んでいますか。



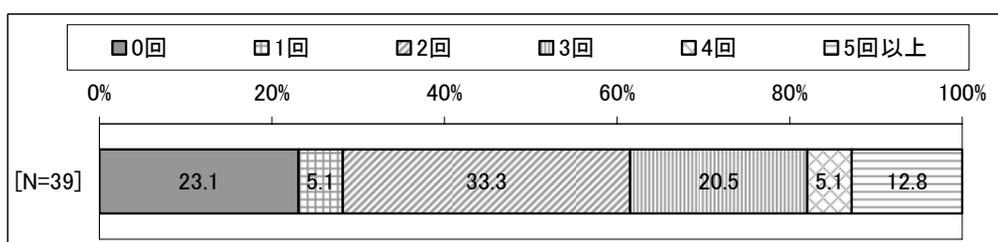
問4 あなたは、家庭教育支援（保護者向け講座の開催や戸別訪問、相談対応等）に関する取組を始めて何年になりますか。



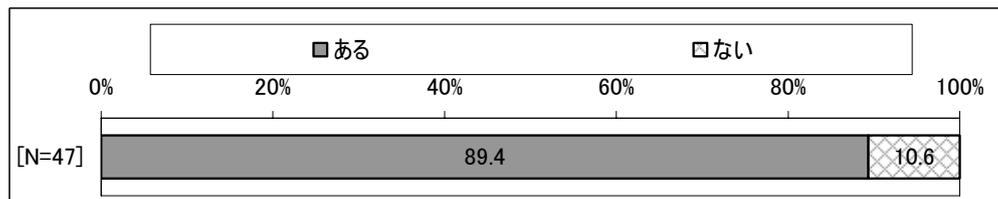
問5 あなたのこれまでの経験や現在の役割についてお聞きします。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



問6 あなたは、過去1年間に行政等が開催した家庭教育支援者向けの研修に何回参加しましたか。

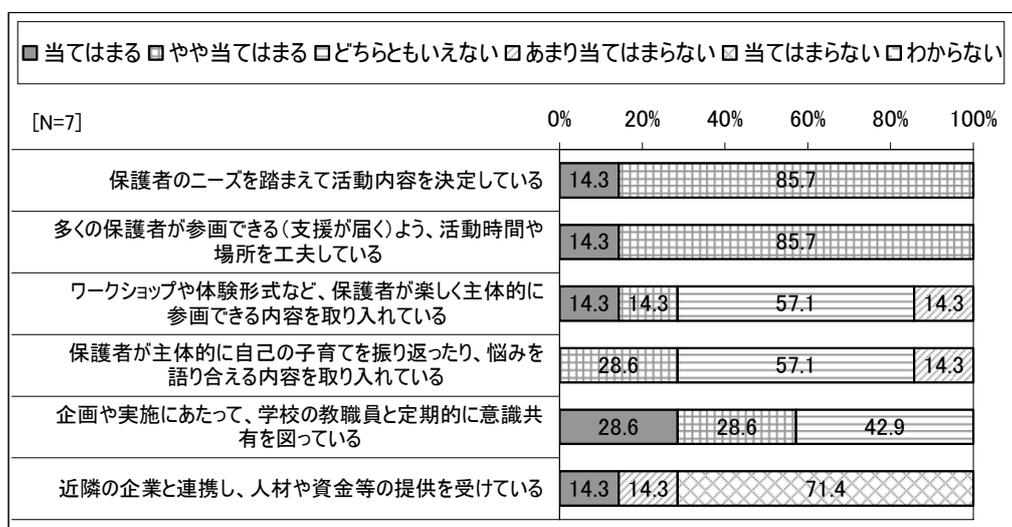


問7 あなたは、ご自身で子育てをされた経験がございますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

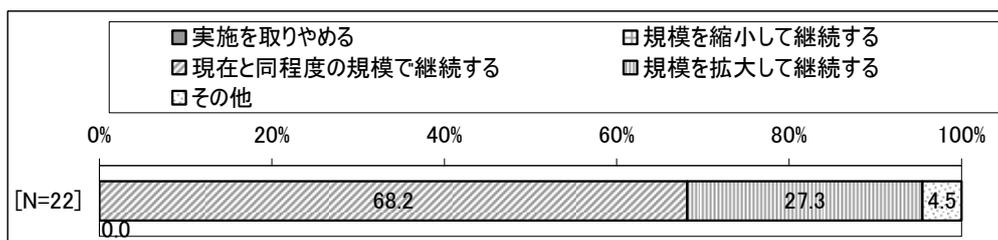


問8～問9は、企画代表者の方のみにお聞きします。

問8 あなた方の活動では、家庭教育支援に関する取組を進めるに当たって、以下のような点を工夫していますか。以下のa～fそれぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



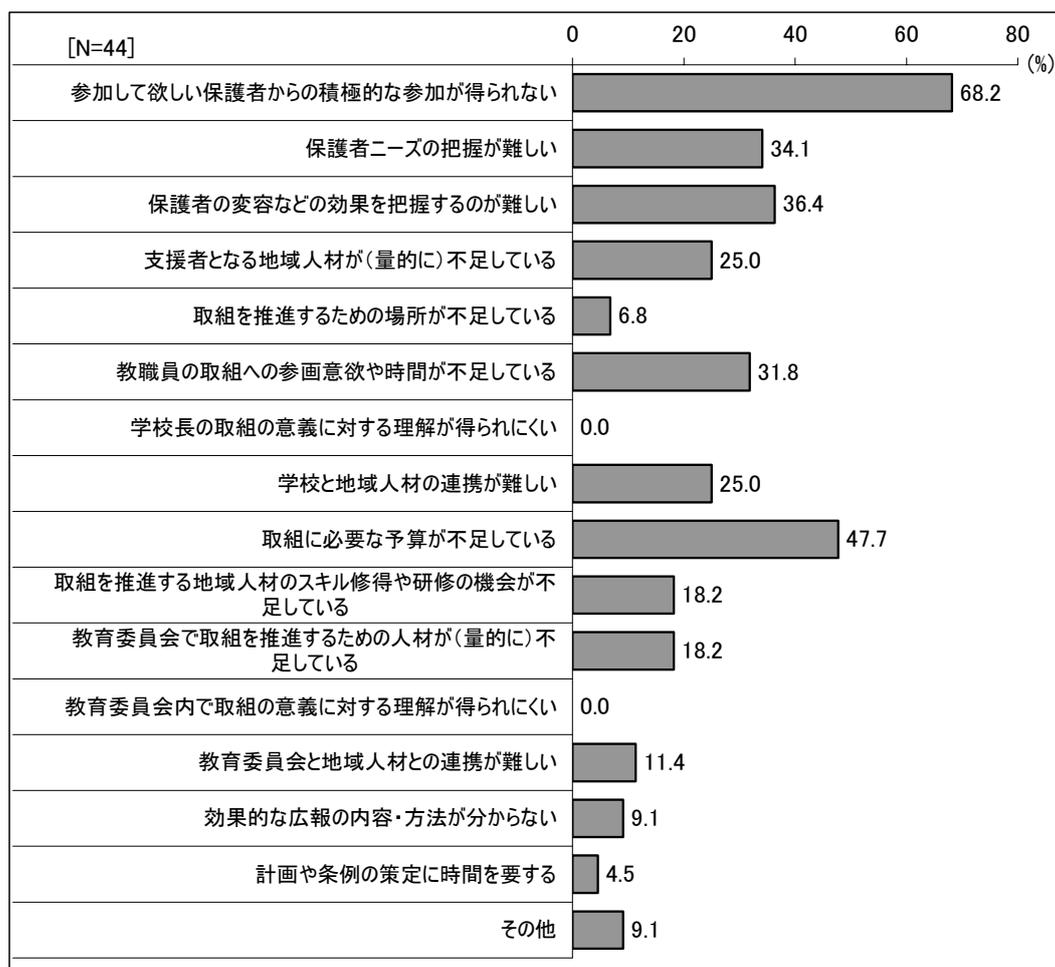
問9 あなたは、今後3～5年程度の期間で、「早寝早起き朝ごはん」運動(あるいは類似の取組)をどのように展開していきたいと思いますか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



問10 「早寝早起き朝ごはん」運動を通じて、どのような効果があったと思いますか。a～o それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

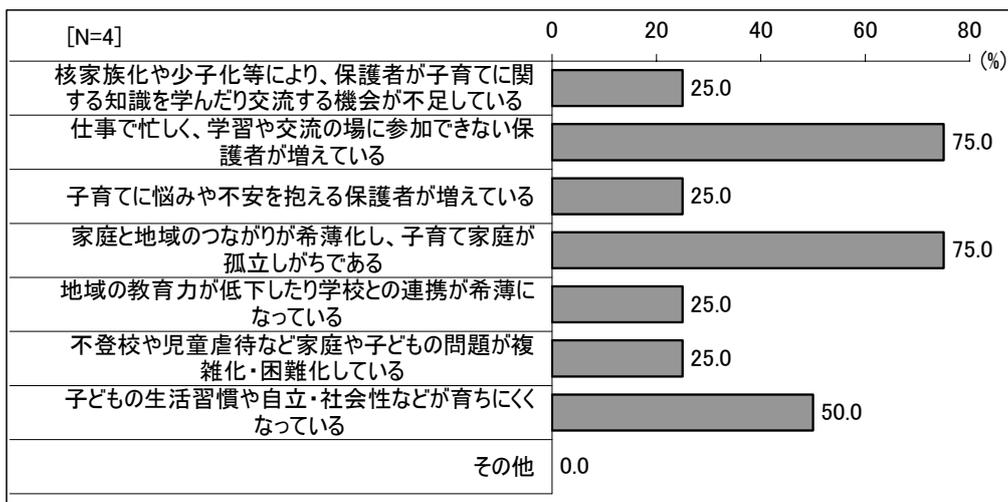


問 11 「早寝早起き朝ごはん」運動の実施に係り、どのような課題があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

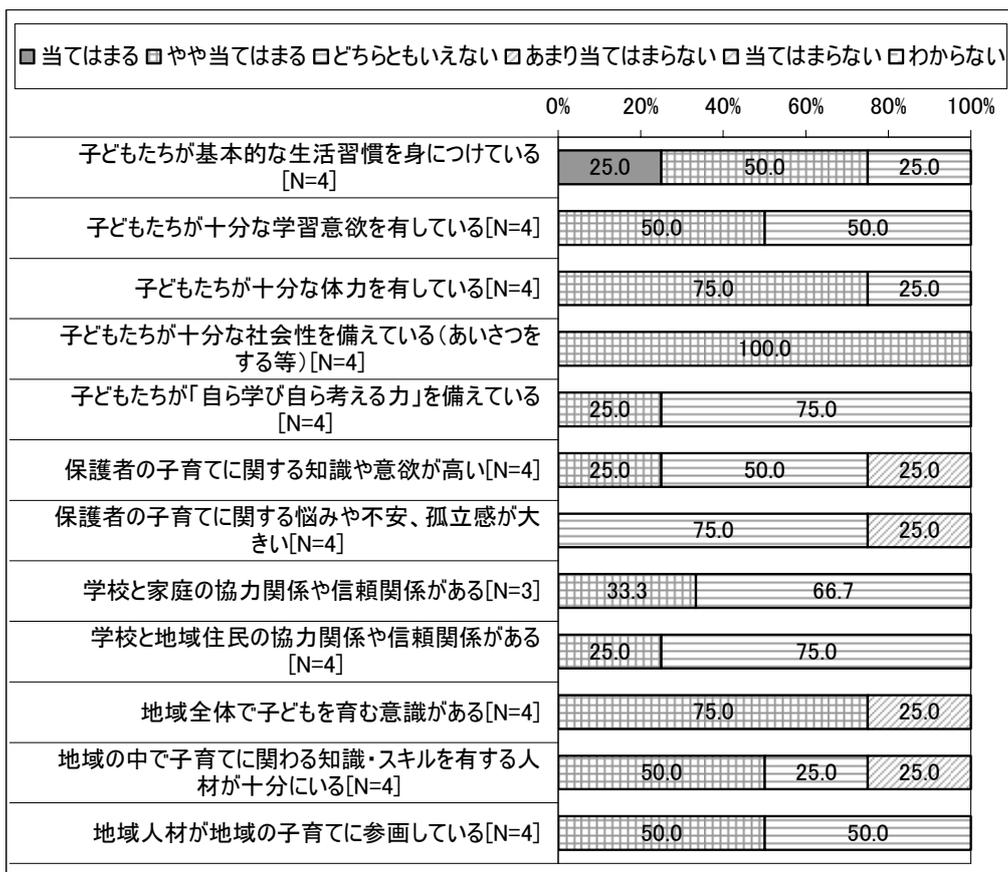


3.1.12 早寝早起き朝ごはん（行政担当者）

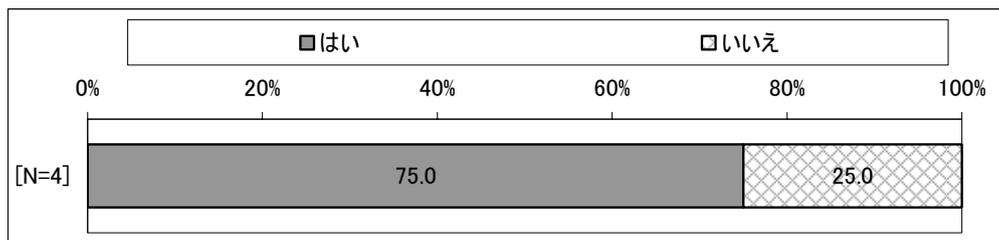
問 1 貴自治体では、家庭教育をめぐる現状に関し、どのような課題がありますか。特に当てはまる課題について、最大3つまで○をつけてください。



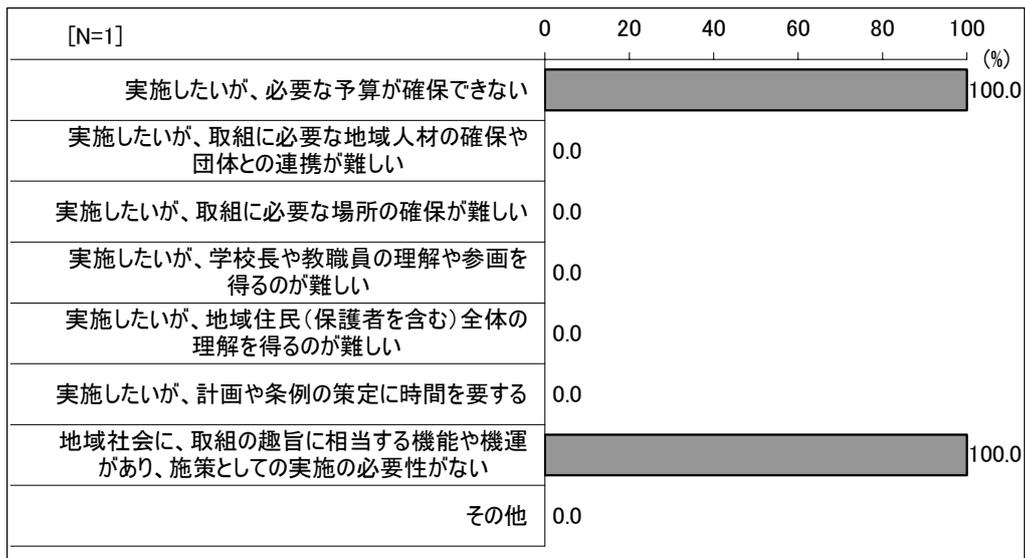
問 2 貴自治体では、以下のような項目がどの程度当てはまるとお考えですか。a~k それぞれについて、もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



問3 貴自治体では、「早寝早起き朝ごはん」運動を実施していますか。

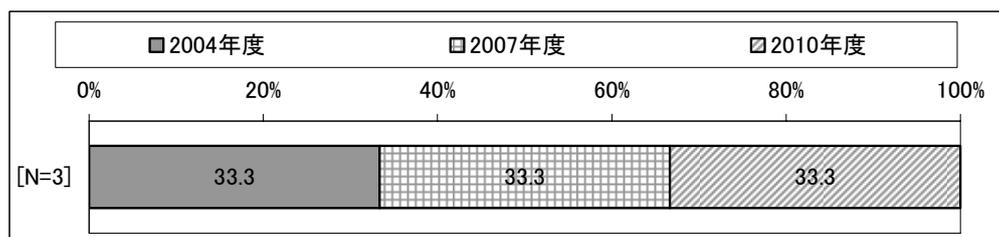


問4 問3で「2. いいえ」と回答した自治体のみにお聞きます。実施していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

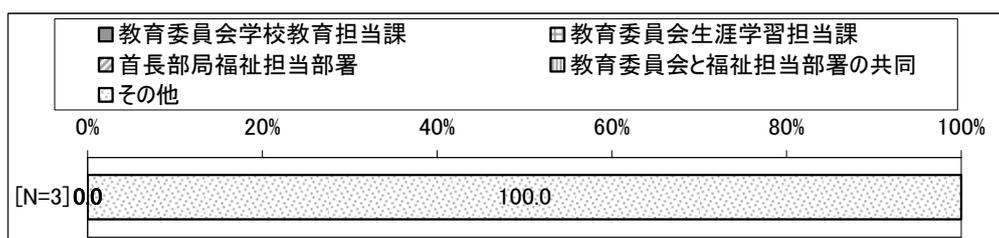


以下の質問は、「早寝早起き朝ごはん」運動を実施している自治体の方のみにお聞きます。

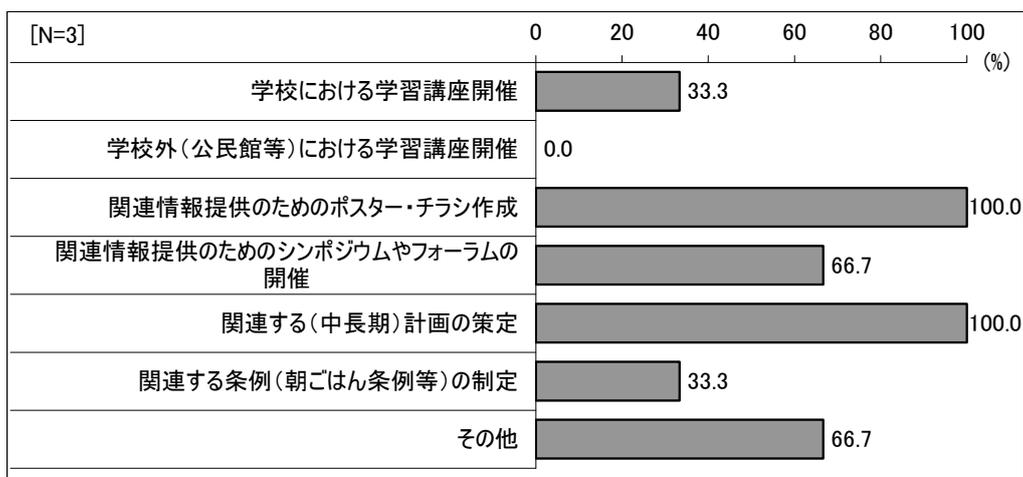
問5 貴自治体では、家庭教育学級などの「家庭教育に関する学習機会の提供」をいつから実施していますか。開始した年度をお書きください。年度がわからない場合は、大体いつ頃かでお答えください。



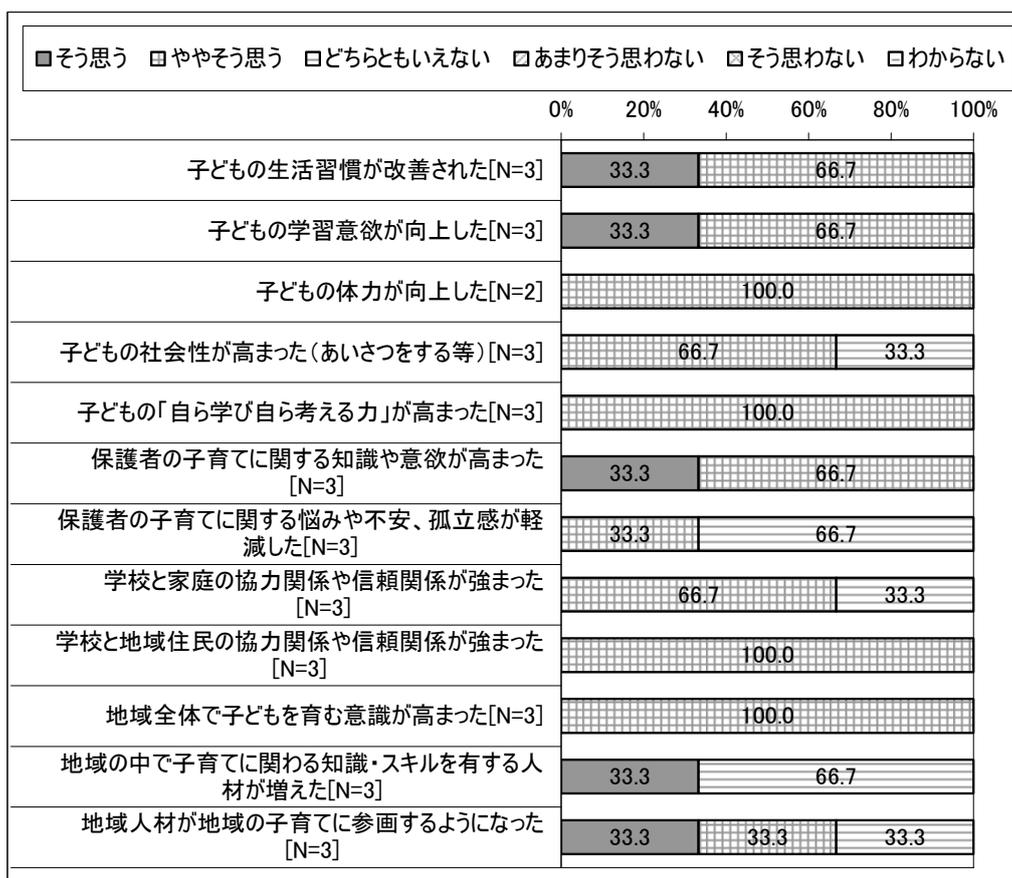
問6 貴自治体で、「早寝早起き朝ごはん」運動を所管している部署はどこですか。もっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。



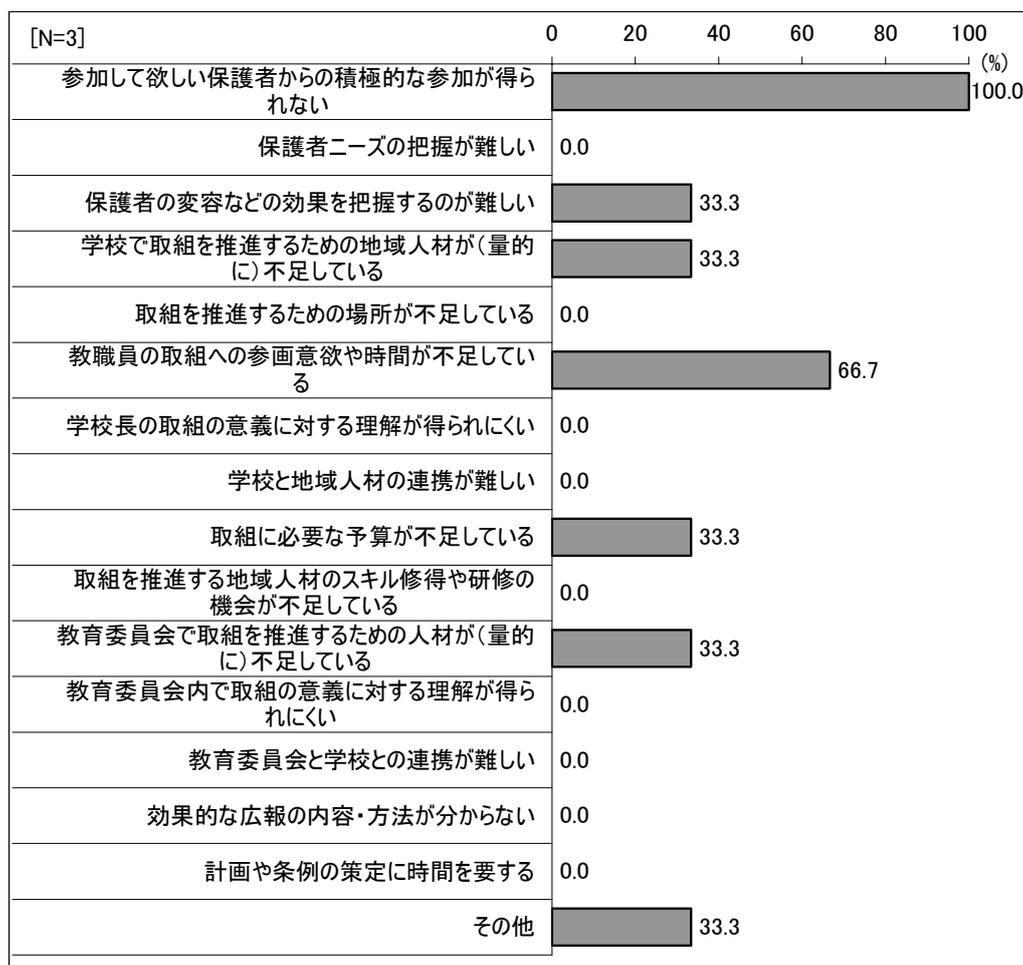
問 7 貴自治体では、「早寝早起き朝ごはん」運動に係り、以下のような取組を実施していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



問 8 「早寝早起き朝ごはん」運動を通じて、全般的にどのような効果があったと思いますか。a~l それぞれについて、もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



問9 「早寝早起き朝ごはん」運動の実施に係り、どのような課題があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください



問10 貴自治体では、今後 3~5 年程度の期間で、「早寝早起き朝ごはん」運動(あるいは類似の取組)をどのように展開していく予定ですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

